

資料目次

総則編

- 第1図 排出油等防除計画の対象海域及び名称
- 第2図 オイルフェンスの展張形態とその展張要領
- 第3図 外洋域におけるオイルフェンス展張例

(参考)

- 参考1 油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画
(平成18年12月8日閣議決定)
- 参考2 油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議設置要綱
(平成7年5月8日関係省庁申し合せ)

海域編

- 資料1 油等保管施設一覧
- 資料2 油等保管施設位置図
- 資料3 係留施設一覧
- 資料4 係留施設位置図
- 資料5 通航船舶の状況
- 資料6 特定港入港船舶状況表
- 資料7 要救助海難発生状況表
- 資料8 要救助海難発生状況図
- 資料9 油等による海洋汚染発生状況表
- 資料10 油等による海洋汚染発生状況図
- 資料11 過去の代表的な大規模排出油等事故の概要
- 資料12 気候表
- 資料13 潮流図
- 資料14 漁具定置箇所位置図
- 資料15 海域周辺環境図
- 資料16 風・海潮流による排出油の移動距離表
- 資料17 海洋汚染想定図
- 資料18 ダブルハルトンカーの「油流出期待値線図」
- 資料19 有害液体物質の挙動による分類
- 資料20 有害液体物質の分類・品目別取扱量（輸送量上位10品目）
- 資料21 流出後の物質の分散経路
- 資料22 排出油等防除資材等保有状況

- 資料 2 3 連絡系統図及び関係機関の連絡先
- 資料 2 4 防災相互通信用無線局保有状況
- 資料 2 5 指定海上防災機関 海上災害防止センターの契約防災措置実施者一覧
- 資料 2 6 排出油等の防除に関する協議会一覧

(参考)

- 参考 1 海上保安庁の主な排出油等防除資材保有状況
- 参考 2 指定海上防災機関
海上災害防止センターの主な排出油等防除資材保有状況
- 参考 3 石油連盟の主な排出油等防除資材保有状況
- 参考 4 大型油回収船一覧

第1図 排出油等防除計画の対象海域及び名称

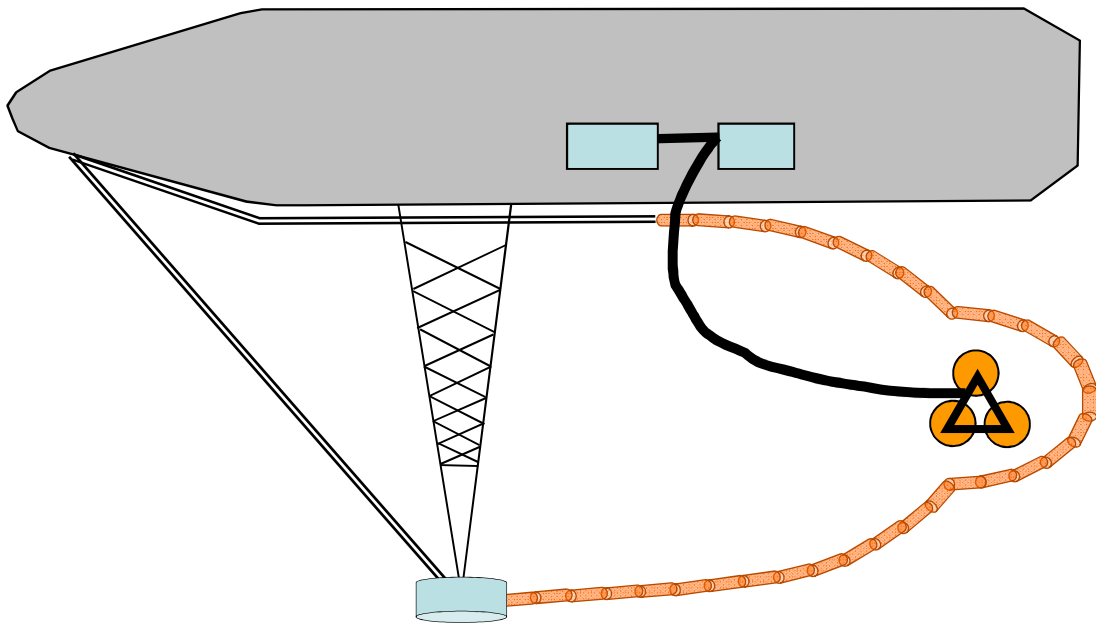


第2図 オイルフェンスの展張形態とその展張要領

区分	展張図	展張概要
A法 (包围)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 最も一般的な展張方法で、風潮流がいずれかの方向から来ても対応できるように排出源を包围する方法。 流出初期又は単時間当たりの流出量あまり多くなく、風や潮流の影響が少ない場合に用いる。 (2) 風及び潮流によりオイルフェンスから漏洩することがあるので、状況に応じ二重三重に展張する。 (3) 必要に応じ作業艇、油回収艇等の出入りのため出入口を設ける。 (4) 陸上からの流出の場合は陸岸をオイルフェンスの一部として流出油を包围する。 (5) 流出量の少ない場合は流出源の船舶をオイルフェンスの一部として流出油を包围することも考えられる。
B法 (待受け)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 風潮流等が一定で、油の流行が安定している場合や、流出量が多く包围するためのオイルフェンスが不足する場合、あるいは風潮流の影響が大きく包围が困難な場合等に用いる。 (2) 流出源からある程度離れた位置で待受け捕捉する。 (3) 状況に応じ二重三重に展張する。 (4) 潮流の強い狭水道等で転流時が近い場合は、転流後を考え状況に応じ反対側にも展張する。
C法 (閉鎖)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 港内の狭い水路、運河等での流出油事故の場合に用い、水路等をオイルフェンスで閉鎖して油の拡散を防止する。 (2) 水の流れが強くオイルフェンスで閉鎖することが困難な場合、あるいは、船舶交通上、水路を閉鎖して展張することが困難な場合は、中央を空けて展張する。 (3) 潮汐の上下により、オイルフェンスと陸岸の接続箇所隙間が出来て油が漏洩するおそれがあるので注意を要する。 (4) オイルフェンスをくり抜けて漏洩する油を捕捉するため必要に応じ二重三重に展張する。
D法 (誘導)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 流出量が多く、かつ、風、潮流の影響が大きいため、流出油を現場で包围できないとき、海岸の保全、水産資源保護のため保護水面の前面にオイルフェンスを展張し、影響の少ない海面に誘導する場合、あるいは、地勢等により現場付近で回収作業が困難なとき、作業可能な海面まで誘導する場合等に用いる。 (2) 状況に応じ二重三重に展張する。 (3) 風、潮流が強く錨によるオイルフェンスの係止が困難な場合はE法を併用する。
E法 (移動)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 水深が深く又は風潮流が強い等の理由で錨を使用出来ない場合、風又は潮流が強くて錨で係止できない場合、あるいは海面に広がっている浮流油を集油したり回収しやすい場所まで移動させる場合等に用いる。 (2) オイルフェンスの両端を2隻の作業船艇にて油が潜り抜けられない程度で曳航し、浮流する油を大まわしに囲む。 (3) 包围後、作業艇の代わりにシーアンカーやチェーン等の抵抗物を付けることも有効である。 (4) オイルフェンスを曳航する場合、水圧により過度の張力がかかり破損するおそれがあるので慎重に作業する必要がある。

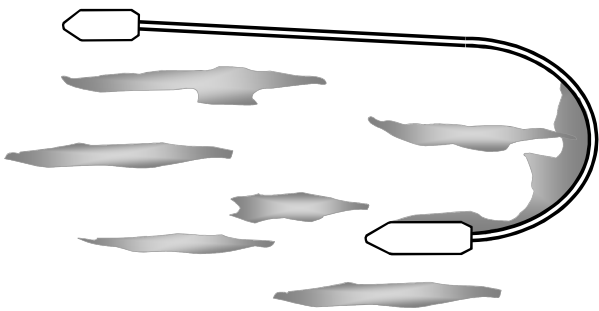
第3図 外洋域におけるオイルフェンス展張例

a

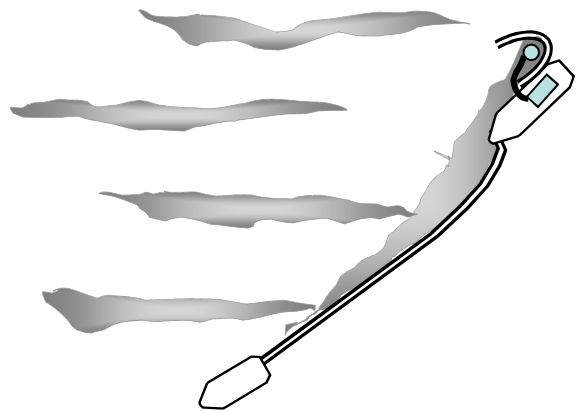


1船による油回収システムの例

a



b



2船による油回収システムの例

油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画について

〔平成18年12月8日
閣議決定〕

平成25年10月1日 一部改正

1990年の油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約（平成7年条約第20号）第6条及び2000年の危険物質及び有害物質による汚染事件に係る準備、対応及び協力に関する議定書第4条の規定に基づき、油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画を別紙のとおり定める。

これに伴い、油汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画（平成9年12月19日閣議決定）は、廃止する。

油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画

第1章 序説

第1節 計画の目的

四面を海に囲まれた我が国は、海洋を取り巻く多様な自然環境に恵まれるとともに、そこに存在する豊かな漁場等から多くの恩恵を受けるなど、海洋環境との密接な関係の中で国民生活が営まれている。このようなことから、我が国周辺海域において、万一、油、有害液体物質、危険物その他の物質（以下「油等」という。）による汚染事件（放射性物質による汚染事件については、原子力災害対策特別措置法等により国家的な体制が確立されていることから、本計画の対象としない。以下「油等汚染事件」という。）が発生した際には、その初期の段階から迅速かつ効果的な措置を講ずることが、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点から必要不可欠である。また、我が国が世界有数の海運国でありエネルギー輸入国であることを考慮すると、我が国がこのような準備及び対応の体制を整備しておくことは極めて重要である。この場合、国、地方公共団体を始め、石油業界、海運業界、鉱山業界、化学業界、漁業関係者その他の官民の関係者が一体となって取り組むことが重要である。

このような考え方を踏まえ、この計画は、「1990年の油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約」第6条(1)(b)及び「2000年の危険物質及び有害物質による汚染事件に係る準備、対応及び協力に関する議定書」第4条(1)(b)に規定する「準備及び対応のための国家的な緊急時計画」として、油等によ

る汚染に係る準備及び対応に関する我が国の体制を体系的に取りまとめたものであって、国際約束の的確な実施を確保するとともに、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護のため油等汚染事件に我が国が迅速かつ効果的に対応することを目的として策定するものである。

第2節 他の計画との関係

この計画は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号。以下「災対法」という。）に基づく防災基本計画、防災業務計画及び地域防災計画、環境基本法（平成5年法律第91号）に基づく環境基本計画、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（昭和45年法律第136号。以下「海防法」という。）に基づく排出油等防除計画、石油コンビナート等災害防止法（昭和50年法律第84号。以下「石災法」という。）に基づく石油コンビナート等防災計画並びに緊急事態に対する政府の初動対処体制について（平成15年11月21日閣議決定）と調和を保ったものであり、これらと相まって油等汚染事件に迅速かつ的確に対応できるよう策定するものである。

第2章 油等汚染事件に対する準備に関する基本的事項

第1節 油等汚染事件に関する情報の総合的な整備

油等汚染事件への対応を総合的かつ効果的に実施するため、関係行政機関は、内外の関係情報を収集・整理し、適宜最新のものとして維持するとともに、関係行政機関で構成する「油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議（以下「関係省庁連絡会議」という。）」等の場を通じて相互に交換する。

海上保安庁は、それぞれの関係行政機関が把握している国内の

各種分野の専門家及び排出された油等（以下「排出油等」という。）の防除資機材に関する情報を、関係行政機関等の協力を得て一元化するとともに、油等汚染事件への準備及び対応に関する活動に活用しようとする関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて提供し得る体制の確立に努める。

また、関係行政機関は、油等汚染事件による環境への影響を迅速に把握・評価し、また、油等汚染事件に対応する措置を的確に講じ、被害の発生を最小限とするために参考とすべき、各海域ごとの自然的・社会的・経済的諸情報（水質、底質、漁場、養殖場、工業用水等の取水口、海水浴場、さんご礁、藻場、干潟、鳥類の渡来・繁殖地、史跡等に関する情報）を収集・整理し、適宜最新のものとして維持する。さらに、収集・整理した情報は、それぞれの行政に反映できるよう共有化するとともに、情報図として整備する等その内容を充実し、関係行政機関、地方公共団体等において有効に活用できる体制の確立に努める。

さらに、地方公共団体が地域の実情に応じて行う油等汚染事件への準備及び対応に関する活動の促進を図るため、関係行政機関は、地方公共団体の要請に応じて適切に関係情報を提供するよう努める。

第2節 対応体制の整備

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応について必要な対策を適切に実施するため、それぞれの機関の対応体制及び機関相互の協力体制の整備を図る。この場合、関係行政機関は、関係省庁連絡会議の場等を通じ、油等汚染事件に対する協力体制について必要な調整を行う。

海上保安庁は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、海防法に基づき排出油等防除計画を作成するとともに、

海上における特殊な災害に対応する特殊救難隊及び機動防除隊の育成強化を図り、船艇・航空機による24時間の出動体制を確保する。また、海防法第42条の13第1項に規定する指定海上防災機関（以下「指定海上防災機関」という。）における防除措置の実施に関する対応能力の一層の確保に努める。

また、海防法に基づき、管区海上保安本部長、タンカーの船舶所有者等は、官民合同の組織として排出油等の防除に関する訓練の実施、重要事項の協議等を行う排出油等の防除に関する協議会を、関係地方行政機関、地方公共団体等と連携し、必要に応じて組織し、対象海域の広域化、それぞれの機関の防除の実施に関する役割分担の明確化等に努める。

水産庁及び環境省等は、油等汚染事件発生時における環境影響調査、野生生物の保護、漁場等の保全等の対応措置が迅速かつ的確に行われるよう、各行政分野における体制の整備に努めるとともに、地方公共団体、関係団体等との連携協力体制の一層の確保に努める。

第3節 通報・連絡体制の整備

船舶の船長、施設（陸地にあるものを含む。）の管理者等は、当該船舶又は施設から海洋への大量の油等の排出があった場合及び排出のおそれのある場合には、海防法に基づき、電話、電信その他のなるべく早く到達するような手段により、直ちに最寄りの海上保安部署等に通報する。

また、石油コンビナートの事業を統括管理する者は、当該石油コンビナート等における石油の漏洩その他の異常な現象が発生した場合には、石災法に基づき直ちに消防署等に通報する。

さらに、鉱業権者は、自らが管理する鉱山施設等において大量の油等の海洋への排出があった場合及びそのおそれがある場合に

は、鉱山保安法（昭和24年法律第70号）に基づき直ちに産業保安監督部等に通報する。

海面に大量の油等が広がっていることを発見した者その他海上における異常な現象を発見した者においても同様に直ちに最寄りの海上保安部署等に通報する。

海上保安部署等、消防署、警察署等においては、24時間の情報収集体制を確保する。

関係行政機関、地方公共団体等は、内部の若しくは相互の連絡体制が確保されるよう、又は関係団体等との連携協力の下に必要な対策が適切に実施されるよう、それぞれの機関内部及び機関相互間における夜間、休日の場合等を含めた連絡体制の整備を図るとともに、防災行政無線の活用等により通信手段の確保を図るよう努める。

第4節 関係資機材等の整備

船舶所有者等は、海防法に基づき、排出油等の防除措置を実施するため必要な資機材等を備え付けるとともに、当該資機材等を適切に使用することができるよう、その備付け場所、管理、設備等に関し、必要な措置を講じておくものとする。また、指定海上防災機関は、同法に基づき、海上保安庁長官の指示若しくは船舶所有者等の委託により防除措置を実施するため、又は船舶所有者等の利用に供するために必要な資機材等を保有する。

また、鉱業権者は、鉱山保安法に基づき、排出油等の防除措置を実施するために必要な資機材を備える。

石油コンビナートの事業を統括管理する者は、当該石油コンビナート等における石油の漏洩に備え、石災法に基づく資機材を備え付ける。

港湾管理者は、港湾法（昭和25年法律第218号）に基づき、港

湾区域内に流出した油等の防除に必要な資機材を備える。

海上保安庁は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、船艇、航空機、情報通信施設、排出油等の防除資機材等の整備を推進する。

経済産業省は、関係者の利用に供するため、石油事業者団体等が行う排出油等の防除資機材の整備事業及び当該事業の普及・啓蒙を推進する。

水産庁は、油等汚染事件による漁場等の汚染の防止又は軽減を図るための資機材の整備を推進する。

環境省は、野生生物の保護を行うに当たって必要な資機材が適切に整備されるよう措置する。

関係行政機関は、各行政分野において、油等汚染事件への対応のため必要な資機材の整備に努める。

地方公共団体は、必要に応じ、油等汚染事件への対応のため必要な排出油等の防除資機材等の整備に努める。

また、必要な排出油等の防除資機材が、現場に迅速に配置され、活用できるよう日頃から官民の連携の確保に努める。

第5節 訓練等

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、事件の形態・規模、気象・海象、油等の性状等様々な条件設定の下でのシミュレーション訓練手法を導入するなど工夫した関係機関相互の有機的連携に重点を置いた総合的かつ実践的な訓練を、排出油等の防除に関する協議会等を活用して行う。訓練後には、その評価を行い、課題等を明らかにし、必要に応じ、それぞれの機関の対応体制等の改善を行う。

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、指定海上防災機関の海上防災のため

の措置に関する訓練事業を活用するなどして、人材の育成に努める。

環境省は、野生生物の保護等を実施する上で必要な知識及び技術の修得に関する地方公共団体、関係団体等に対する研修等を行う。

また、指定海上防災機関は、海防法に基づき、よりの確な防除技術を普及するため、海上防災のための措置に関する訓練事業を行うとともに、自らの防災措置に関する技術の向上に努める。

これらの訓練等の実施に当たっては、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点から適切に実施されるよう配慮するものとする。

関係行政機関は、関係者に対し講習会、訪船指導等を通じ、油等汚染事件発生の防止及び当該事件発生の際の対応に関する指導を行い、これを通じて海洋環境の保全に係る思想及び技術の普及・啓蒙を図る。

民間事業者は、油等汚染事件発生の際に迅速かつ的確に対応できるよう、積極的に訓練等を行うとともに、人材の育成に努める。

第6節 近隣諸国等との協力体制

外務省は、国土交通省及び海上保安庁と協力しつつ、近隣諸国等との油等汚染事件発生時の連絡体制の強化や要請に応じた資機材の提供等、海洋汚染に関する協力体制の一層の強化に努める。

第3章 油等汚染事件に対する対応に関する基本的事項

第1節 保護対象についての基本的な考え方

油等汚染事件に対しては、海洋環境の保全の観点並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点の両面に配慮して適切な対応方

策を講ずるものとする。この場合、第2章第1節の各海域ごとの情報等も踏まえて、被害の発生が最小限となるように措置を講ずるものとする。

第2節 対応体制の確立

油等汚染事件が発生した場合、関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応について必要な対策を適切に実施するため、それぞれの機関の対応体制及び機関相互の協力体制の確立に努める。

海上保安庁長官、管区海上保安本部長又は都道府県知事は、自衛隊の派遣要請の必要性を油等汚染事件の規模及び収集した被害情報から判断し、必要な場合には、自衛隊法（昭和29年法律第165号）の災害派遣の規定に基づき、直ちに要請するものとする。また、事態の推移に応じ、要請しないと決定した場合は、直ちにその旨を連絡するものとする。

自衛隊は、当該要請を受けたときは、要請の内容及び自ら収集した情報に基づいて部隊等の派遣の必要の有無を判断し、部隊等を派遣する等適切な措置を行う。

関係行政機関は、大規模な油等汚染事件が発生した場合には、事件及び被害の第一次情報についての確認及び共有化、応急対策の調整等を行うため、必要に応じて、関係省庁連絡会議を開催する。

内閣危機管理監は、大規模な油等汚染事件が発生した場合又はそのおそれがある場合であって、情報の集約、内閣総理大臣等への報告、関係省庁との連絡調整を集中的に行う必要がある場合は、事態に応じ、緊急参集チームを官邸危機管理センターに緊急参集させ、政府としての初動措置に関する情報の集約等を行うとともに、官邸危機管理センターに官邸対策室を設置する。

国は、油等汚染事件が発生した場合において、収集された情報により、事件の規模、被害の広域性等から、応急対策の調整等を強力に推進するために特に必要があるときは、内閣総理大臣に報告の上、海上保安庁長官を本部長とする警戒本部を設置する。この場合、警戒本部及びその事務局の設置場所は、原則海上保安庁内とする。また、警戒本部が設置された場合は、現地の状況を把握し、応急対策の迅速かつ的確な実施に資するため、現地に管区海上保安本部長を本部長とする連絡調整本部を設置する。この場合、連絡調整本部及びその事務局の設置場所は、原則管区海上保安本部内とする。

国は、収集された情報により大規模な被害が発生していると認められたときは、直ちに原則国土交通大臣（石災法に基づく石油コンビナート等特別防災区域（以下「石油コンビナート等特別防災区域」という。）からの油等汚染事件については総務大臣）を本部長とする災対法に基づく非常災害対策本部を設置する。非常災害対策本部の設置方針が決定されたときは、内閣府は、速やかに所要の手続きを行い、非常災害対策本部の設置等を行う。この場合、非常災害対策本部及びその事務局の設置場所は、原則国土交通省内（石油コンビナート等特別防災区域からの油等汚染事件については消防庁内）とする。また、非常災害対策本部は、関係地方行政機関、関係地方公共団体等のそれぞれの機関が実施する応急対策の総合調整に関する事務のうち、現地において機動的かつ迅速に処理する必要があるときは、原則国土交通副大臣（石油コンビナート等特別防災区域からの油等汚染事件については総務副大臣）を本部長とする非常災害現地対策本部を設置する。

なお、警戒本部又は非常災害対策本部（以下「非常災害対策本部等」という。）は、官邸対策室と緊密に連携を図るものとする。

関係行政機関又は非常災害対策本部は、現地の状況を把握し、

迅速かつ的確な対策の実施等に資するよう、必要に応じ、調査団を現地に派遣する。

地方公共団体は、必要に応じ、災対法に基づく災害対策本部等を、又は石災法に基づく石油コンビナート等防災本部の現地防災本部を設置する。

関係行政機関、地方公共団体等は、これら本部が設置された場合には、職員を派遣するなどして、これら本部との間における情報の交換を促進し、油等汚染事件への的確な対応体制を確保する。

国と地方公共団体等との情報の交換には、連絡調整本部又は非常災害現地対策本部を活用する。

第3節 油等汚染事件に関する情報の連絡

油等汚染事件の発生又は発生するおそれについて連絡を受けた海上保安庁その他の関係行政機関、地方公共団体等は、必要に応じ、あらかじめ定められた連絡網に従い、官邸、他の関係行政機関、地方公共団体等に、入手した情報、対応に必要な情報を提供する。

関係行政機関、地方公共団体等は、被害情報、対策実施情報等を、官邸対策室又は非常災害対策本部等（設置された場合に限る。以下同じ。）に連絡（地方公共団体等は、関係行政機関又は連絡調整本部若しくは非常災害現地対策本部を介して連絡）し、当該連絡を受けた官邸対策室又は非常災害対策本部等は、必要に応じ、内閣総理大臣に報告するとともに、関係機関に連絡する。

関係行政機関、地方公共団体等は、当該油等汚染事件に対し迅速かつ適切に対応する観点から、事件の収束に至るまで、必要に応じ、相互に緊密な情報の交換を行う。

第4節 油等汚染事件の評価

海上保安庁は、油等汚染事件発生の情報入手したときは、更に詳細な情報を得るように努め、船艇、航空機を油等汚染事件発生場所に急行させるほか、必要に応じ、派遣された自衛隊機等の協力を得て、当該事件の調査を行う。事件の調査結果に基づき、その規模及び態様を分析し、第2章第1節の情報を踏まえ、気象・海象の状況、船舶交通の状況等を考慮して、当該事件の影響を評価し、対策の実施に資するよう、これを官邸、関係行政機関、地方公共団体等に提供する。

また、水産庁及び環境省は、海上保安庁その他の関係行政機関、地方公共団体等からの情報に基づき、当該油等汚染事件が野生生物及び漁業資源に及ぼす影響の評価を行い、これを、野生生物の保護、漁場等の保全等の対策の決定に反映させるとともに、その他の対策の実施に資するよう、速やかに官邸、関係行政機関、地方公共団体等に提供する。

第5節 油等防除対策の実施

1 油等汚染事件が発生した場合、海防法に基づき応急措置を講ずべき船長等及び防除措置を講ずべき船舶所有者等の関係者による措置が実施されることになるが、海上保安庁はこれらの措置義務者の措置の実施状況等を総合的に把握し、措置義務者に対する指導、援助・協力者に対する指導を行う。防除措置義務者が措置を講じていないと認められる場合は、海上保安庁はこれらの者に対し、防除措置を命ずる。

緊急に防除措置を講ずる必要がある場合、海上保安庁は、自ら防除措置を実施し、又は指定海上防災機関に対して防除措置を講ずべきことを指示する。

2 油等汚染事件が発生した場合の排出油等の防除には、例えば、次のような措置があるが、排出油等の種類及び性状、排出油等

の拡散状況、気象・海象の状況その他の種々の条件によってその手法が異なるので、防除作業を行うに当たっては、まず、排出油等の拡散、性状の変化及び化学変化の状況について確実な把握に努め、第4節の評価の結果を踏まえて、状況に応じた適切な防除方針を速やかに決定するとともに、関係行政機関、地方公共団体等が協力して、初動段階において有効な防除勢力の先制集中を図り、もって迅速かつ効果的に排出油等の拡散の防止、回収、処理等を実施する。この場合において、海上保安庁その他の関係行政機関等は、他の関係行政機関、地方公共団体等に対し、防除措置の実施に必要な資機材の確保・運搬及び防除措置の実施について協力要請できるものとし、当該要請を受けた関係行政機関、地方公共団体等は、当該協力の必要の有無等を判断し、必要な協力を行う。

自衛隊は、防除措置の実施に必要な資機材の輸送について、関係行政機関又は地方公共団体から依頼があった場合、輸送の必要の有無等を判断し、航空機、艦船等の輸送手段を使用して必要な支援を行う。

(1) 排出防止措置

引き続き油等の排出を防止するためにガス抜きパイプの閉鎖、船体の傾斜調整等による措置を行うほか、破損タンク内の油等を他船又は他の施設へ移送するいわゆる瀬取りを行う。

(2) 拡散防止措置

排出油等は、風や潮流の影響を受けて、通常急速に拡散し、海洋汚染の範囲が拡大するものもあるため、油等汚染事件が発生した場合には、必要に応じ、直ちに排出源付近の海域にオイルフェンスを展開して排出油等を包囲し、拡散を局限する。

また、揮発性を有する油等の防除に当たっては、排出油等の性状等に応じ、周囲の状況等を勘案して薬剤等の使用により蒸発ガスの発生を抑制する措置を講ずるものとする。

(3) 回収措置

排出油等の回収方法としては、回収船、回収装置等を使用して回収する機械的回収、吸着材、ゲル化剤等の資機材を使用して回収する物理的回収、その他ひしゃく、バケツ等を使用して回収する応急的・補助的な回収があり、状況に応じてこれらの回収方法のうち最も効果的な方法を用いるものとする。

(4) 分散処理等

放水装置による放水若しくは船舶の航走により油等を攪拌し、又は処理剤等を使用して油等の分散を促し、大気若しくは海中へ分散させ、生物・自然分解を促進させる処理がある。これは、回収措置の実施、気象・海象、周囲の自然環境、漁場又は養殖場の分布等の状況を勘案して、(3)に掲げる回収方法のみによることが困難な場合において実施するものとする。

- 3 防除措置を実施するに当たっては、第2章第1節の情報図などを参考にし、それぞれの手法の特質と海洋環境への影響を総合的に考慮して実施すること、できる限り海上での回収に努めること、また、海岸等に漂着させざるを得ない場合においてもその後の回収作業や、影響を受けた環境の修復が比較的容易と想定される場所に誘導すること等に注意を払う必要がある。
- 4 排出油等が海岸等に漂着した場合、船舶所有者等の関係者により漂着した排出油等の除去のための措置が実施されることになるが、関係行政機関、地方公共団体等は、当該除去のための

措置の実施状況等を把握するとともに、迅速かつ効果的な防除作業が実施されるよう、関係機関の出動可能勢力、当該防除作業への支援体制等の情報を収集・整理し、船舶所有者等の関係者に対し提供等を行うよう努める。

関係行政機関、地方公共団体並びに港湾、漁港、河川及び海岸の管理者等は、必要に応じ、協力して、漂着した排出油等の除去のための措置を実施する。この場合において、必要な措置を、地元住民、ボランティア等の協力を得て実施する機関等は、第7節の健康安全管理のための体制整備のほか、円滑な防除作業が実施されるよう必要な支援体制の整備に努める。

- 5 回収した油等(油等によって汚染されたものを含む。以下同じ。)は、船舶所有者等の関係者による処理が実施されることになるが、関係行政機関、地方公共団体等は、当該回収した油等の量、処理作業の状況等を把握するとともに、適正かつ円滑な処理が実施されるよう、関係業界団体等の協力を得て、回収した油等の貯留・搬送に従事可能な貨物船・タンカー等、回収した油等の処理施設・当該受入可能量等の情報を収集・整理し、船舶所有者等の関係者に対し提供等を行うなど、必要な支援体制の整備に努める。

関係行政機関、地方公共団体等は、必要に応じ、回収した油等の処理を実施する。

- 6 油等のうち、引火性や毒性を有するものが排出された場合には、特に以下の点に留意し、防除措置等を実施するものとする。
 - (1) 火災・爆発、ガス中毒等の二次災害を防止するため、検知器具を用いて危険範囲の確認、火気の使用制限等の危険防止措置を講ずるものとする。
 - (2) 排出された物質の特性に応じた保護具を装着させる等防除作業に従事する者の安全確保に努めるものとする。

- (3) 海上保安庁は、排出された物質の種類及び性状、影響を及ぼす範囲等に関する情報の把握に努め、入手した情報を関係行政機関、関係地方公共団体等に速やかに提供するものとする。
- (4) 沿岸域において大規模な汚染事件が発生した場合には、関係行政機関、地方公共団体等は、付近住民の生命及び身体を保護するため、必要に応じ、災対法に定めるところに従い、住民の避難等所要の措置を講ずるものとする。

第6節 資機材等に関する情報の提供等

海上保安庁は、第2章第1節の分野別専門家及び排出油等の防除資機材に関する情報を、関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて提供し得る体制を確保する。

経済産業省は、第2章第4節の石油事業者団体等が行う整備事業において、船舶所有者等の関係者等からの要請に応じて排出油等の防除資機材に関する情報の提供及び排出油等の防除資機材等の貸出しを行い得る体制を確保する。

総務省は、通信機器を、関係業界団体の協力を得る等により、必要に応じて又は関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて供給し得る体制を確保する。

第7節 防除作業実施者の健康管理

厚生労働省及び環境省は、防除作業が実施される場合には、油等の成分、漂着状況等を踏まえ、防除作業における健康又は安全上の配慮事項について検討し、防除作業を実施する関係行政機関、地方公共団体等に対し適切に情報を提供する。

防除作業を実施する関係行政機関、地方公共団体等は、防除作業を実施する者の健康及び安全上の配慮事項について関係者等及

び作業現場への周知を図るなど、健康安全管理のための体制整備に努める。

第8節 野生生物の救護の実施

環境省は、油等汚染事件により野生生物に被害が発生した場合には、排出油等が付着した野生生物の洗浄、排出油等付着に伴う疾病の予防、回復までの飼育等野生生物の救護が、獣医師、関係団体等の協力を得て円滑かつ適切に実施されるよう措置する。

第9節 漁場保全対策等の実施

水産庁は、油等汚染事件により漁場等に汚染が生ずるおそれがある場合、又は生じた場合には、必要に応じて排出油等の回収等の保全、修復対策が円滑かつ適切に実施されるよう措置する。

第10節 海上交通安全の確保及び危険防止措置

油等汚染事件の発生により航路筋が閉そくされる等により現場周辺の海域において船舶交通が混雑し、新たな海難が発生する危険が生じ、あるいは、防除作業の円滑な実施の妨げとなる場合には、海上保安庁は、必要に応じ、海防法等に基づき、船舶の退去、航行制限等の措置を講ずる。

第11節 広報等

船舶交通の安全の確保、付近住民の安全確保、防除作業の円滑な実施等を図るため、関係行政機関、地方公共団体等は、それぞれ必要に応じ、他の関係行政機関、地方公共団体等と連絡調整を図り、迅速かつ的確な広報を行うものとする。

油等汚染事件が発生した場合には、同様の事件の発生の防止及び一般的な油等汚染事件発生時の対応に関する知識の充実に資す

るため、関係行政機関、地方公共団体等は、当該事件の原因、汚染の状況、講じた対策等についての状況を記録する。

第12節 事後の監視等の実施

関係行政機関、地方公共団体等は、前節までに定める措置が終了した後においても、必要に応じ、相互の連携の下、環境影響調査、財産の被害の調査等を実施する。特に、油等汚染事件による沿岸域の生態系等環境への影響は、回復に長期間を要することがあることから、水質、底質、野生生物等への影響の調査を段階的・継続的に実施し、講じた措置の効果を検証する。また、関係行政機関、地方公共団体等は、この結果を踏まえ、必要に応じて補完的な対策を実施する。

第4章 関係行政機関等の相互の連携等

第1節 国家的な連携

関係行政機関は、所掌事務及び関係法令に基づき、油等汚染事件への準備及び対応のため必要な施策の総合的な企画及び推進、関係法令の整備、調査研究の推進等を積極的に実施する。この場合において、関係行政機関は、関係省庁連絡会議等を活用し、相互に密接な連携を確保するよう努める。

また、石油業界、海運業界、鉱山業界、化学業界その他の関係業界団体は、その能力を活用し、油等汚染事件への準備及び対応に関し、積極的に取り組むことが期待され、国は、これら関係者を積極的に支援するとともに、これら関係者との連携の確保に努める。さらに、必要に応じ、専門的な知見に基づく助言等を活用するため、排出油等の防除の実施、海洋環境の保全等に関する専門家との連携を図る。

第2節 地域的な連携

関係地方行政機関等は、所掌事務及び関係法令に基づき、第1節の国家的な連携の下に推進される施策と密接な連携の下に、地域の実情に応じた具体的な準備及び対応の施策を推進する。

また、地方公共団体等、民間事業者その他の関係者は、関係法令に基づく責務に応じ、又は自発的に、その能力を活用し、地域の実情に応じた具体的な準備及び対応の施策を積極的に推進することが期待される。

この場合において、関係者は、排出油等の防除に関する協議会等を活用し、相互に密接な連携を確保するよう努める。また、必要に応じ、専門的な知見に基づく助言等を活用するため、排出油等の防除の実施、海洋環境の保全等に関する専門家との連携を図る。

第5章 その他の事項

第1節 調査研究、技術開発の推進

関係行政機関は、油等汚染事件の防止並びに当該事件による排出油等の防除及び海洋環境への影響の防止に関する調査研究、技術開発を、必要に応じ、民間との連携を図りながら推進する。

第2節 計画の見直し

国は、この計画の見直しについて随時検討し、必要があると認めるときは、見直しを行うものとする。

油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議設置要綱

平成 7 年 5 月 8 日

関係省庁申合せ

(最終改正平成27年12月15日)

1. 「油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画」(平成18年1月8日閣議決定。以下「国家的緊急時計画」という。)及び災害対策基本法(昭和36年法律第233号)に基づく防災基本計画を踏まえ、関係省庁相互の密接な連携と協力の下に、油等汚染事件への準備及び対応を迅速かつ効果的に実施するため、「油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議」(以下「連絡会議」という。)を設置する。
2. 連絡会議は、別記の職にある者をもって構成する。ただし、必要に応じて構成員以外の者を連絡会議に参加させることができる。
3. 連絡会議の事務局は、関係省庁の協力の下、海上保安庁が担当するものとする。ただし、石油コンビナート等特別防災区域から油等汚染事件が発生した場合は、消防庁が担当するものとする。
4. 連絡会議開催の発議については、構成員は事務局と緊密な連絡をとって行うものとする。
5. 前各号に定めるもののほか、連絡会議の運営に関し必要な事項は、連絡会議において定める。
6. 連絡会議においては、油等汚染事件への準備及び対応に関し必要な連絡、調整等を行うものとする。特に、大規模な油等汚染事件発生時には、事件及び被害の第1次情報に対する確認及び共有化、応急対策の調整等を行うものとする。また、国家的緊急時計画の見直し作業についても行うものとする。

別記

内閣官房	内閣参事官
内閣府	政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対応担当）
警察庁	生活安全局地域課長
総務省	大臣官房総務課長
消防庁	予防課特殊災害室長
法務省	入国管理局入国在留課長
外務省	国際協力局地球規模課題総括課専門機関室長
文部科学省	大臣官房文教施設企画部施設企画課長 研究開発局海洋地球課長
厚生労働省	労働基準局安全衛生部計画課長
水産庁	増殖推進部漁場資源課長
経済産業省	産業技術環境局環境指導室長 製造産業局化学課長 商務情報政策局鉱山・火薬類監理官
資源エネルギー庁	資源・燃料部石油精製備蓄課長
国土交通省	大臣官房参事官 総合政策局海洋政策課長 水管理・国土保全局砂防部保全課海岸室長 海事局安全政策課危機管理室長 港湾局総務課危機管理室長 港湾局海洋・環境課長
気象庁	総務部企画課長
海上保安庁	警備救難部環境防災課長 海洋情報部環境調査課長 海洋情報部海洋情報課長
環境省	水・大気環境局水環境課海洋環境室長
防衛省	大臣官房文書課環境対策室長 統合幕僚監部参事官

資料1-1 油保管施設一覧（500k1以上の油保管施設を有する事業所）

令和2年2月1日現在

区	分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500k1以上の油保管施設基数	最大油保管施設容量(k1)	油保管施設総容量(k1)	取扱油種	備考
石油コンビナート等特別防災区域		小那覇	1	南西石油(株)	西原町字小那覇	33	103,000	1,435,000	原油、重油、軽油、灯油、ガソリン、ナフサ、ジェット燃料、アスファルト	
石油コンビナート等特別防災区域		平安座	2	沖縄出光(株)	うるま市与那城平安座	9	45,689	205,016	原油、重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	H16精製部門撤退
石油コンビナート等特別防災区域		平安座	3	沖縄石油基地(株)沖縄事業所	うるま市与那城平宮	45	103,000	4,493,100	原油	
石油コンビナート等特別防災区域		平安座	4	沖縄ターミナル(株)	うるま市与那城平安座	18	102,700	1,758,485	原油、重油、軽油、灯油、ナフサ	
その他		那覇	5	㈱りゅうせきロジコム那覇流通センター	那覇市前島	3	762	2,511	重油、軽油、灯油、ガソリン	
その他		那覇	6	沖縄給油施設(株)	那覇市鏡水	4	3,999	18,230	ジェット燃料	
その他		那覇	7	沖縄電力(株)牧港火力発電所	浦添市牧港	4	28,500	45,886	重油、灯油、軽油	
その他		那覇	8	㈱りゅうせきロジコム久米島流通センター	久米島町字嘉手苅	1	531	1,233	重油、軽油、灯油、ガソリン	
その他		中城	9	沖縄電力(株)石川火力発電所	うるま市石川字赤崎	5	33,000	52,500	重油、灯油、軽油	098-964-3129
その他		中城	10	沖縄電力(株)具志川火力発電所	うるま市具志川字宇堅	2	950	1,900	重油	098-973-1920
その他		中城	11	電源開発(株)石川石炭火力発電所	うるま市石川字赤崎	1	2,000	2,000	重油、軽油	098-964-3711
その他		名護	12	㈱りゅうせきロジコム北部流通センター	名護市安和	4	800	3,300	重油、灯油、軽油、ガソリン	
その他		石垣	13	㈱りゅうせきロジコム八重山流通センター	石垣市南ぬ浜町1番の2	15	960	14,200	重油、灯油、軽油、ガソリン、ジェット燃料	
その他		宮古島	14	沖縄電力(株)宮古第1発電所	宮古島市平良字西仲宗根	2	500	1,155	重油	0980-73-2633
その他		宮古島	15	沖縄電力(株)宮古第2発電所	宮古島市平良字荷川取	3	3,300	7,810	重油	0980-73-2633
その他		宮古島	16	下地空港施設株式会社	宮古島市伊良部字佐和田	2	2,000	4,000	ジェット燃料	0980-78-4812
その他		宮古島	17	㈱りゅうせき宮古支店	宮古島市平良字西仲宗根	12	760	6,178	重油、灯油、軽油、ガソリン	0980-72-8681

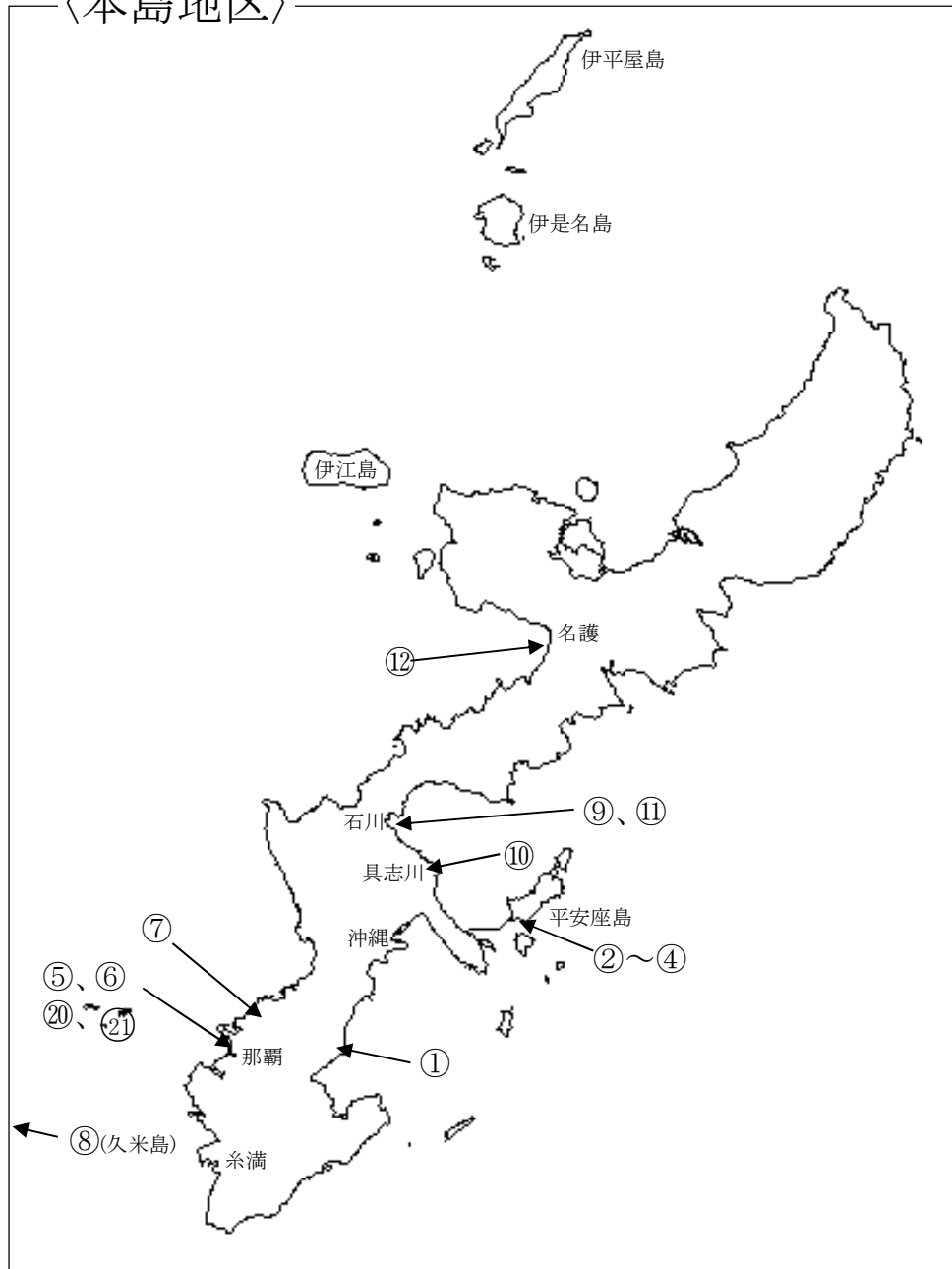
資料1-2 有害液体物質保管施設一覧（500k1以上の有害液体物質保管施設を有する事業所）

令和2年2月1日現在

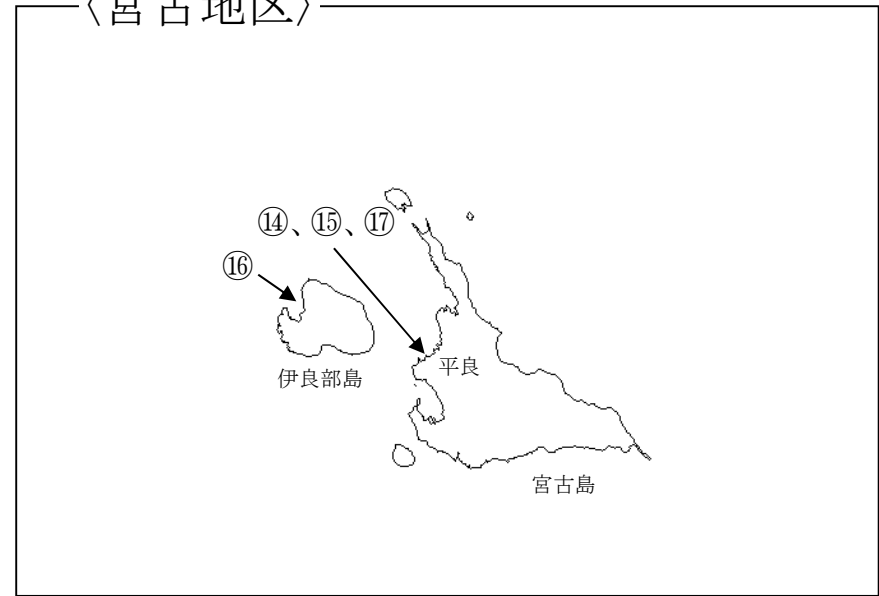
区	分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500k1以上の 保管施設基数	最大保管 施設容量(k1)	保管施設 総容量 (k1)	取扱品目	備考
その他		那覇	20	沖縄製油株式会社	那覇市字安謝620 番地172	0	250×2	500	菜種油(Y)、大豆油(Y)	有害液体物質
その他		那覇	21	株式会社山久商会	那覇市泊2-7-2 01	1	552	552	濃硫酸 (Y)	有害液体物質
その他		中城	22	昭和化学工業株式会社 赤崎ケミカルセンター	うるま市石川赤崎1- 9-1	1	890	1,490	苛性ソーダ(Y)、濃硫酸(Y)	有害液体物質 098-964-3554
その他		宮古島	23	昭和化学工業株式会社 宮古ケミカルセンター	宮古島市平良字西里 57番地41	0	200	600	苛性ソーダ(Y)、濃硫酸(Y)	有害液体物質 0980-75-3000

資料2 油等保管施設位置図

〈本島地区〉



〈宮古地区〉



〈石垣地区〉



資料3-1 係留施設一覧（150総トン以上のタンカーを係留する施設）

令和2年2月1日現在

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着岸船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
金武中城港	1	沖縄石油基地(株)シーバース第1棧橋	うるま市与那城平宮	500,000	原油	連絡先:TEL098-977-7124
金武中城港	2	沖縄石油基地(株)シーバース第2棧橋	うるま市与那城平宮	300,000	原油	(運用休止中)
金武中城港	3	沖縄ターミナル(株)シーバースN01	うるま市与那城平安座	500,000	原油	連絡先:TEL098-977-8112
金武中城港	4	沖縄ターミナル(株)シーバースN02	うるま市与那城平安座	150,000	原油	(運用休止中)
金武中城港	5	沖縄出光(株)N03バース	うるま市与那城平安座	70,000	軽油、ガソリン、ジェット燃料	
金武中城港	6	沖縄出光(株)N04バース	うるま市与那城平安座	20,000	重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
金武中城港	7	沖縄出光(株) N05バース	うるま市与那城平安座	10,000	重油、軽油、灯油、ジェット燃料、ガソリン、LPG	
金武中城港	8	沖縄出光(株) N06バース	うるま市与那城平安座	500	重油	
金武中城港	9	南西石油(株)一点係留ブイ	西原町字小那覇	280,000	原油	(運用休止中、即使用可)
金武中城港	10	南西石油(株)第1棧橋	西原町字小那覇	97,000	原油、重油、軽油、灯油、ガソリン、ナフサ	連絡先:TEL098-882-9555
金武中城港	11	南西石油(株)第2棧橋	西原町字小那覇	4,000	重油、軽油、灯油、ナフサ、ガソリン、ジェット燃料	
金武中城港	12	南西石油(株)第3棧橋	西原町字小那覇	1,650	重油、軽油、灯油、ナフサ、ガソリン、ジェット燃料、 アスファルト、LPG	
金武中城港	13	沖縄電力(株)石川火力発電所棧橋	うるま市石川字赤崎	6,000	重油	
那覇港周辺	14	沖縄電力(株)牧港火力発電所棧橋	浦添市牧港	3,870	重油	
那覇港	15	沖縄給油施設(株)棧橋	那覇市鏡水	2,821	ジェット燃料	
那覇港	16	㈱りゅうせきロジコム那覇流通センター 専用棧橋	那覇市前島	749	重油	
久米島周辺	17	㈱りゅうせきロジコム久米島流通セン ター棧橋	久米島町字嘉手苅	749	重油、軽油、灯油、ガソリン	
本部港周辺	18	㈱りゅうせきロジコム北部流通セン ター安和棧橋	名護市安和	1,593	重油、軽油、灯油、ガソリン	琉球セメント所有
石垣港	19	㈱りゅうせきロジコム八重山流通セン ター石垣港第1岸壁	石垣市美崎町	1,500	重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
平良港	20	㈱りゅうせき宮古支店 平良港第1ふ頭4号岸壁	宮古島市平良西仲宗根	2,000	重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	宮古島市港湾課(管理者) 0980-72-4876

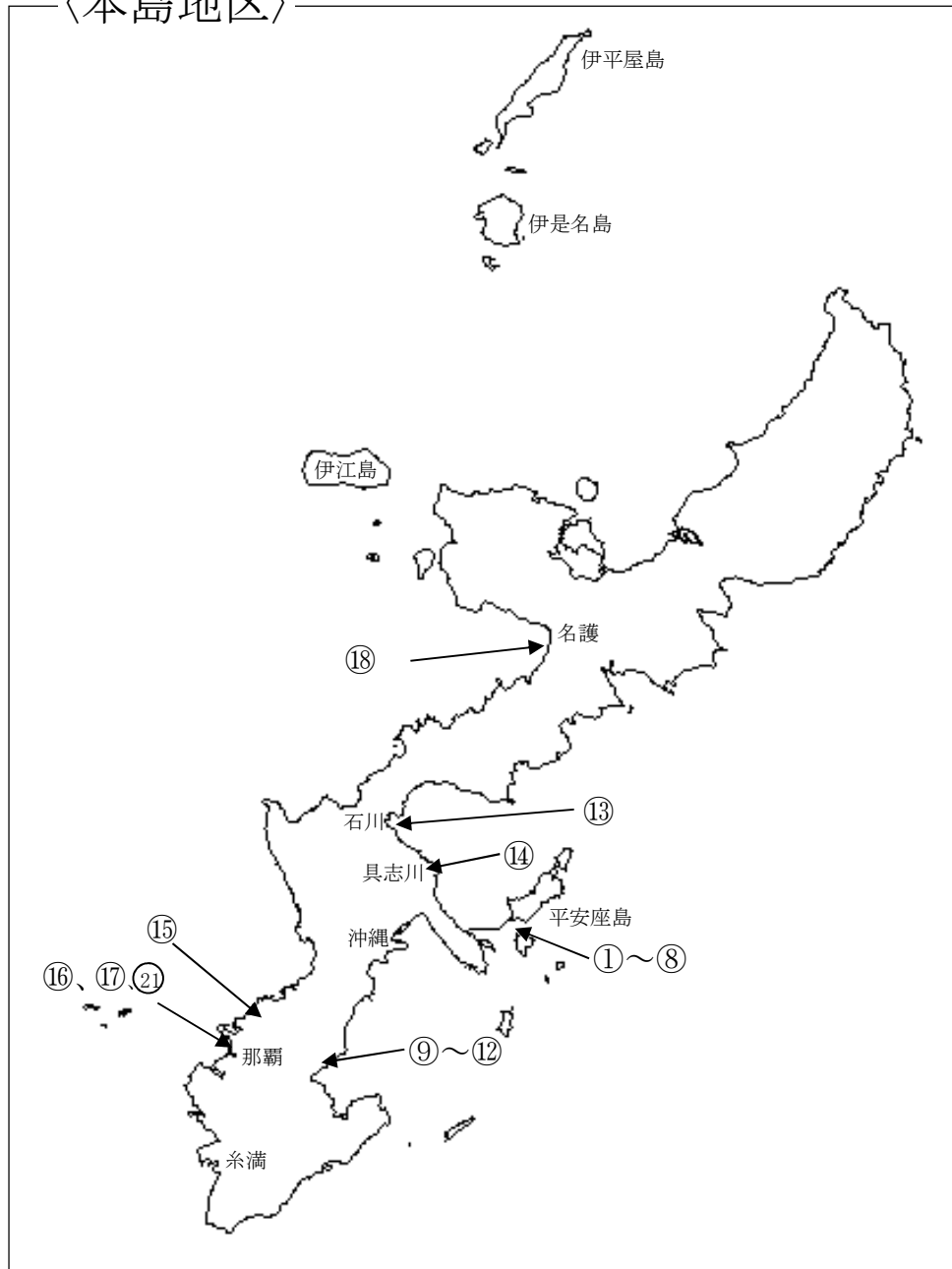
資料 3-2 係留施設一覧（150総トン以上のタンカーを係留する施設）

令和2年2月1日現在

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着棧船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
那覇港	21	那覇ふ頭2号物揚場	那覇市通堂町	750	菜種油、大豆油、硫酸	有害液体物質
平良港	22	平良第2埠頭3号物揚場	宮古島市平良字西里	3,000	苛性ソーダ、濃硫酸	有害液体物質 0980-72-4876

資料4 係留施設位置図

〈本島地区〉



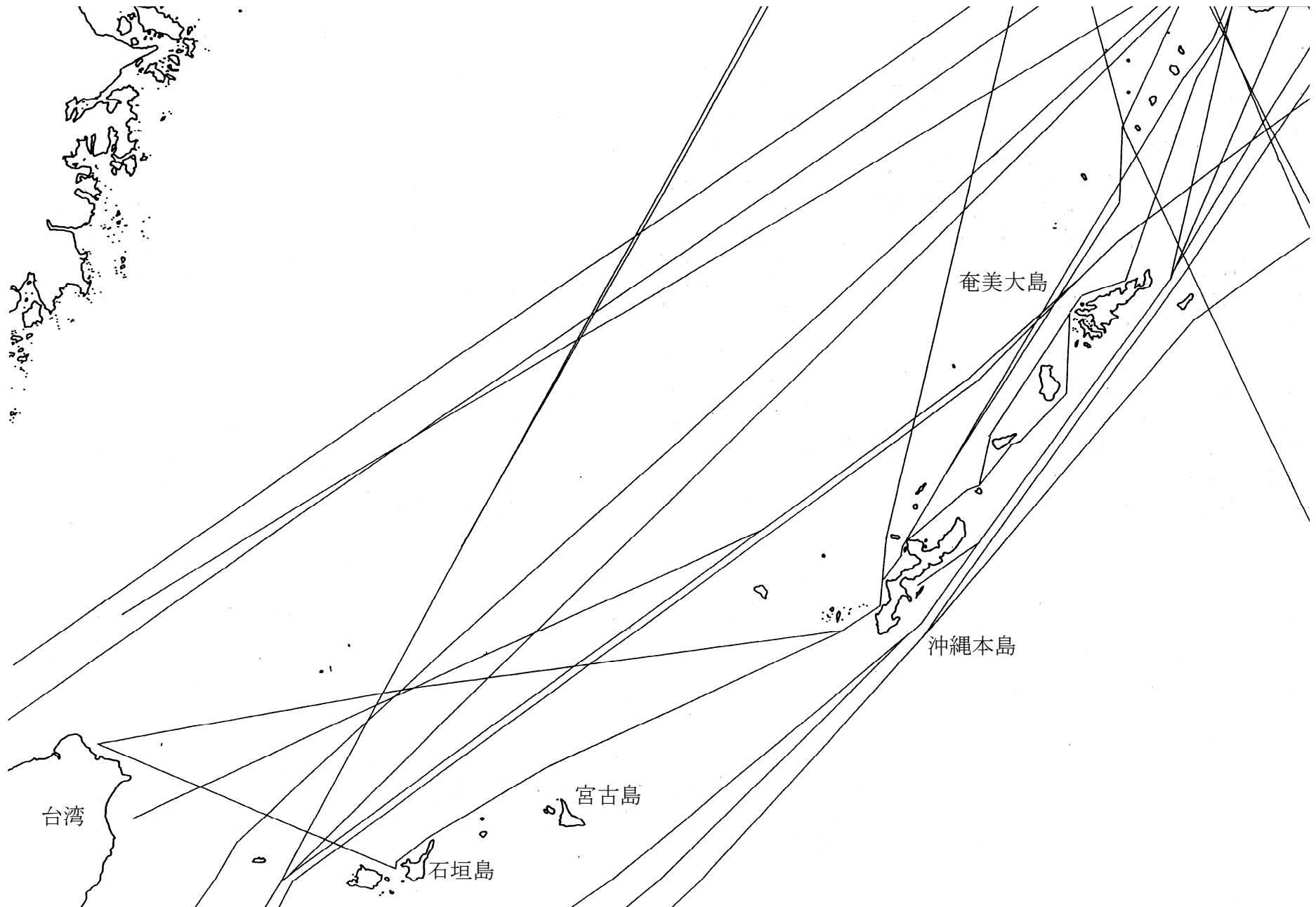
〈宮古地区〉



〈石垣地区〉



資料5 通航船舶の状況 (航跡図)



資料6 特定港入港船舶状況表

(単位:隻数)

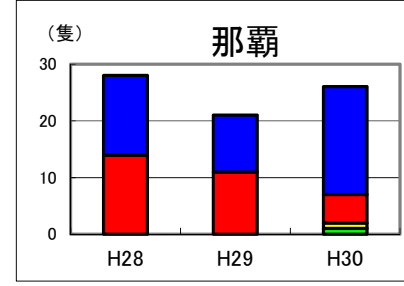
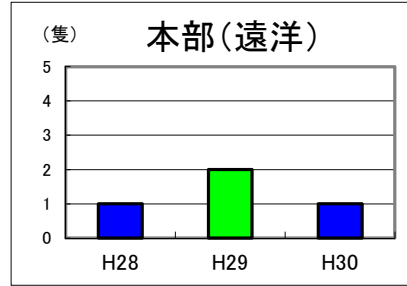
事項別 特定港別	年	トン数階層								合計
		20トン以上 ～ 100トン未満	100トン ～ 500トン	500トン ～ 1,000トン	1,000トン ～ 3,000トン	3,000トン ～ 10,000トン	10,000トン ～ 20,000トン	20,000トン ～ 100,000トン	100,000トン 以上	
那 覇	28	348	3,097	1,786	752	1,397	317	281	57	8,035
	29	306	3,087	2,244	849	1,386	365	282	110	8,629
	30	271	2,915	1,971	969	1,208	498	350	90	8,272
金武中城	28	192	578	1,490	307	360	38	58	15	3,038
	29	166	564	1,238	267	272	26	52	7	2,592
	30	177	590	1,348	193	175	42	77	7	2,609

資料7 要救助海難発生状況表

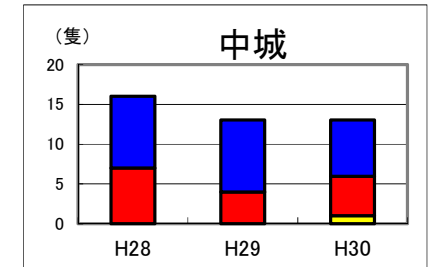
用途	海難の種類 年	衝突	単独衝突	乗揚	転覆	浸水	火災	爆発	運航不能	その他	計
貨物船	28					1					1
	29				1	1					2
	30			1							1
タンカー	28										0
	29										0
	30										0
旅客船	28			2							2
	29								1		1
	30		1		1	1					3
漁船	28	3		9		5			10		27
	29	3	1	7		3	1		7		22
	30	1		5		2	1		4		13
その他	28	1	1	5	4	5	2		21		39
	29		1	8	2	4			13		28
	30		1	8	4	5	1		16	1	36
計	28	4	1	16	4	11	2	0	31	0	69
	29	3	2	15	3	8	1	0	21	0	53
	30	1	2	14	5	8	2	0	20	1	53

資料8 要救助海難発生状況図

那覇			
	H28	H29	H30
貨物船	0	0	1
タンカー	0	0	0
旅客船	0	0	1
漁船	14	11	5
その他	14	10	19

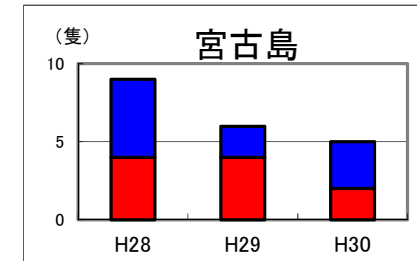


本部(遠洋)			
	H28	H29	H30
貨物船	0	2	0
タンカー	0	0	0
旅客船	0	0	0
漁船	0	0	0
その他	1	0	1

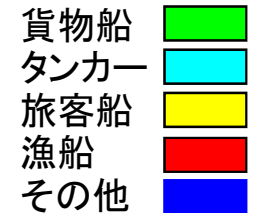
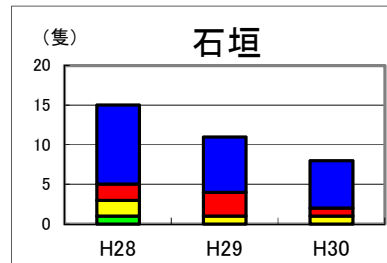


中城			
	H28	H29	H30
貨物船	0	0	0
タンカー	0	0	0
旅客船	0	0	1
漁船	7	4	5
その他	9	9	7

宮古島			
	H28	H29	H30
貨物船	0	0	0
タンカー	0	0	0
旅客船	0	0	0
漁船	4	4	2
その他	5	2	3



石垣			
	H28	H29	H30
貨物船	1	0	0
タンカー	0	0	0
旅客船	2	1	1
漁船	2	3	1
その他	10	7	6



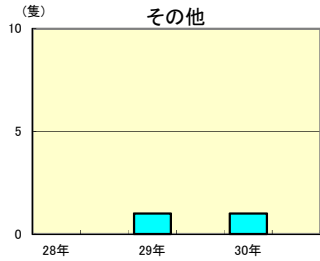
資料9 油等による海洋汚染発生状況表

排出源	原因	故意排出又は容 疑のあるもの	器機取扱い不注 意によるもの	タンク等の破損 によるもの	海難によるもの	原因不明なもの	その他	計
	年							
船舶	28		7		1			8
	29	2	1	1	8		1	13
	30		4	2	10		1	17
陸上	28							0
	29			1				1
	30		1				1	2
不明	28					2	1	3
	29							0
	30					11		11
計	28	0	7	0	1	2	1	11
	29	2	1	2	8	0	1	14
	30	0	5	2	10	11	2	30

資料10 油等による海洋汚染発生状況図

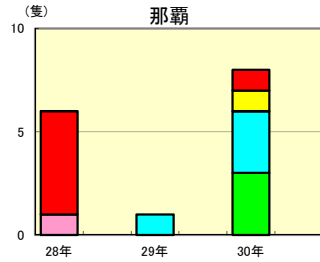
那覇 (隻)

	28年	29年	30年
故意排出	0	0	0
器具取扱い不注意	5	0	1
タンク等破損	0	0	1
海難	0	1	3
原因不明	0	0	3
その他	1	0	0



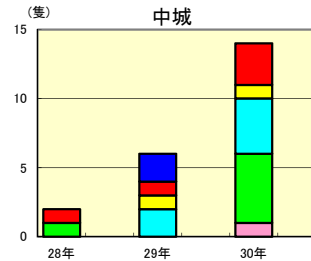
中城 (隻)

	28年	29年	30年
故意排出	0	2	0
器具取扱い不注意	1	1	3
タンク等破損	0	1	1
海難	0	2	4
原因不明	1	0	5
その他	0	0	1



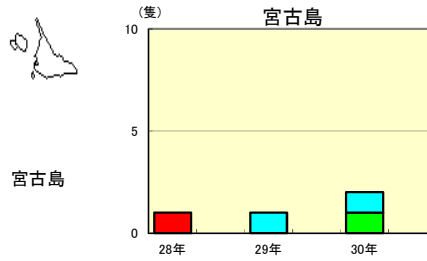
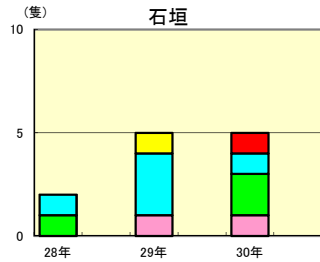
石垣 (隻)

	28年	29年	30年
故意排出	0	0	0
器具取扱い不注意	0	0	1
タンク等破損	0	1	0
海難	1	3	1
原因不明	1	0	2
その他	0	1	1



宮古島 (隻)

	28年	29年	30年
故意排出	0	0	0
器具取扱い不注意	1	0	0
タンク等破損	0	0	0
海難	0	1	1
原因不明	0	0	1
その他	0	0	0



- 故意排出又は容疑
- 器具取扱い不注意
- タンク等破損
- 海難によるもの
- 原因不明なもの
- その他

資料 1 1 過去の代表的な大規模排出油等事故の概要

1 油排出油事故

(1) [あるぷす丸原油排出事故]

昭和 5 7 年 1 2 月 1 7 日 0 5 4 0 頃、金武中城港沖縄石油基地のシーバース第二
棧橋に着棧中のあるぷす丸（1 3 6, 2 3 2 トン、原油 2 6 0 . 5 0 0 K / T 積載）
は、反対側第一棧橋に着棧中のタンカーに自船のポンプを使用して原油移送を実施
していたが、強風により船尾側の全係船機ブレーキが滑って 7 本の係留索が送り出
される状態となり、その結果、船尾が棧橋から約 8 0 m 引き離されて、同船のロー
ディングアーム取付け部が切断、原油約 1 7 . 8 k L が海上に流出したものであ

現場付近は、流出油拡散防止を図るうえで最も地理的条件がよく、かつ、風向及
び潮流が同一方向であったことから浮流油の主流は自然的に宮城島と平宮地区間
の水路へ向け移動する結果となって、その後の油回収作業等が比較的に進み、同年
1 2 月 1 9 日 1 9 0 0 頃には本事故に対する主たる防除作業は概ね終結した。

① 主な使用資機材の数量

イ オイルフェンス：約 3, 0 0 0 m

ロ 油吸着材：約 5, 0 0 0 kg

ハ 油処理剤：約 6, 0 0 0 L

② 動員勢力

イ 船艇：延べ 9 0 隻

ロ 航空機：延べ 4 機

ハ 人員：延べ 3, 6 6 9 人

この事故は、前日午前 5 時 3 0 分に海上風警報、続いて翌 1 7 日午前 4 時 3 0
分には海上強風警報が発令された中での事故であったが、幾多の自然条件に恵ま
れたこと、さらに、当本部指導のもとに隣接企業が総力を挙げて人員及び資機材
の先制集中を行う等の有機的な防除活動の結果、比較的短期間で終結するに到っ
た。

(2) [富國新 2 号油排出事故]

富國新 2 号（6, 6 9 8 トン、川砂 7, 0 0 0 トン積載）は、台湾花蓮港を出航し、
平良港へ入港するため、平良航路を針度 1 7 0 度、速力 1 0 ノットで航行中、同
航路の第 3 号灯浮標と第 4 号灯浮標間を通過する際、船位不確認により、平成 8
年 1 1 月 2 9 日 1 7 2 0 頃、付近リーフ（水深 2 . 1 m）に乗揚げた。

その後、自力離礁を試みるも離礁せず、翌 3 0 日 0 8 3 5 頃、船主手配による
曳船が引き卸ろしのため現場に到着するも海上模様不良により離礁作業ができず、
1 0 5 0 頃、左舷ブルワーク上縁部より海水が船内に打ち込み始め、船体傾斜が
1 0 度となり、1 1 5 5 頃、同航路内に船体が約 5 0 m 飛び出した状態で船首部

及び船尾側船橋の一部を残し水没（水深10m）擱座し、ベンチレーター等の開口部から燃料油のA重油・C重油等が流出したものである。

当本部では、油排出事故発生と同時に中規模海難対策本部を設置し、関係機関に事故概要を通報するとともに、船主等に対して流出油防除措置及び回収作業並びに残燃料の抜取り、船体撤去等を指導したが、海上模様が悪く、流出油の防除・回収作業等は難航した。12月26日までに流出源を完全に封鎖したことから流出油は認められなくなり、残燃料については平成9年1月31日までにサルベージ会社により瀬取作業を終え、3月8日に船体を浮上させ、引き卸し撤去した。

なお、事故発生から流出源封鎖までの間、約46.2kL（推定）の燃料油が流出したが、現場付近の潮流等により、ほとんどの油が沖合に流され、波浪等により自然拡散し、一部の油が海浜に漂着したものの関係者の処理により漁業被害等もなく終結することができた。

① 主な使用資機材の数量

- イ オイルフェンス：440m
- ロ 油吸着材：17,362枚
- ハ 油処理剤：約306L

② 動員勢力

- イ 船艇：延べ161隻
- ロ 航空機：延べ34機
- ハ 人員：延べ1,908人

③ 各関係機関の作業分担

イ 当庁

- ・巡視船艇及び航空機による監視警戒及び浮流油・浮流物の状況調査
- ・機動防除隊による状況調査
- ・PIサーベイヤー、海上防災センター（一次7号業務で対応）等に対する防除作業指導。

ロ 平良市

- ・防除資機材の抛出、船体及び積荷の撤去命令

ハ 地元海洋工事関係者（船主側委託）

- ・油流出源の潜水調査及び流出箇所閉塞、オイルフェンスの展張作業

ニ 平良市漁協（船主側委託）

- ・所属漁船による海上流出油防除及び回収作業

ホ 伊良部漁協（船主側委託）

- ・漂着油の回収

(3) [日章丸原油排出事故]

日章丸（138, 787ト、原油246, 629M/T 搭載）は、金武中城港に平成11年9月7日2140頃入港し、翌8日1045、沖縄ターミナル(株) NO1バースに係留を完了して、1200から荷役を開始した。

1245頃になって、メーカーの技術者がODM（油排出監視装置）の点検を開始したが、1308頃、本来マニュアルにしておかなければならないバルブコントロール用切替えスイッチをオートにしたため、スロップタンクへの還流弁が開き、揚げ荷ラインと同タンクへのラインが繋がったため、揚げ荷の一部が満載状態の同タンク流れ込んだ。そのためにタンクの内圧が上昇し、1310頃に同タンクのハッチカバーが吹き飛ばされ、同タンク内の原油が上甲板に流れ出し、その一部5.6kLが海上に流出したものである。

幸い、流出油はあらかじめ原油揚げ荷作業のため設置されていた浮沈式オイルフェンス（約1,800m）内に滞留したことと、天候等が良かった（晴、南寄りの風3~5m、波浪・うねり等なし）こと等から、浮沈式オイルフェンス外に広がることなく、8日1400~9日1900までの間にOTCを中心とした近隣石油関係者等の協力により、略全量回収された。

本排出油事故では、船主依頼により海上災害防止センター職員が現地に派遣され7号業務（油防除作業の指導・助言）が実施された他、当庁の巡視船艇・航空機による状況調査及び監視警戒等が実施された。

① 主な使用資機材の数量

- イ オイルフェンス：500m
- ロ 油吸着材：249箱（3,964kg）
- ハ 油処理剤：144L
- ニ ヒニール袋：1,405枚

② 動員勢力

- イ 船艇：延べ26隻
- ロ 航空機：延べ5機
- ハ 人員：延べ368人

(4) 「P A S I F I C P O L A R I S 燃料油流出事故」

平成22年10月24日(日) 午後4時5分頃、金武中城港南西石油(株)第一棧橋に着棧作業中のタンカーP A S I F I C P O L A R I S（総トン数28,799トン、空荷、燃料C重油322KL積載）が棧橋に接触、船体に破口を生じ燃料のC重油46KLが海上に流出した。

同海域を担当する中城海上保安部では、「パシフィックポラリス号流出油現地対策本部」を設置し、所属巡視艇及び那覇航空基地所属ヘリコプターを現場に急行

させ、浮流油の状況調査及び防除作業を実施するとともに、横浜機動防除隊の派遣を受け、原因者等に対する防除措置指導、助言を実施する等、油防除のための体制を整備した。

中城海上保安部ほか南西石油㈱を中心とした勢力により、P号の船体や棧橋をオイルフェンスにより包囲して流出油の拡大防止に努めるとともに、海上での油回収作業に全力を尽くした結果、事故発生から5日後には海上での流出油はほぼ見られなくなった。しかしながら、事故発生時にオイルフェンスによって包囲することのできなかつた流出油の多くは、折から接近中の台風に伴う強風（事故の翌日夕刻から強風が吹送した。）に圧流され、中城湾南岸の南城市及び与那原町沿岸一帯に漂着し、地元特産の天然ヒジキや養殖ヒトエグサ（沖縄方言名：アオサ）をはじめとする地元漁業資源に影響が生じることとなった。

① 主な使用資機材の数量

- イ オイルフェンス：4200m
- ロ 油吸着材：422箱
- ハ 油処理剤：なし

② 動員勢力

- イ 船艇：延べ78隻
- ロ 航空機：延べ8機
- ハ 人員：延べ6331人

③ 油回収量

ドラム缶換算で約14,000本（油混じりの砂、海水、藻等を含む。）

(5) 「砂利採取船第十八北栄衝突沈没事故」

平成26年11月15日1920頃、中城新港埠頭から韓国向け出港中の貨物船YONG SHENG7と、慶良間諸島前島から中城新港埠頭向け航行中の砂利採取船第十八北栄（総トン数：960トン 全長：82.24m 全幅：14.7m 搭載油：A重油25KL 積荷：砂利）が、中城港内航路付近で衝突、北栄が横転・沈没したことにより、燃料油が流出、一部が付近海岸に漂着したものの。

中城海上保安部は事故後に北栄の船体周辺にオイルフェンスを展張し、流出油の拡大防止に努めたが、付近海岸への漂着も確認されたため、横浜機動防除隊の派遣を受け、原因者等に対する防除措置指導、助言を行った。

その他、金武中城港排出油等防除協議会会員等を活用し、迅速に必要な油防除資機材の準備を行い、原因者が油防除専門業者と契約を結んだことにより、以後組織的な防除活動が実施されることとなった。

北栄の沈没海域は中城港内航路付近であったことから、港内の安全を確保し二次災害を防止するため、事故発生後直ちに、港湾管理者及び船舶代理店等に対して、

翌朝までの入出港予定船舶を確認のうえ、港則法第37条に基づく一般船舶の航泊を禁止とする措置をとるとともに、AIS、MICS及び航行警報等による情報提供を実施し、船舶交通の安全を確保した。

保安部が主体となり事案収束まで計3回関係者連絡会議を開催し、以後の対処計画等の共有を図り、関係者等の不安の軽減に努めた他、原因者に対し早急な船体撤去について強力に指導した結果、事故発生から65日後、無事船体撤去が完了した。

しかし、付近海域で行っていた養殖ヒトエグサ(沖縄方言名:アオサ)に被害が出る他、地元漁業資源に影響が生じることとなった。

① 主な使用資機材の数量

イ オイルフェンス：800m

ロ 油吸着材：78箱

ハ 油処理剤：0L

ニ ビニール袋：1,930枚

② 動員勢力

イ 船艇：延べ165隻

ロ 航空機：延べ4機

ハ 人員：延べ1540人

2 油排出のおそれのあった事故

(1) [台湾漁船「昇結億」座礁事故]

昇結億（43トン、燃料油A重油約8kL積載）は、沖縄近海での操業を終え、台湾向け航行中、昭和62年1月30日2010頃、沖縄県知念村久高島のリーフに乗揚げたもので、該船船長は、油抜き及び船体の撤去等については台湾に帰国後、所有者に報告して早急に対処することを確約して、翌31日に僚船により帰国し、船体が放置されたままの状態となった。

当本部では、所有者あて油抜き及び船体の除去等について再三にわたり通知するも船長に責任を転嫁したり、話の途中で一方的に電話を切る等、一向に応じる気配がなく、以後電話による連絡も取れなくなってしまった。

船体破損が進行して燃料油が流出した場合、漁業関係者の被害等災害の発生が必至となることから、当本部では2月24日「船体撤去勧告書」を所有者に直接送付するとともに地方公共団体等に対しても、油抜き等の災害防止措置について文書による通告を指導した。

3月17日、当庁指導の下、知念村が主体となって、沖縄県、税関、消防署、石油業者等の関係者が一堂に会し協議を重ねた結果、知念村から琉球華僑総会を通じて、期限を切った文書により、油抜き等の災害防止措置を実施するよう通告し、期限内の回答がない場合は、知念村が所有者を代行して措置を実施、所要経費を別

途請求することとなった。これに対しても所有者から直接の回答は得られなかったが、台湾省漁業局長を介して燃料の抜取りについては船主の同意が得られた旨の回答があり、それを受けた知念村は、3月31日に地元業者に依頼して燃料を抜取り陸上保管した。

4月4日知念村長から「昇結億」所有者に対して、期限を切って油抜取り経費を請求するも期限日の支払いはなく、油の長期保管に困った村は、輸入関税を支払って換価処分し、（*外国船搭載の燃料油の販売は、外国貨物の輸入に該当し、課税対象となる。）その代金を保管することとした。

経費の請求については、その後も交流協会、琉球華僑総会等を通して粘り強く続けた結果、12月中旬頃、台湾側から経費の全額支払があったものである。

なお、該船船体は、7月15日、台風により流出、勝連町の海岸に船骸の一部が漂着したが、沖縄県港湾課等により焼却処分された。

(2) [パナマ船籍漁船NAMHAI E0003座礁事故]

平成5年8月8日1135頃、沖縄県国頭郡辺土名漁港沖合に機関故障のため緊急入域したNAMHAI E0003（184トン、燃料油の軽油等約70KL）は、台風7号の影響を受けて走錨し、付近に散在するリーフに座礁を繰り返した後、同群奥間の米軍奥間レストセンター（ビーチ、米軍提供水域）砂浜に漂着した。

同海域は、沖縄でも有数のビーチ地区であったことから流出油による環境汚染が及び船体の撤去が大きな問題となった。

N号乗組員は、強風の中、当庁のヘリにより全員救助されたが、那覇にはN号の代理店がなく、業者に代理店業務を勧めるも、実質所有者が韓国人であり、過去に手痛い処遇に会っているなどの理由により断られ、正式に代理店が決定するまでに約1週間を要することとなった。

更に、乗組員は全員韓国人で、油の抜取り、船体撤去をしないまま帰国することが考えられたので、乗組員全員の船員手帳を各措置が実施されるまで当本部で保管することとし、船長を介して、所有者に汚染の未然防止、船体の撤去を申し入れるとともに、米軍に対して事案の概要を説明したところ、「施設内に及ぶものについては当方も検討するが、水域については特に措置は考えていない」との回答があった。

所有者は当庁の再三の指導にも係わらず、まったく対応する気配が見られず、状況が進展しなかったことから、8月11日に船体の除去についての勧告文を送付するとともに代理店を通じ、あらゆる方法を駆使して事の重大さを認識させ、早急に対応することの必要性を訴えたところ、翌日になって責任者1名を派遣してきた。

更に、船長の話では保険は加入していないと言うことであったが、サルベージ会社等に依頼して調査させた結果、船舶保険に加入しており、油の抜取りに関しては

問題があるとのことであったため、船体救助の一環として、船体を浮上させるのに油の陸揚げが必要であるとの名目を掲げて保険会社に油の抜取りを了解させた。

船舶は修理して使用すると所有者の意向から、8月17日までに油の抜取りに必要なホース、トラック、ドラム缶（350本）等を代理店が手配し、翌日から乗組員による作業が開始されたが、米軍施設内での作業許可、抜取った油の那覇までの運搬に関し、大量の危険物が道路輸送であることから所管警察署への通知、外国船搭載の油は、関税法上外国貨物として扱われ、関税手続きが必要であること等種々の問題点もあったが、関係機関への事前の事故通知等により比較的スムーズに進行し、19日1700までに油の抜取りを完了して、那覇市の他所蔵置に保管し、船体の引き降ろしについても、ロープの切断により数回失敗したが、9月4日2020に離礁、翌5日に造船所に入渠したものの。

資料12 気候表

(1) 那覇

北緯26度12.4分 東経127度41.2分 標高28.1m

月	海面 平均 気圧	降水量	気温			湿度	風			雲量	天気			
		(mm)	()			(%)	(m/s)				平均	降水日数	雪日数	霧日数
		合計	平均	最高	最低	平均	平均	最多風向	強風日数					
統計期間	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1990	1981	1981	1981	1981	1981	1981
	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010
資料年数	30	30	30	30	30	30	30	21	30	30	30	30	30	30
1月	1020.5	107.0	17.0	19.5	14.6	67	5.4	北北東	7.6	7.6	10.5	0.0	0.0	0.4
2月	1019.4	119.7	17.1	19.8	14.8	70	5.3	北	7.0	7.8	10.2	0.0	0.0	0.8
3月	1017.2	161.4	18.9	21.7	16.5	73	5.2	北	8.4	7.7	11.8	0.0	0.2	2.1
4月	1014.6	165.7	21.4	24.1	19.0	76	5.1	東南東	6.4	7.7	10.5	0.0	0.5	2.0
5月	1011.2	231.6	24.0	26.7	21.8	79	5.0	東	5.8	7.8	11.5	0.0	0.5	2.2
6月	1008.7	247.2	26.8	29.4	24.8	83	5.4	南南西	8.5	8.0	10.6	0.0	0.1	3.1
7月	1008.6	141.4	28.9	31.8	26.8	78	5.3	南東	6.2	6.5	8.8	0.0	0.0	2.8
8月	1006.9	240.5	28.7	31.5	26.6	78	5.2	南東	6.8	6.4	11.8	0.0	0.0	3.6
9月	1009.5	260.5	27.6	30.4	25.5	76	5.4	東南東	5.8	6.2	11.2	0.0	0.0	2.7
10月	1014.1	152.9	25.2	27.9	23.1	71	5.4	北北東	6.8	6.2	8.3	0.0	0.0	1.2
11月	1018.0	110.2	22.1	24.6	19.9	69	5.5	北北東	7.3	6.9	8.5	0.0	0.0	0.4
12月	1020.5	102.8	18.7	21.2	16.3	66	5.2	北北東	7.0	7.0	8.1	0.0	0.0	0.3
年	1014.1	2040.8	23.1	25.7	20.8	74	5.3	北北東	83.5	7.2	121.9	0.0	1.3	21.6

気象庁発行「平年値(統計期間1981~2010年)」による

(2) 名護

北緯26度35.6分 東経127度57.9分 標高6.1m

月	海面 平均 気圧	降水量	気温			湿度	風			雲量	天気			
		(mm)	()			(%)	(m/s)				平均	降水日数	雪日数	霧日数
		合計	平均	最高	最低	平均	平均	最多風向	強風日数					
統計期間	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1990	1981	///	1981	2002	2002	///
	~2010	~2010	~2010	~2010	~2010	~2010	~2010	~2010	~2010		~2010	~2010	~2010	
資料年数	30	30	30	30	30	30	30	21	30	0	30	9	9	0
1月	1020.5	111.4	16.3	19.3	13.5	69	3.9	北	1.7	///	11.9	0.0	0.0	///
2月	1019.4	126.3	16.5	19.5	13.5	71	3.7	北	1.7	///	11.3	0.0	0.0	///
3月	1017.3	153.1	18.4	21.3	15.5	74	3.7	北北東	2.0	///	12.6	0.0	0.0	///
4月	1014.6	171.5	21.0	23.9	17.9	75	3.5	北北東	1.3	///	11.1	0.0	0.3	///
5月	1011.3	222.4	23.5	26.5	20.8	78	3.3	北北東	1.1	///	11.9	0.0	0.0	///
6月	1008.7	244.1	26.7	29.2	24.6	82	3.8	南南西	2.4	///	11.4	0.0	0.2	///
7月	1008.7	151.3	28.8	31.8	26.5	78	3.6	南東	1.8	///	9.8	0.0	0.1	///
8月	1007.0	248.2	28.6	31.6	26.2	79	3.6	南東	3.4	///	12.5	0.0	0.0	///
9月	1009.6	220.9	27.3	30.5	24.8	77	3.7	北北東	3.0	///	11.5	0.0	0.0	///
10月	1014.2	150.7	24.8	27.8	22.3	73	4.1	北北東	2.9	///	8.5	0.0	0.0	///
11月	1018.1	122.9	21.4	24.4	18.8	71	4.0	北北東	2.1	///	9.7	0.0	0.0	///
12月	1020.6	96.2	18.0	21.0	15.1	68	3.7	北北東	1.6	///	9.4	0.0	0.0	///
年	1014.2	2018.9	22.6	25.6	20.0	75	3.7	北北東	24.9	///	131.6	0.0	0.6	///

気象庁発行「平年値(統計期間1981~2010年)」による

(3) 久米島

北緯26度20.2分 東経126度48.2分 標高5m

月	海面 平均 気圧	降水量	気温			湿度	風			雲量	天気			
		(mm)	()			(%)	(m/s)				平均	降水日数	雪日数	霧日数
		合計	平均	最高	最低	平均	平均	最多風向	強風日数					
統計期間	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1990	1981	///	1981	2004	2004	///
	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010		~ 2010	~ 2010	~ 2010	
資料年数	30	30	30	30	30	30	30	21	30	0	30	7	7	0
1月	1020.7	139.0	16.7	19.2	14.1	68	4.2	北	0.3	///	12.8	///	///	///
2月	1019.6	144.7	17.0	19.6	14.5	70	4.1	北	0.4	///	12.1	///	///	///
3月	1017.3	202.4	18.8	21.6	16.2	74	4.0	北	0.5	///	14.0	///	///	///
4月	1014.5	195.1	21.4	24.1	18.9	76	4.1	北	0.3	///	11.9	///	///	///
5月	1011.1	265.0	24.0	26.7	21.6	79	3.7	東	0.2	///	12.2	///	///	///
6月	1008.4	263.9	26.8	29.3	24.7	84	4.0	南南西	0.4	///	10.8	///	///	///
7月	1008.3	119.0	28.8	31.7	26.5	80	3.9	南南西	1.0	///	7.1	///	///	///
8月	1006.8	182.1	28.6	31.5	26.1	80	3.6	南東	2.3	///	9.9	///	///	///
9月	1009.6	217.9	27.4	30.2	24.9	78	3.4	北東	2.0	///	10.3	///	///	///
10月	1014.4	138.3	25.0	27.6	22.8	72	3.7	北東	1.1	///	7.9	///	///	///
11月	1018.3	122.5	22.1	24.4	19.8	69	4.1	北東	0.4	///	9.0	///	///	///
12月	1020.8	121.8	18.6	21.0	16.1	66	3.8	北	0.5	///	9.8	///	///	///
年	1014.2	2111.8	22.9	25.6	20.5	75	3.9	北	9.4	///	127.7	///	///	///

気象庁発行「平年値(統計期間1981~2010年)」による

(4) 宮古島

北緯24度47.6分 東経125度16.7分 標高39.9m

月	海面 平均 気圧	降水量	気温			湿度	風			雲量	天気			
		(mm)	()			(%)	(m/s)				平均	降水日数	雪日数	霧日数
		合計	平均	最高	最低	平均	平均	最多風向	強風日数					
統計期間	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1990	1981	1981	1981	1981	1981	1981
	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010
資料年数	30	30	30	30	30	30	30	21	30	30	30	30	30	30
1月	1020.1	130.8	18.0	20.4	16.0	72	4.9	北北東	2.8	7.9	12.9	0.0	0.0	0.4
2月	1019.0	141.3	18.3	20.9	16.2	75	4.9	北北東	3.0	7.9	11.2	0.0	0.0	0.8
3月	1016.9	137.8	20.0	22.7	17.7	77	4.6	北北東	2.5	7.6	11.7	0.0	0.2	2.0
4月	1014.1	160.3	22.4	25.1	20.2	80	4.4	北東	1.7	7.6	10.3	0.0	0.1	2.6
5月	1010.7	207.7	24.8	27.5	22.7	82	4.1	南	1.2	7.5	10.6	0.0	0.0	3.1
6月	1008.2	185.5	27.2	29.9	25.2	84	4.5	南南西	1.7	7.1	9.3	0.0	0.0	4.0
7月	1007.9	130.8	28.7	31.6	26.6	80	4.4	南南西	2.3	5.9	8.5	0.0	0.0	2.9
8月	1006.3	262.5	28.5	31.2	26.3	80	4.3	南	4.2	6.0	11.1	0.0	0.0	3.7
9月	1009.2	230.0	27.4	30.0	25.3	79	4.6	北東	3.7	6.2	11.1	0.0	0.0	3.0
10月	1013.8	156.2	25.4	27.8	23.6	75	5.2	北東	4.6	6.4	9.5	0.0	0.0	1.3
11月	1017.5	146.9	22.7	25.0	20.8	73	5.4	北東	5.7	7.1	10.9	0.0	0.0	0.6
12月	1020.1	131.3	19.7	22.0	17.8	70	5.2	北北東	4.0	7.4	10.3	0.0	0.0	0.3
年	1013.7	2021.0	23.6	26.2	21.6	77	4.7	北東	37.3	7.1	127.3	0.0	0.4	24.8

気象庁発行「平年値(統計期間1981~2010年)」による

(5) 石垣

北緯24度20.2分 東経124度09.8分 標高5.7m

月	海面 平均 気圧	降水量	気温			湿度	風			雲量	天気			
		(mm)	()			(%)	(m/s)				平均	降水日数	雪日数	霧日数
		合計	平均	最高	最低	平均	平均	最多風向	強風日数					
統計期間	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1990	1981	1981	1981	1981	1981	1981
	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010
資料年数	30	30	30	30	30	30	30	21	30	30	30	30	30	30
1月	1019.9	130.6	18.6	21.2	16.5	72	5.3	北北東	2.6	8.1	12.2	0.0	0.0	0.2
2月	1018.8	139.4	19.1	21.6	16.9	74	5.5	北北東	3.2	8.1	10.4	0.0	0.0	0.6
3月	1016.7	131.5	20.8	23.5	18.5	76	5.4	北北東	3.1	7.8	10.3	0.0	0.0	1.8
4月	1013.9	155.1	23.3	25.8	21.2	78	5.0	北北東	2.1	7.8	9.0	0.0	0.0	2.8
5月	1010.4	206.6	25.7	28.3	23.6	79	4.6	北東	1.9	7.5	10.0	0.0	0.0	3.3
6月	1007.9	206.6	28.0	30.4	26.1	81	5.3	南	4.6	7.3	8.8	0.0	0.0	3.7
7月	1007.5	130.4	29.5	32.0	27.6	77	6.2	南南西	5.3	6.1	7.7	0.0	0.0	2.6
8月	1006.1	261.6	29.2	31.8	27.1	77	6.0	南	6.1	6.2	11.5	0.0	0.0	4.4
9月	1009.1	257.7	27.9	30.7	25.8	76	5.4	北北東	5.5	6.4	11.7	0.0	0.0	3.4
10月	1013.8	204.5	25.9	28.7	23.7	73	6.1	北北東	4.0	6.6	9.8	0.0	0.0	1.7
11月	1017.3	156.5	23.2	25.8	21.1	72	5.6	北北東	3.7	7.3	11.0	0.0	0.0	0.9
12月	1020.0	126.3	20.1	22.7	18.0	69	5.6	北北東	3.1	7.7	10.7	0.0	0.0	0.3
年	1013.5	2106.8	24.3	26.9	22.2	75	5.5	北北東	45.2	7.3	123.1	0.0	0.0	25.8

気象庁発行「平年値(統計期間1981~2010年)」による

(6) 西表島

北緯24度25.6分 東経123度45.9分 標高9.9m

月	海面 平均 気圧	降水量	気温			湿度	風			雲量	天気			
		(mm)	()			(%)	(m/s)				降水日数	雪日数	霧日数	雷日数
		合計	平均	最高	最低	平均	平均	最多風向	強風日数	平均	降水日数	雪日数	霧日数	雷日数
統計期間	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1990	1989	///	1981	2002	2002	///
	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010		~ 2010	~ 2010	~ 2010	
資料年数	30	30	30	30	30	30	30	21	22	0	30	9	9	0
1月	1019.9	168.9	18.3	20.4	16.3	78	4.8	北東	7.2	///	14.2	0.0	0.1	///
2月	1018.7	166.0	18.9	21.4	16.7	76	5.1	北東	5.9	///	13.0	0.0	0.1	///
3月	1016.6	149.2	19.9	22.8	17.6	80	4.4	北東	5.6	///	13.1	0.0	0.0	///
4月	1013.7	174.6	22.5	25.1	20.1	80	3.9	北東	4.0	///	10.4	0.0	0.0	///
5月	1010.3	182.1	25.2	28.3	22.7	82	3.7	南	2.6	///	10.4	0.0	0.1	///
6月	1007.5	197.8	27.4	30.2	25.1	82	4.0	南	6.0	///	10.2	0.0	0.3	///
7月	1007.3	141.6	28.9	32.1	26.5	78	4.3	南	4.0	///	8.9	0.0	0.2	///
8月	1005.9	273.6	28.3	31.1	25.8	82	4.1	南	4.8	///	11.8	0.0	0.3	///
9月	1009.2	267.7	27.3	30.1	24.8	81	4.1	北東	5.0	///	12.8	0.0	0.0	///
10月	1013.9	209.1	25.1	27.6	23.0	76	5.6	北東	5.5	///	10.8	0.0	0.3	///
11月	1017.4	221.2	22.7	25.0	20.5	78	5.0	北東	6.3	///	12.6	0.0	0.0	///
12月	1020.0	153.1	19.5	22.1	17.7	73	5.0	北東	5.5	///	12.8	0.0	0.2	///
年	1013.4	2304.9	23.7	26.4	21.4	79	4.5	北東	62.3	///	141.0	///	///	///

気象庁発行「平年値(統計期間1981~2010年)」による

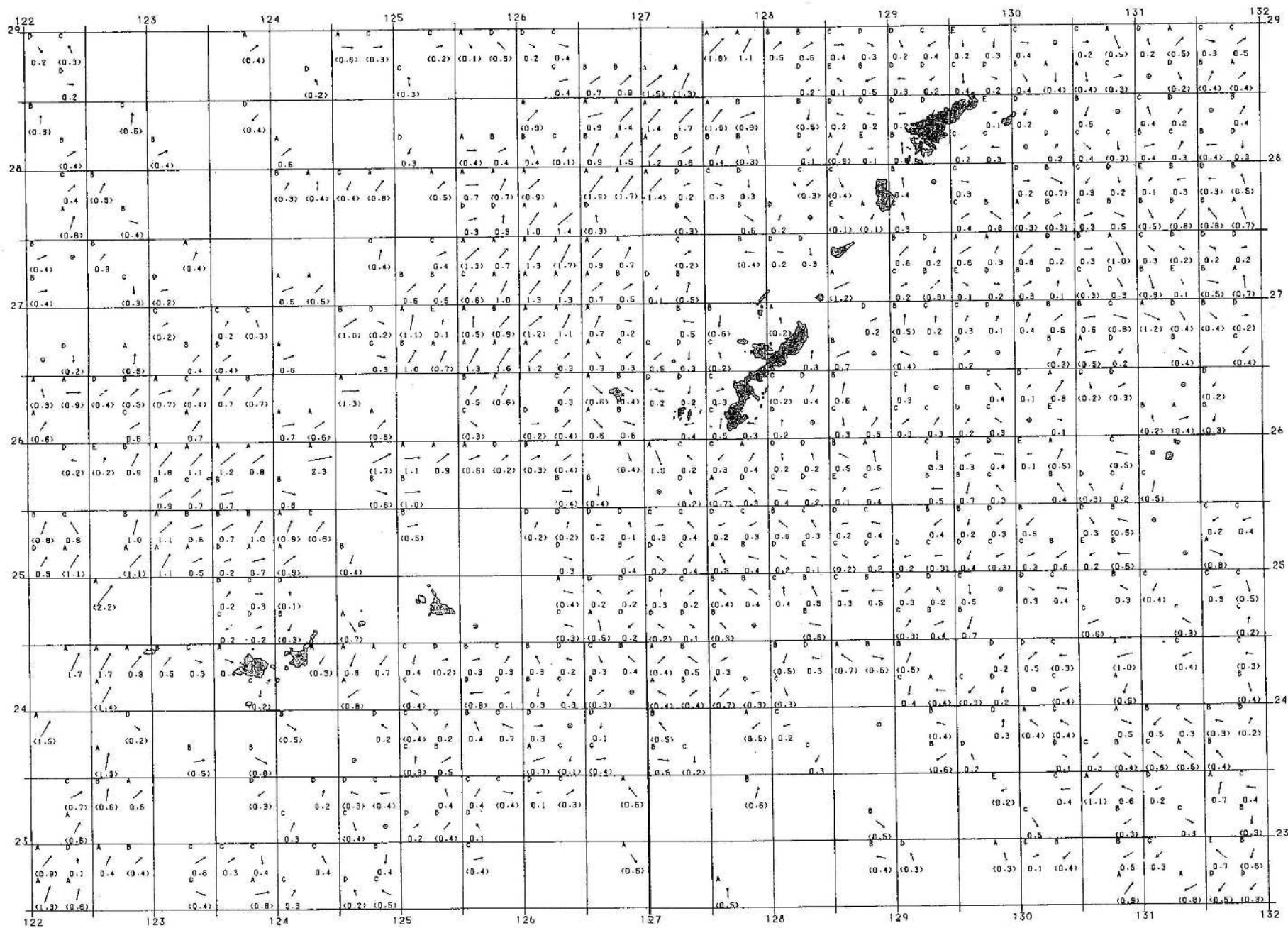
(7) 与那国島

北緯24度28.0分 東経123度00.6分 標高30m

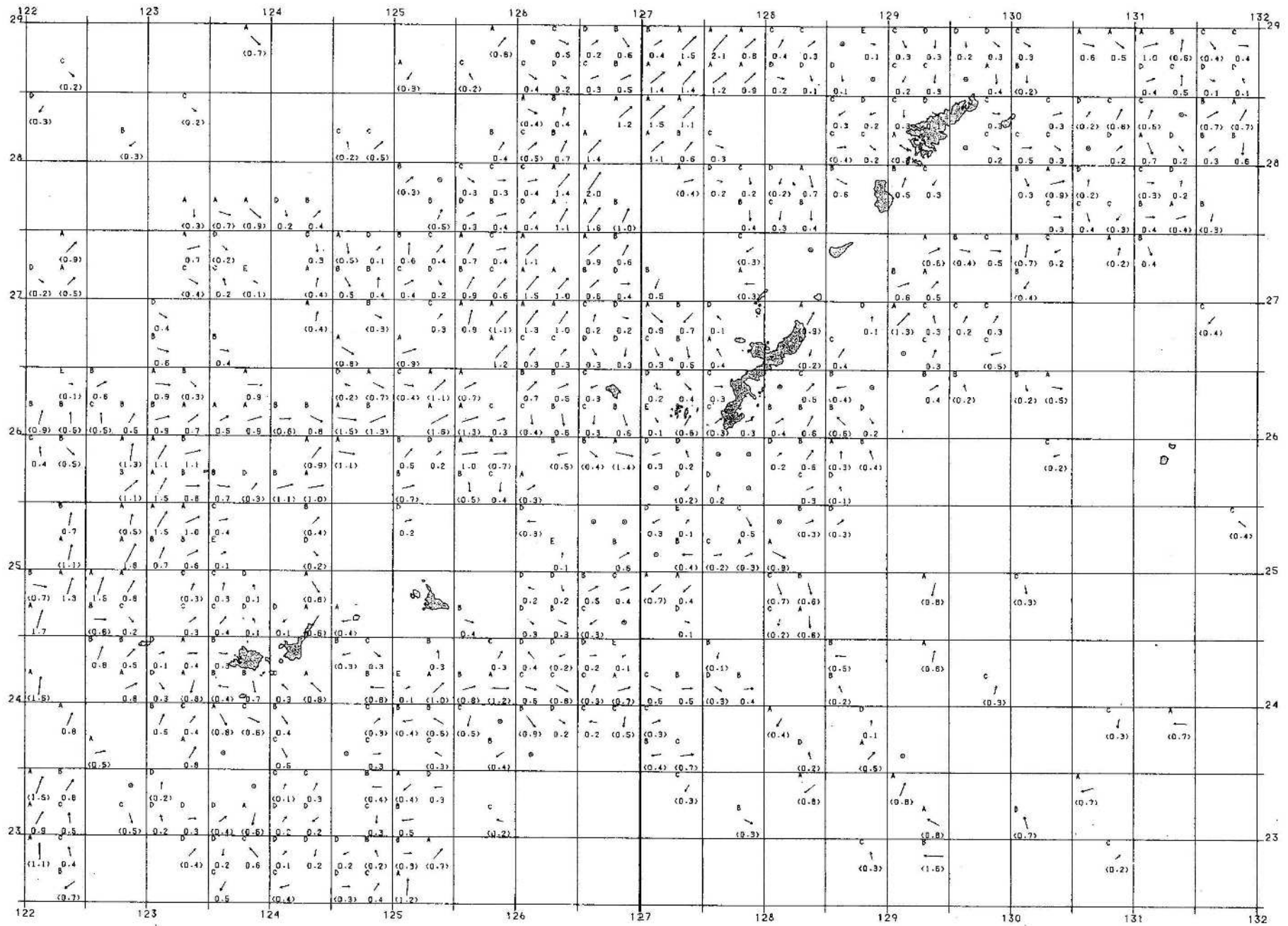
月	海面 平均 気圧	降水量	気温			湿度	風			雲量	天気			
		(mm)	()			(%)	(m/s)				平均	降水日数	雪日数	霧日数
		合計	平均	最高	最低	平均	平均	最多風向	強風日数					
統計期間	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1981	1990	1981	///	1981	2008	2008	///
	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010	~ 2010		~ 2010	~ 2010	~ 2010	
資料年数	30	30	30	30	30	30	30	21	30	0	30	3	3	0
1月	1020.1	198.8	18.4	20.5	16.4	74	7.8	北北東	21.1	///	16.0	///	///	///
2月	1018.8	157.9	18.8	21.0	16.8	77	7.6	北北東	18.7	///	14.1	///	///	///
3月	1016.6	152.1	20.4	22.8	18.3	78	6.8	北北東	16.9	///	14.2	///	///	///
4月	1013.7	173.3	22.9	25.2	20.8	79	6.1	南	12.1	///	11.9	///	///	///
5月	1010.2	207.4	25.3	27.7	23.2	81	5.4	南	8.0	///	11.7	///	///	///
6月	1007.3	164.0	27.5	29.8	25.6	83	5.6	南	8.8	///	10.0	///	///	///
7月	1007.0	138.5	28.8	31.4	26.6	80	5.4	南	7.7	///	7.9	///	///	///
8月	1005.8	212.5	28.5	31.2	26.2	81	5.1	南	7.0	///	10.3	///	///	///
9月	1009.2	293.2	27.3	29.8	25.1	79	6.2	北北東	10.3	///	12.3	///	///	///
10月	1014.1	227.7	25.4	27.6	23.5	75	7.4	北北東	15.7	///	10.8	///	///	///
11月	1017.6	248.3	22.8	24.9	20.9	74	7.7	北北東	17.7	///	13.5	///	///	///
12月	1020.2	179.7	19.8	21.9	17.9	72	7.9	北北東	20.3	///	14.1	///	///	///
年	1013.4	2353.6	23.8	26.2	21.8	78	6.6	北北東	164.3	///	146.7	///	///	///

気象庁発行「平年値(統計期間1981~2010年)」による

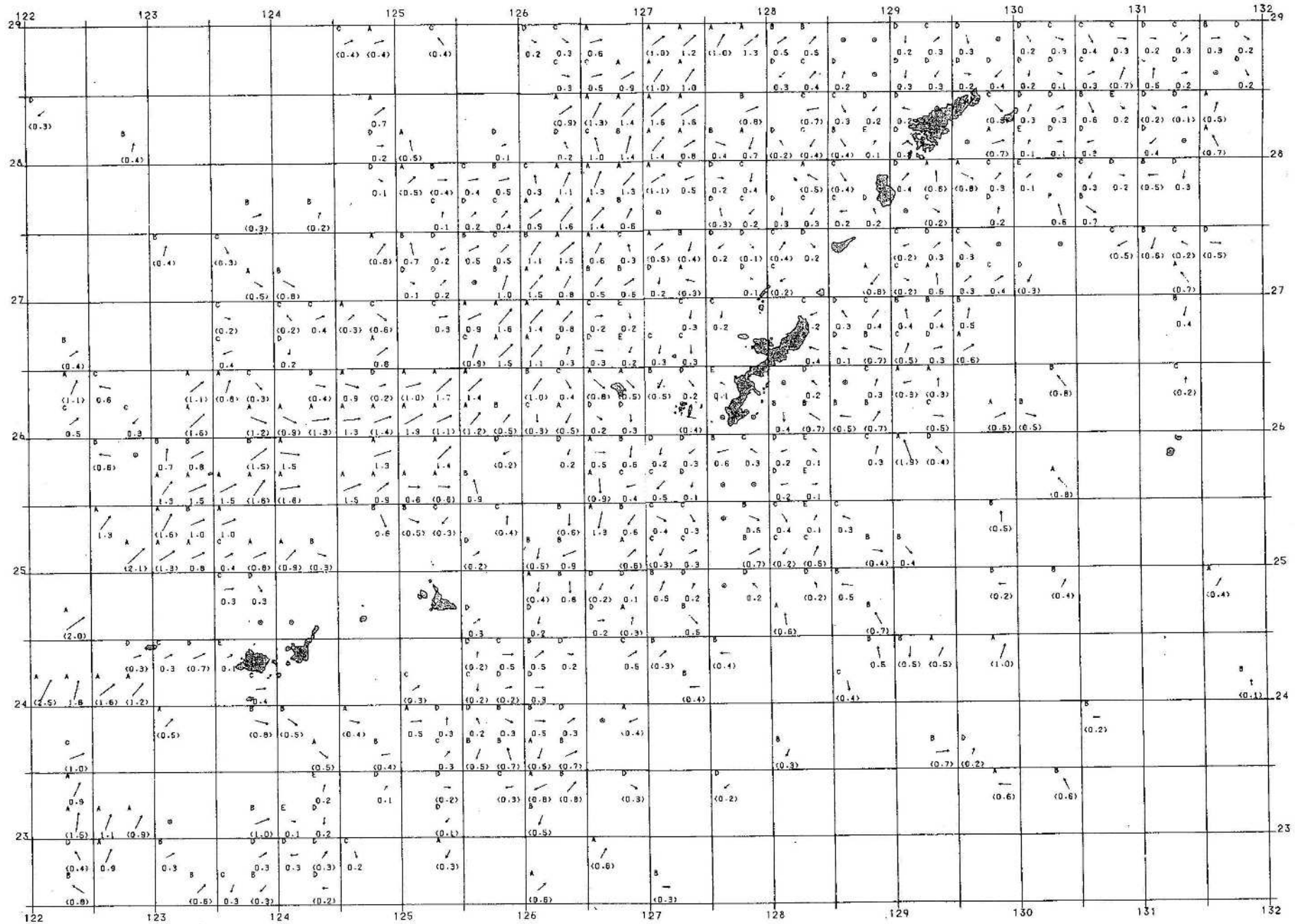
資料 13 - 1 沖縄周辺海流図 (1月 ~ 3月)



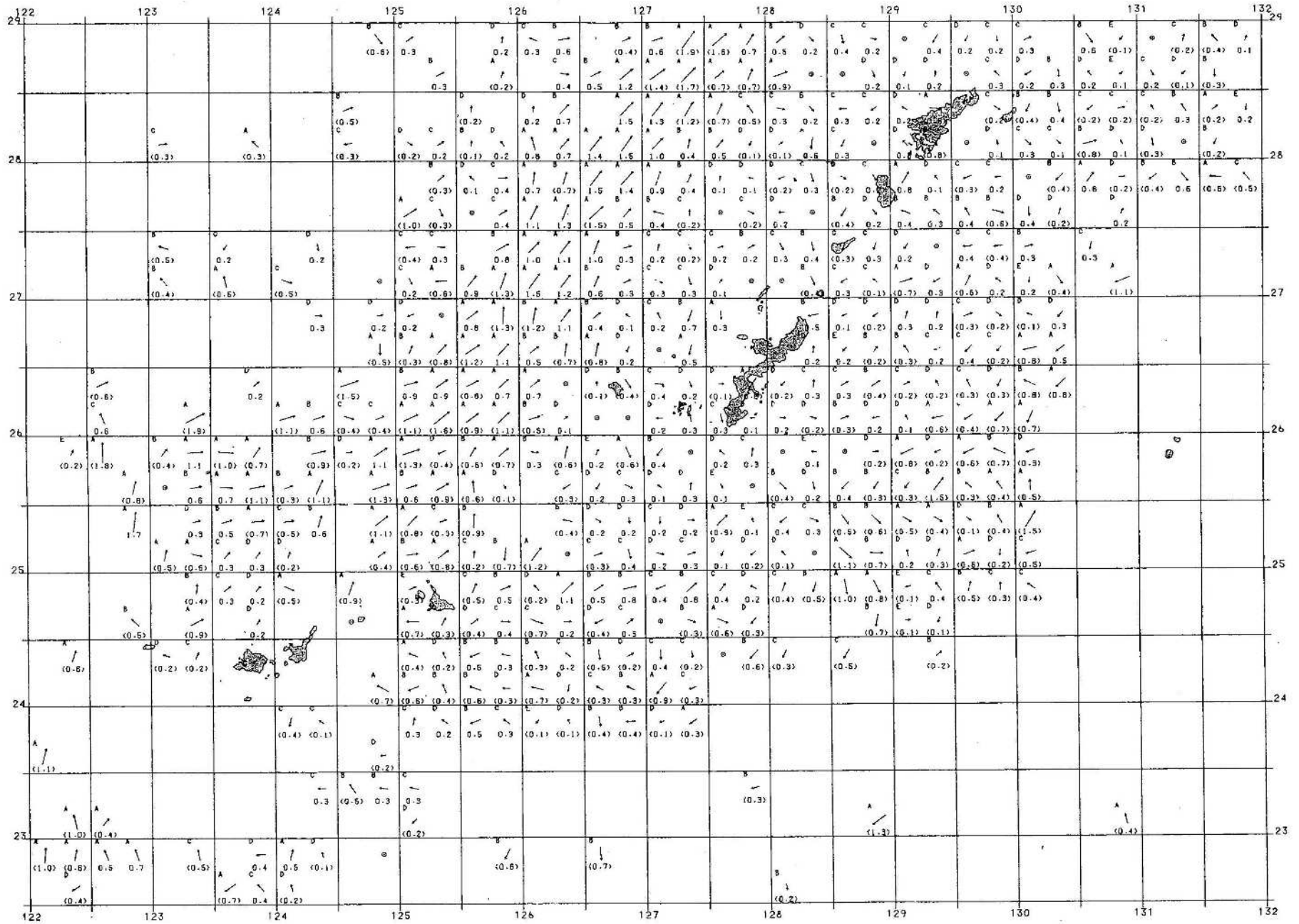
資料 1 3 - 2 沖繩周辺海流図 (4 月 ~ 6 月)



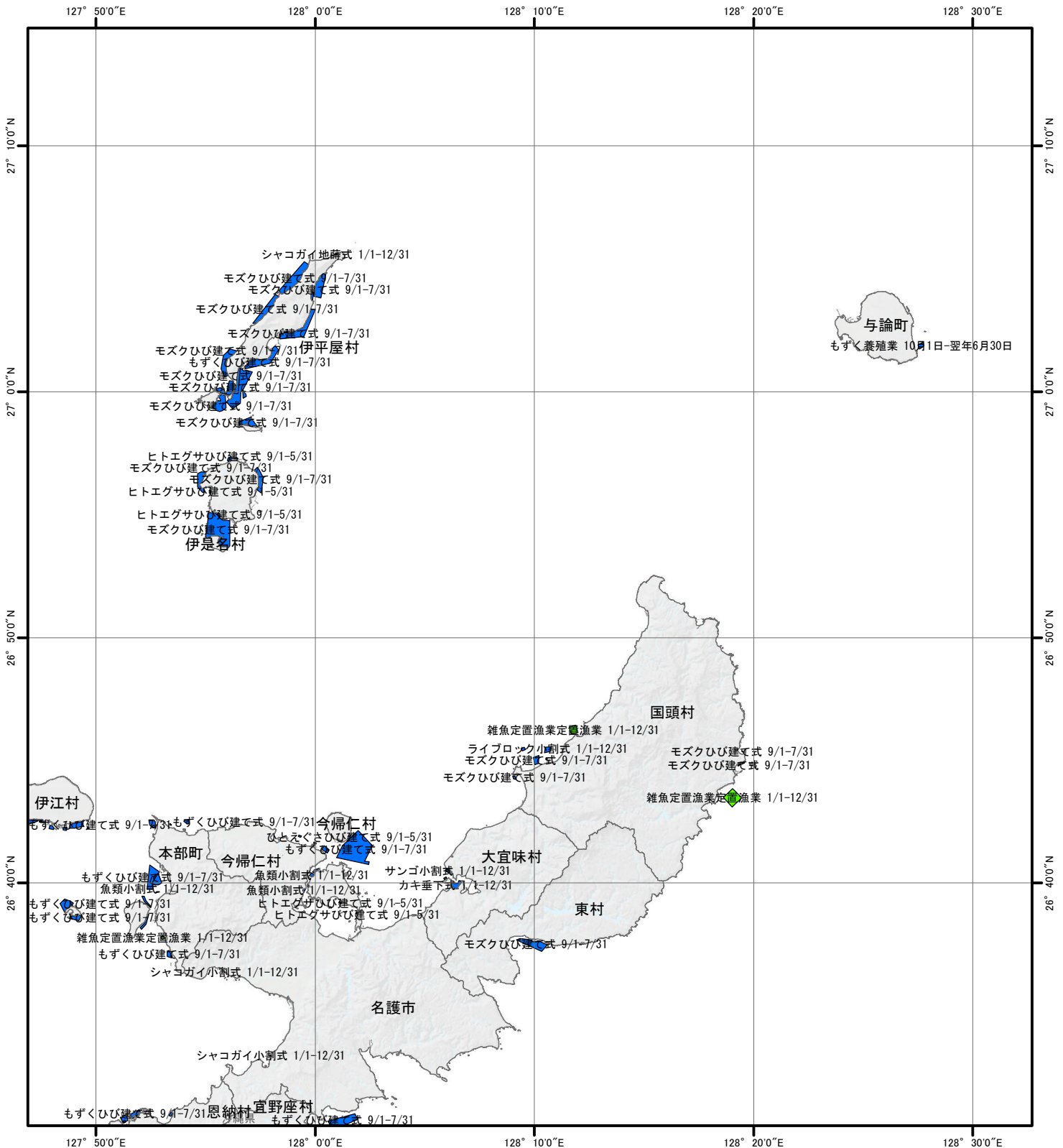
資料 13 - 3 沖縄周辺海流図 (7月~9月)



資料 13 - 4 沖縄周辺海流図 (10月~12月)

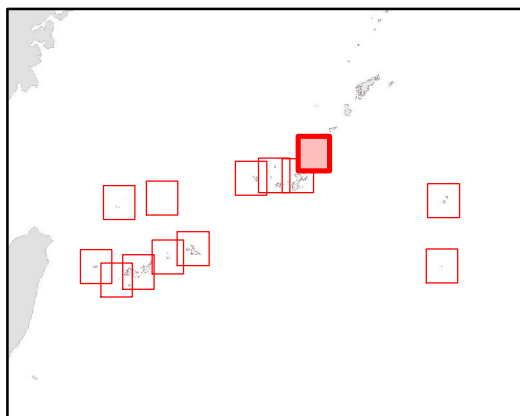


資料14 漁具定置箇所位置図

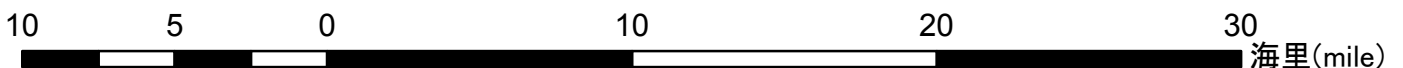


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

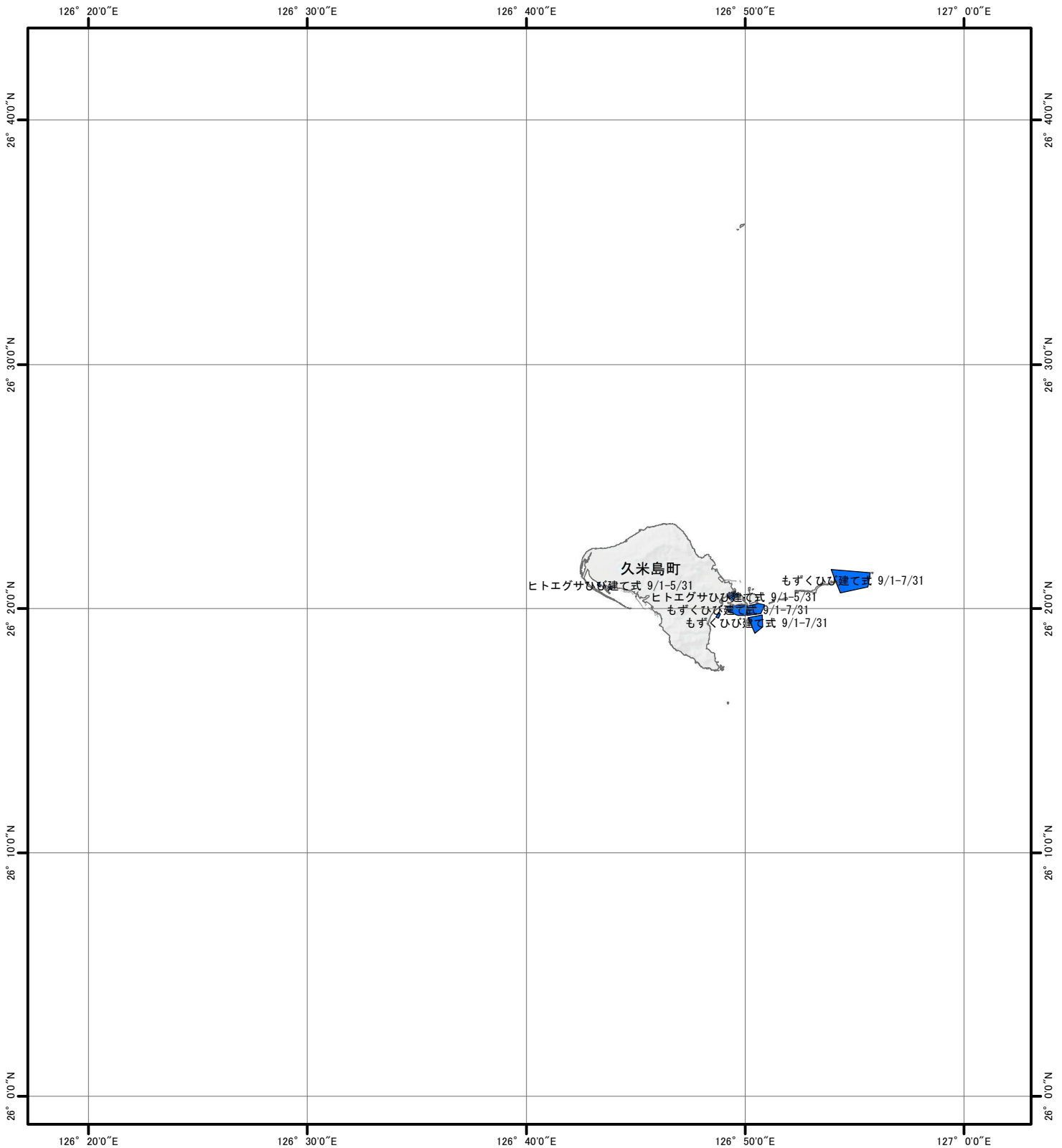
- 区画漁業
- 定置漁業



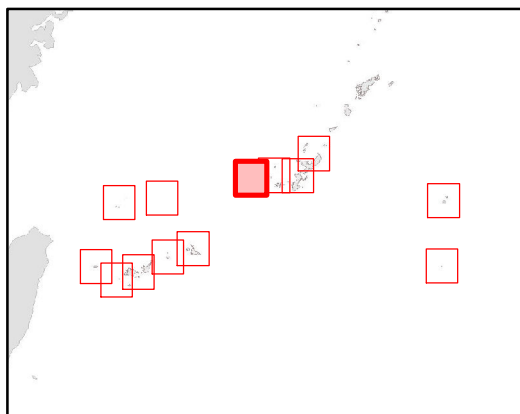
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

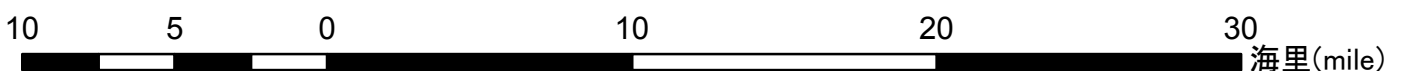


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

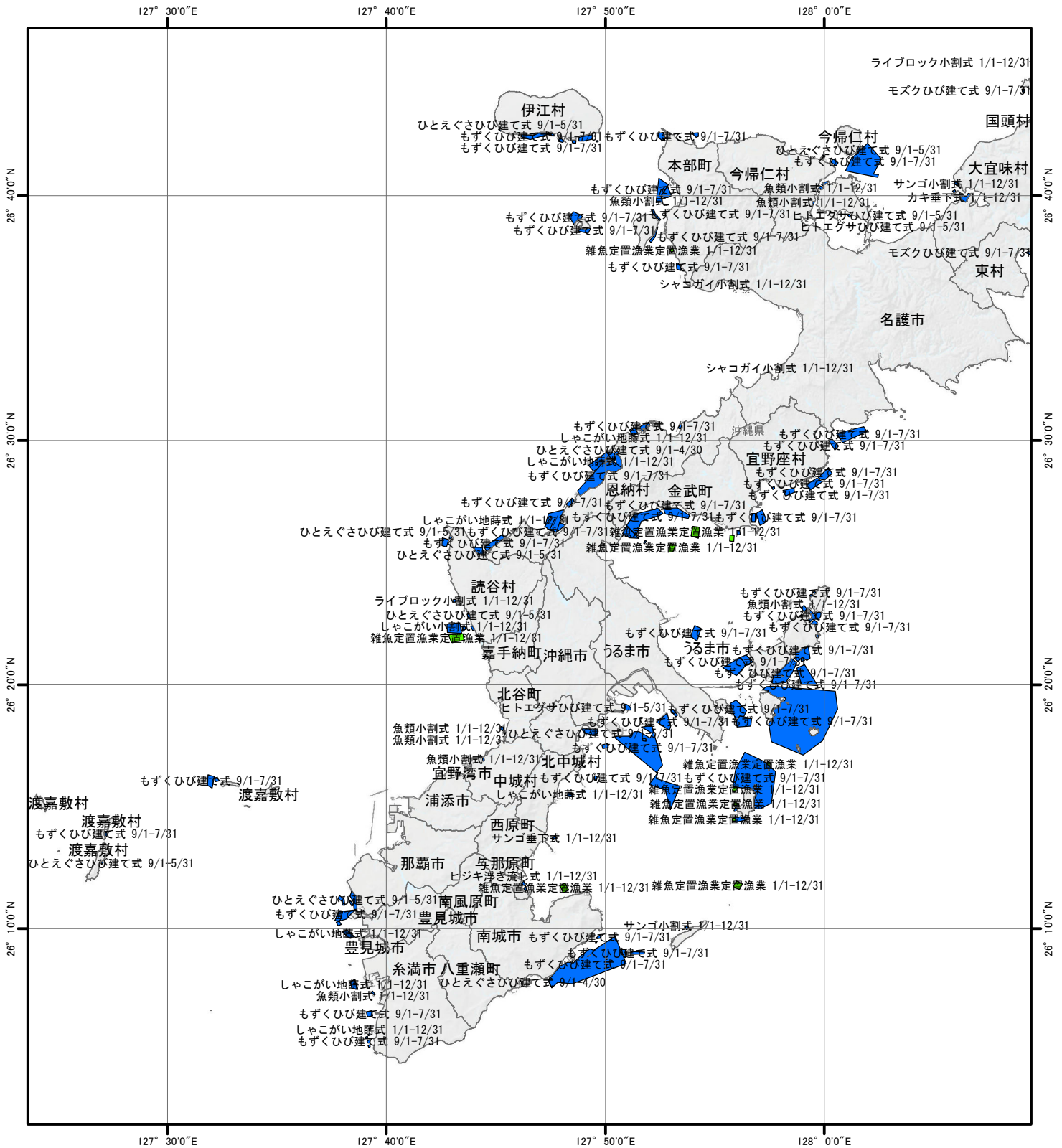


- 区画漁業
- 定置漁業

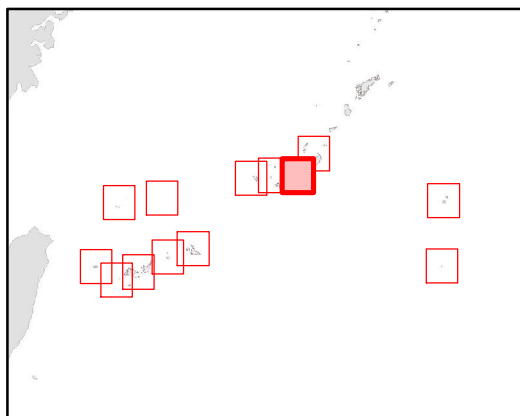
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

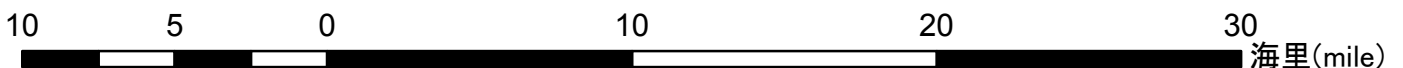


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

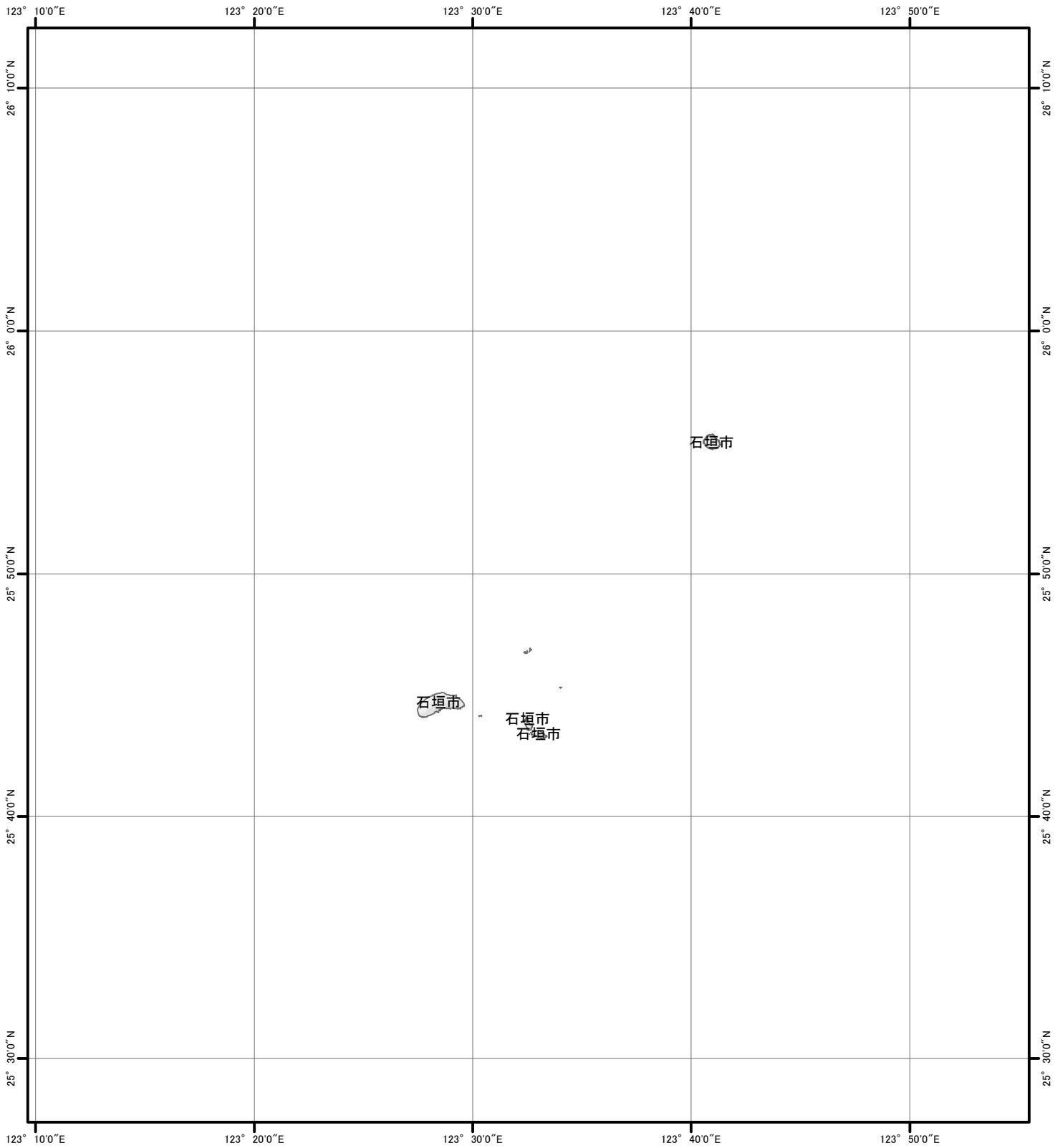


- 区画漁業
- 定置漁業

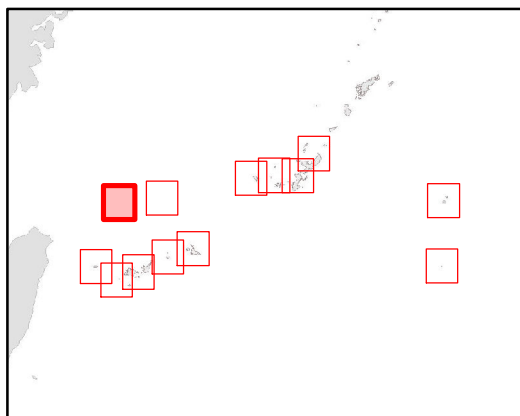
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

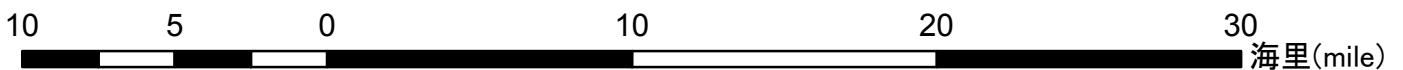


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

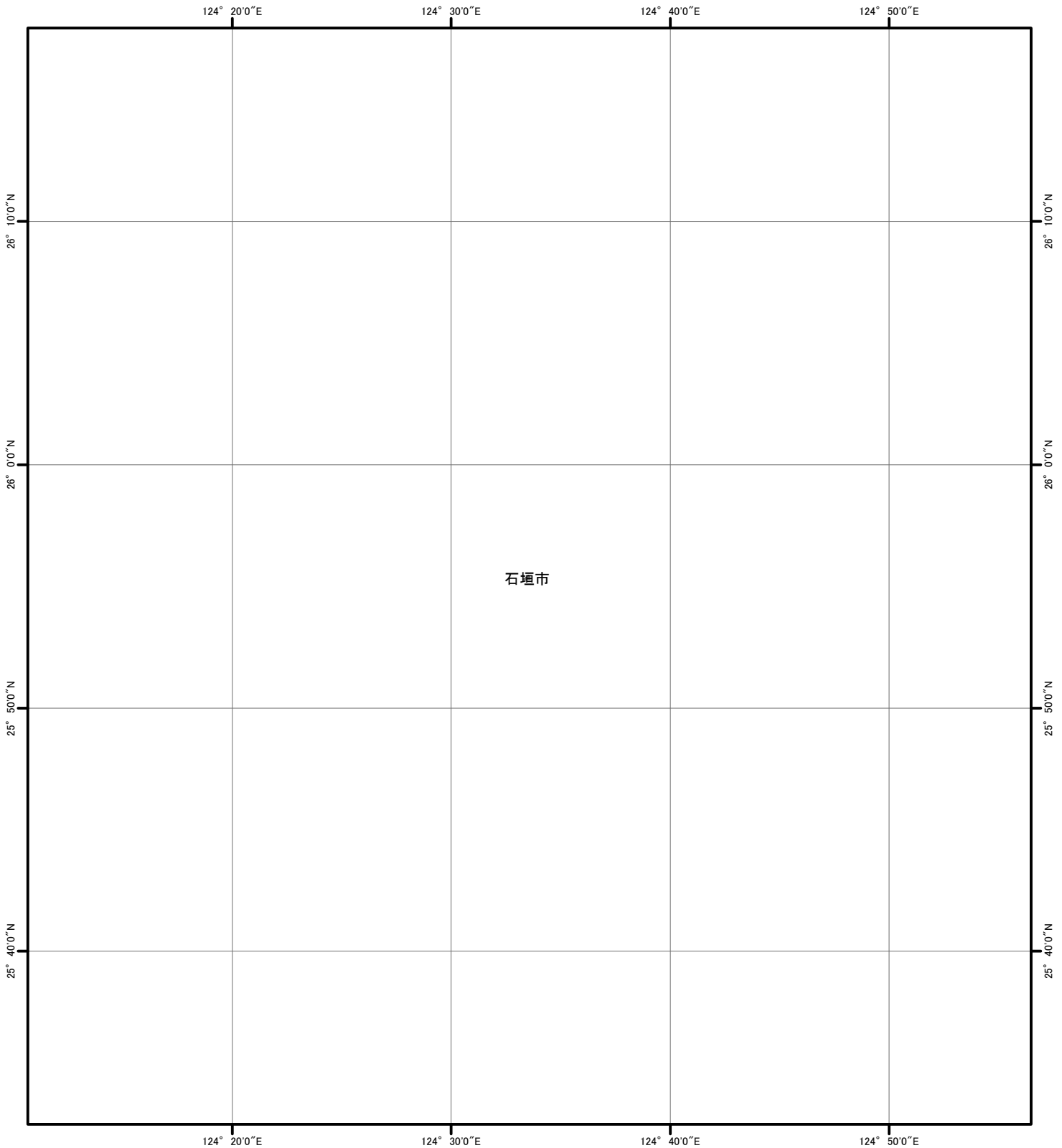


- 区画漁業
- 定置漁業

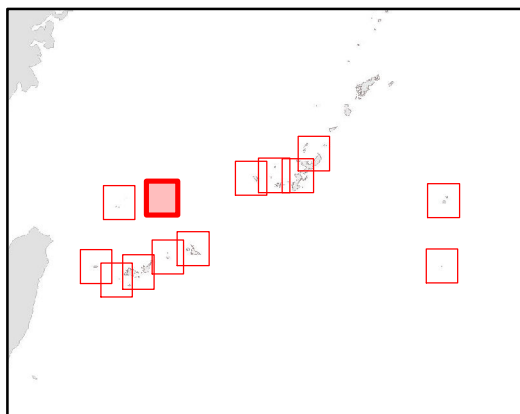
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
 「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
 「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

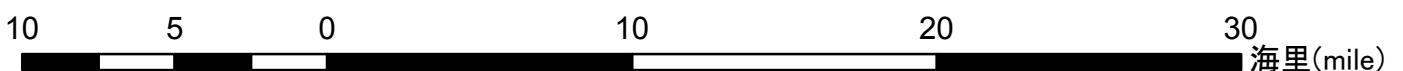


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

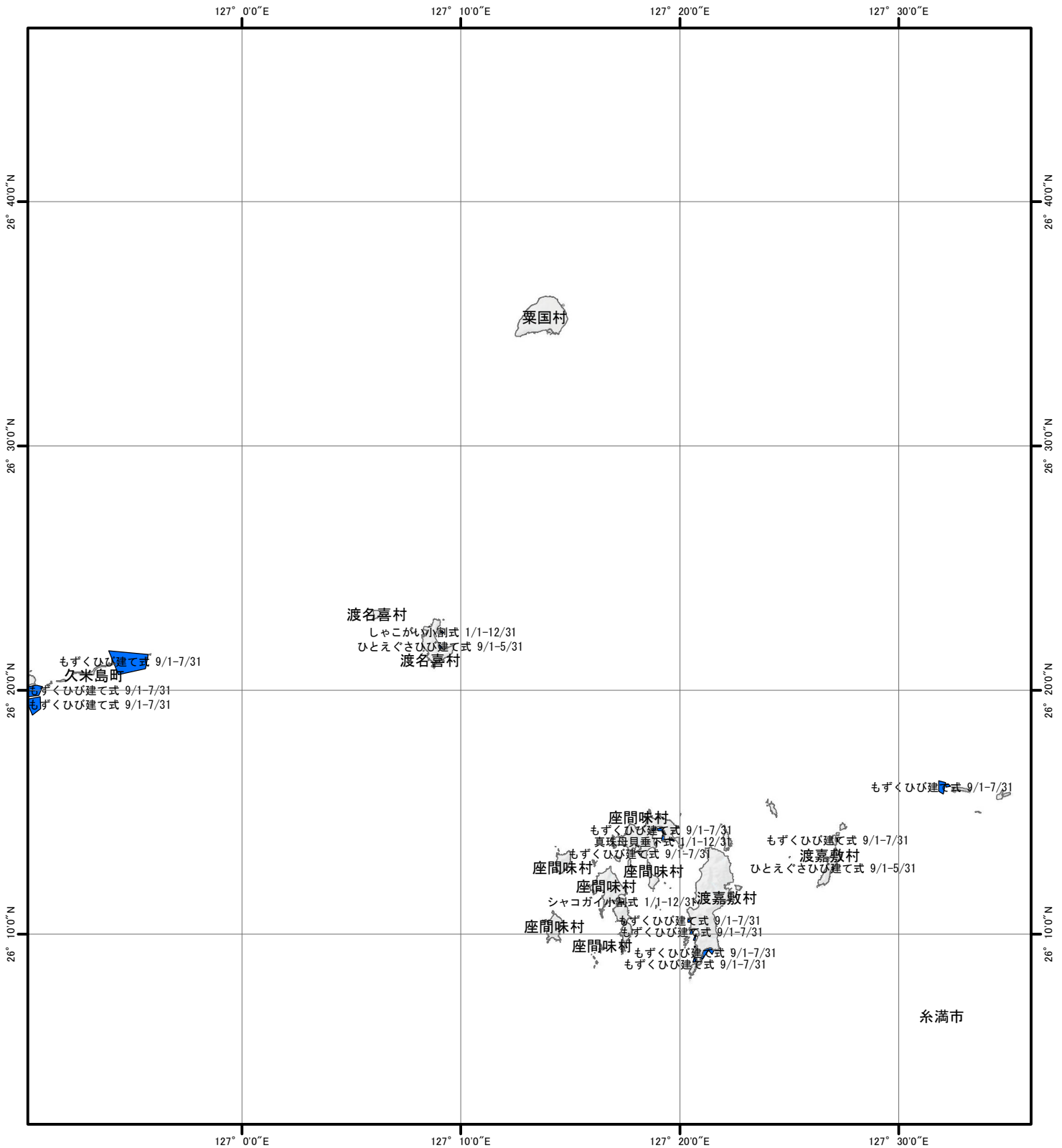


- 区画漁業
- 定置漁業

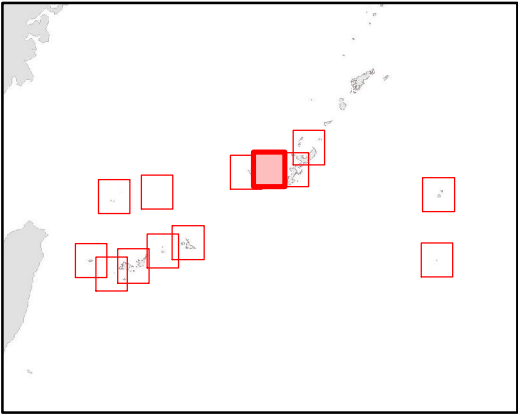
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
 「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
 「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

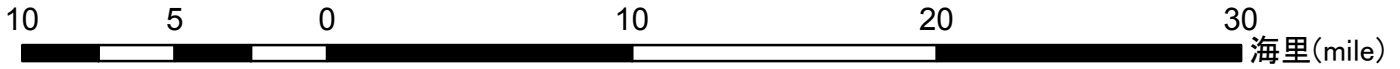


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

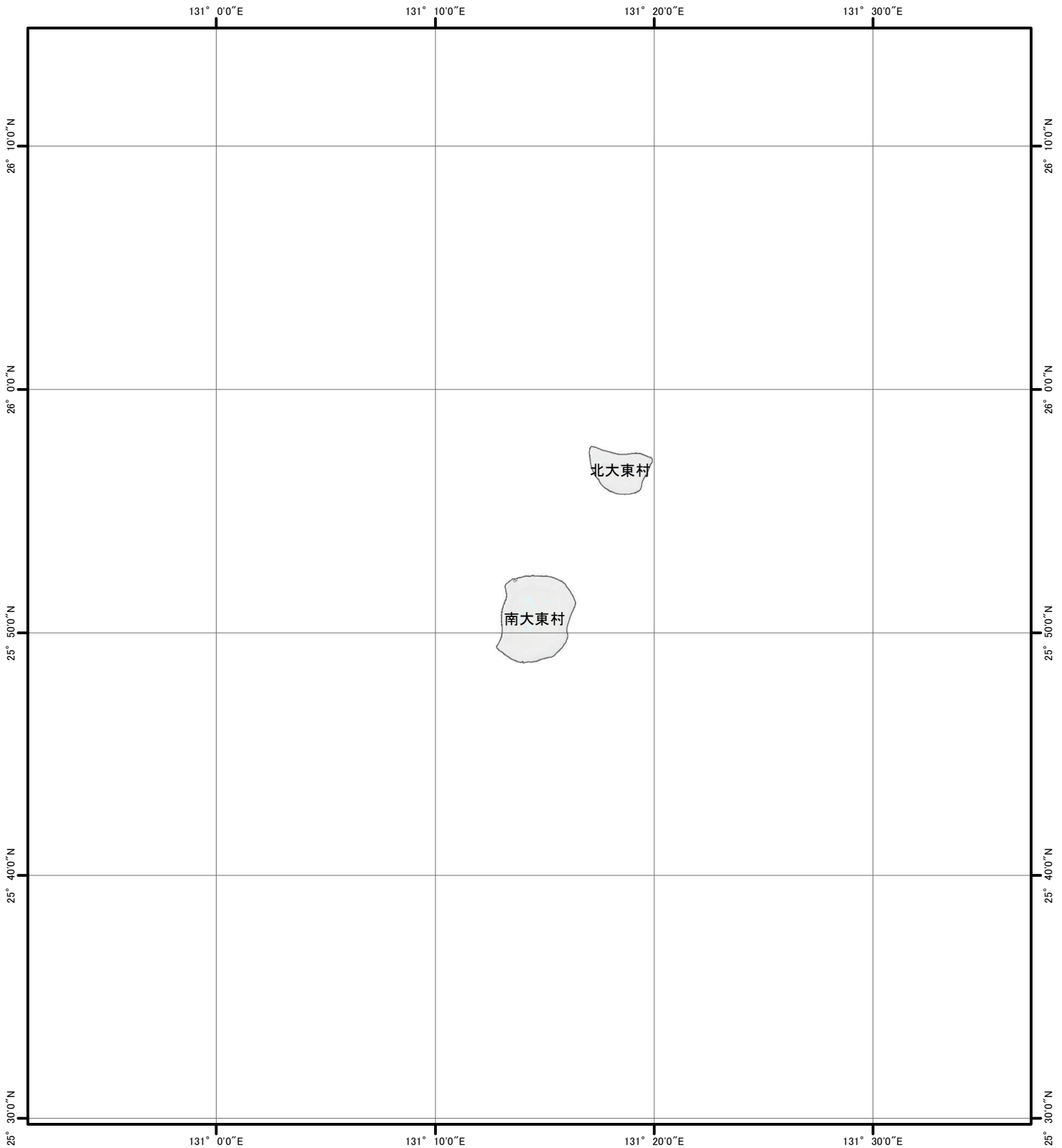


■ 区画漁業
■ 定置漁業

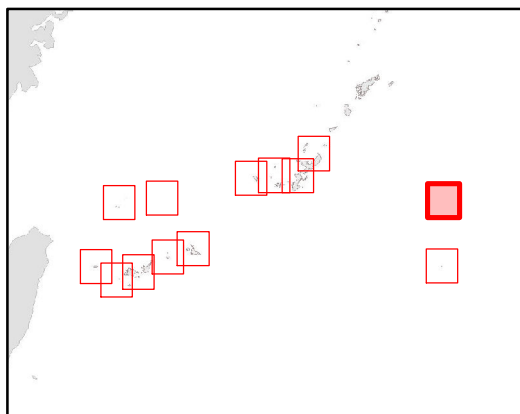
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元で作成した。
 「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
 「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

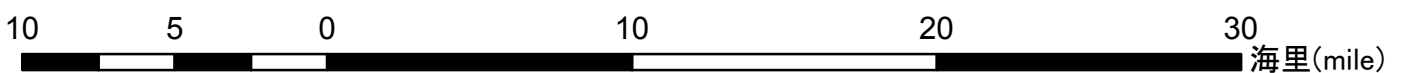


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

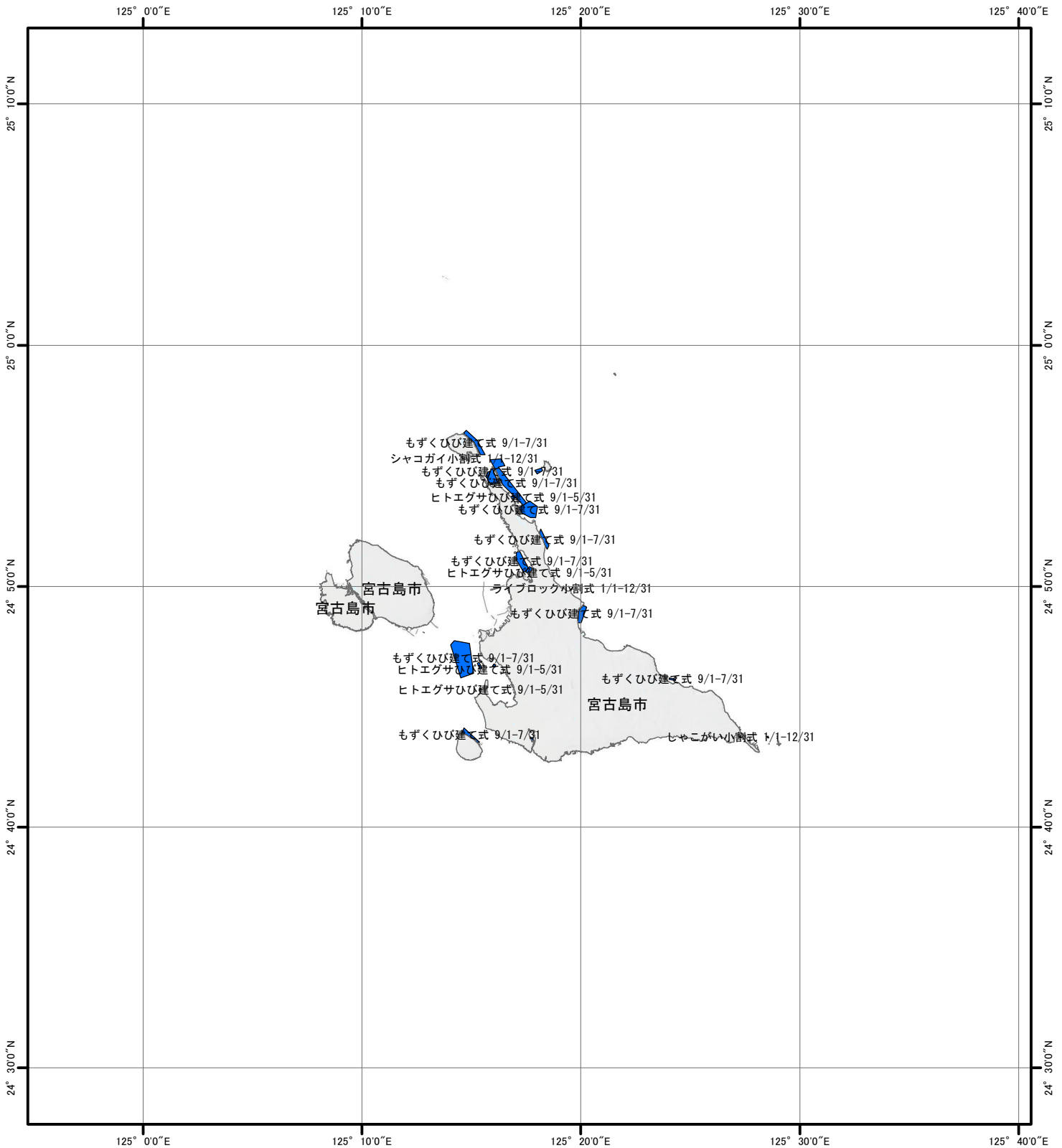


- 区画漁業
- 定置漁業

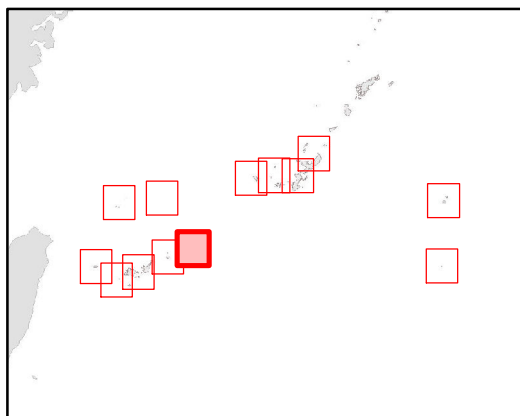
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
 「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
 「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図



背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

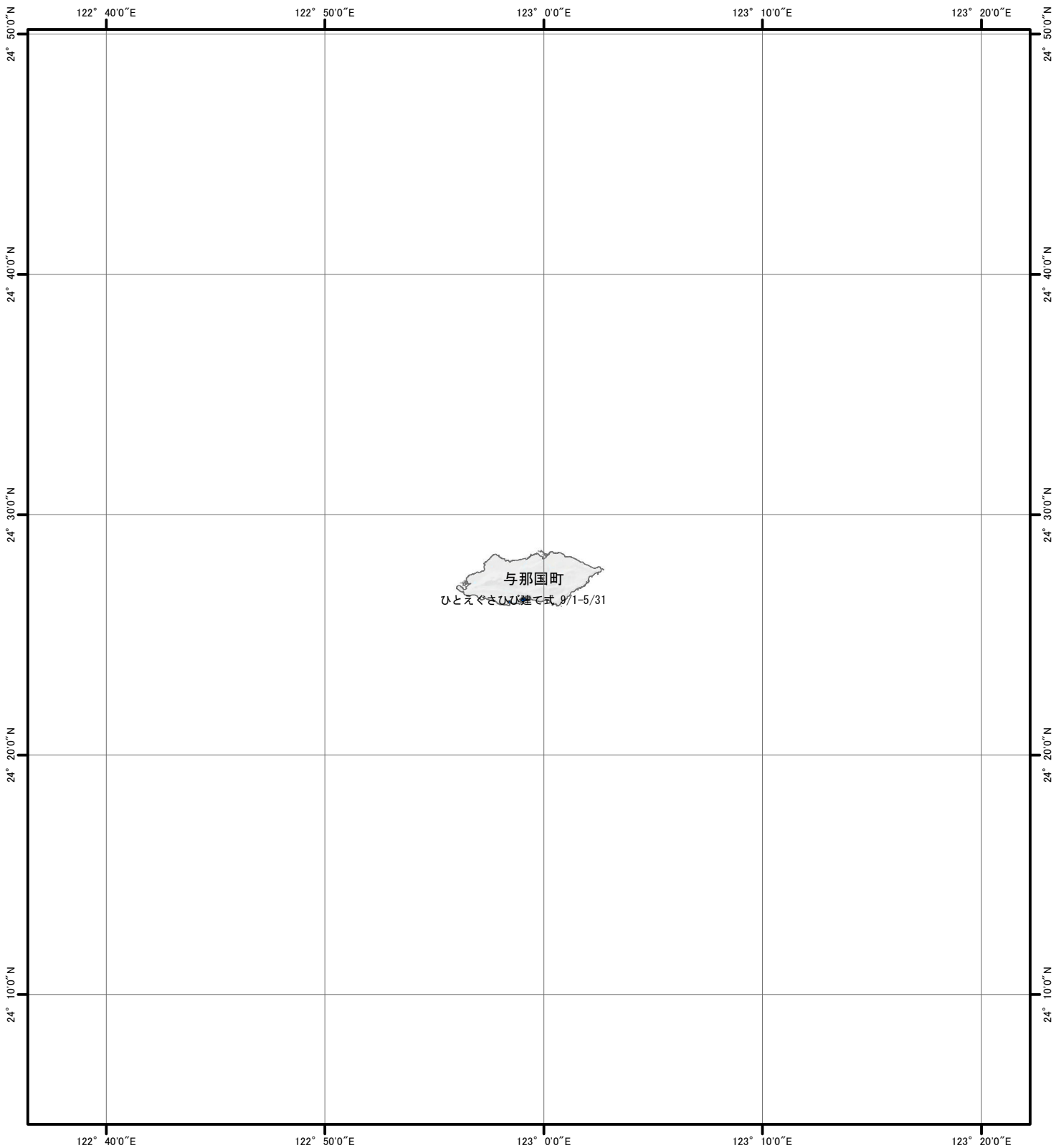


- 区画漁業
- 定置漁業

- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>

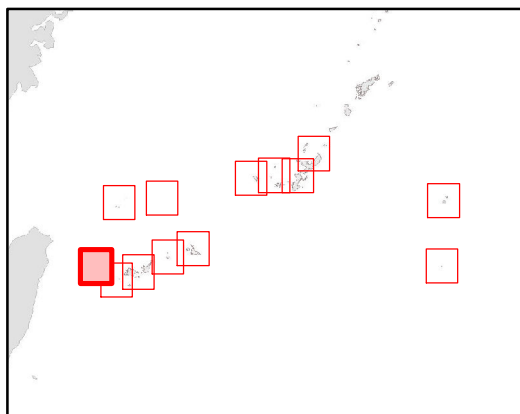


資料14 漁具定置箇所位置図



与那国町
ひとえぐさひん建て式 9/1-5/31

背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

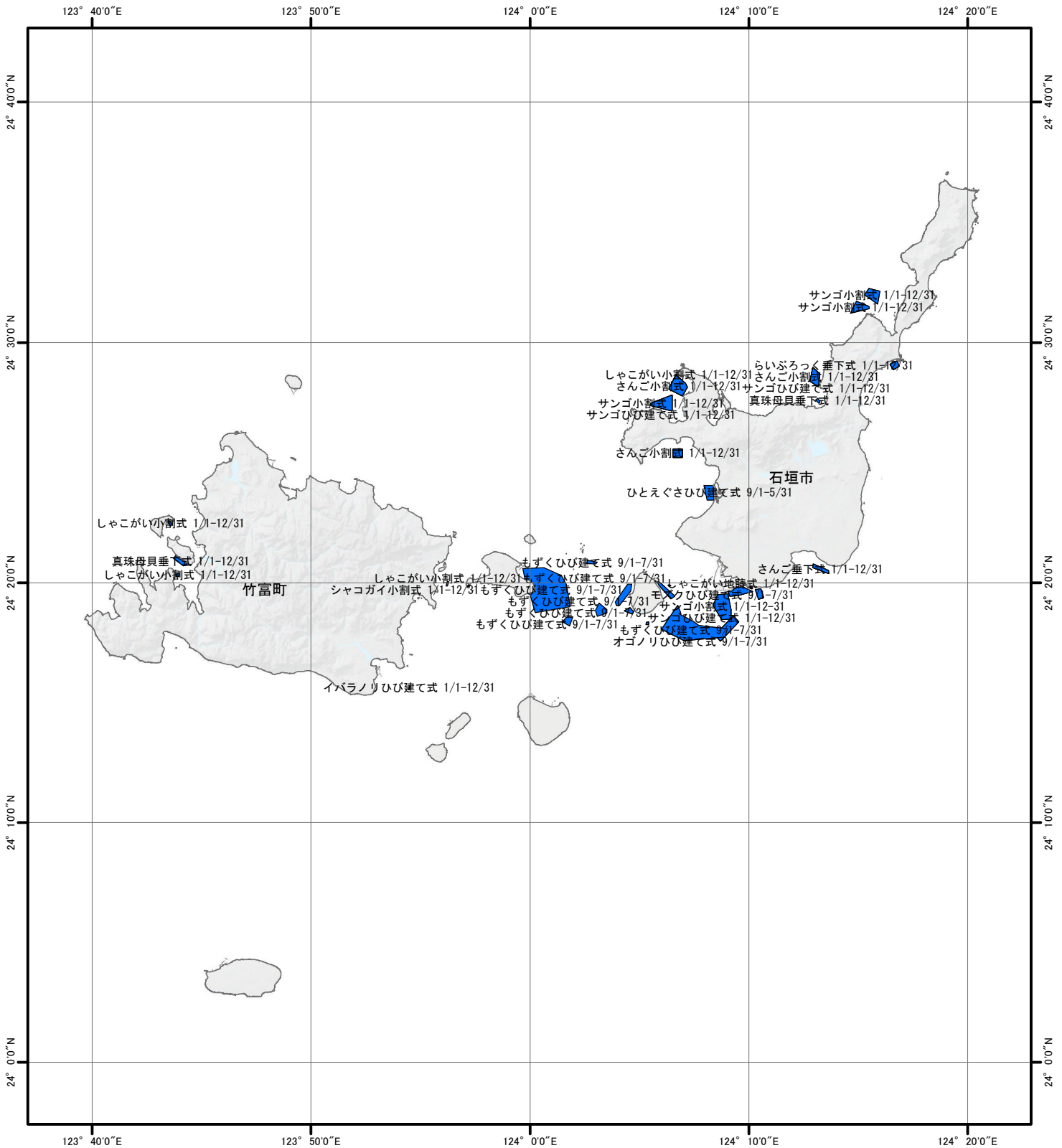


- 区画漁業
- 定置漁業

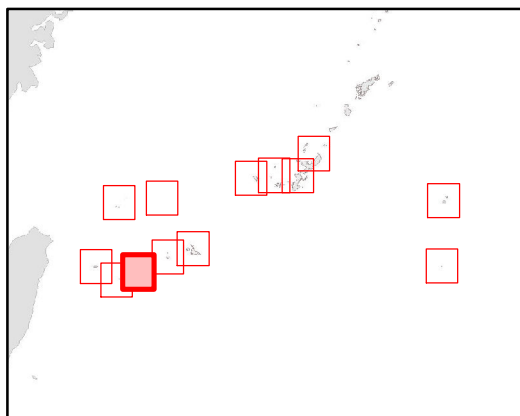
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

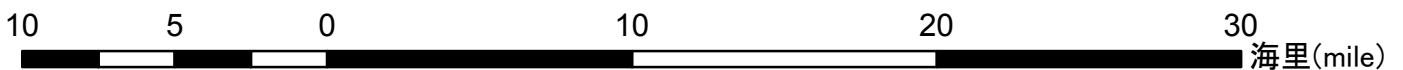


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

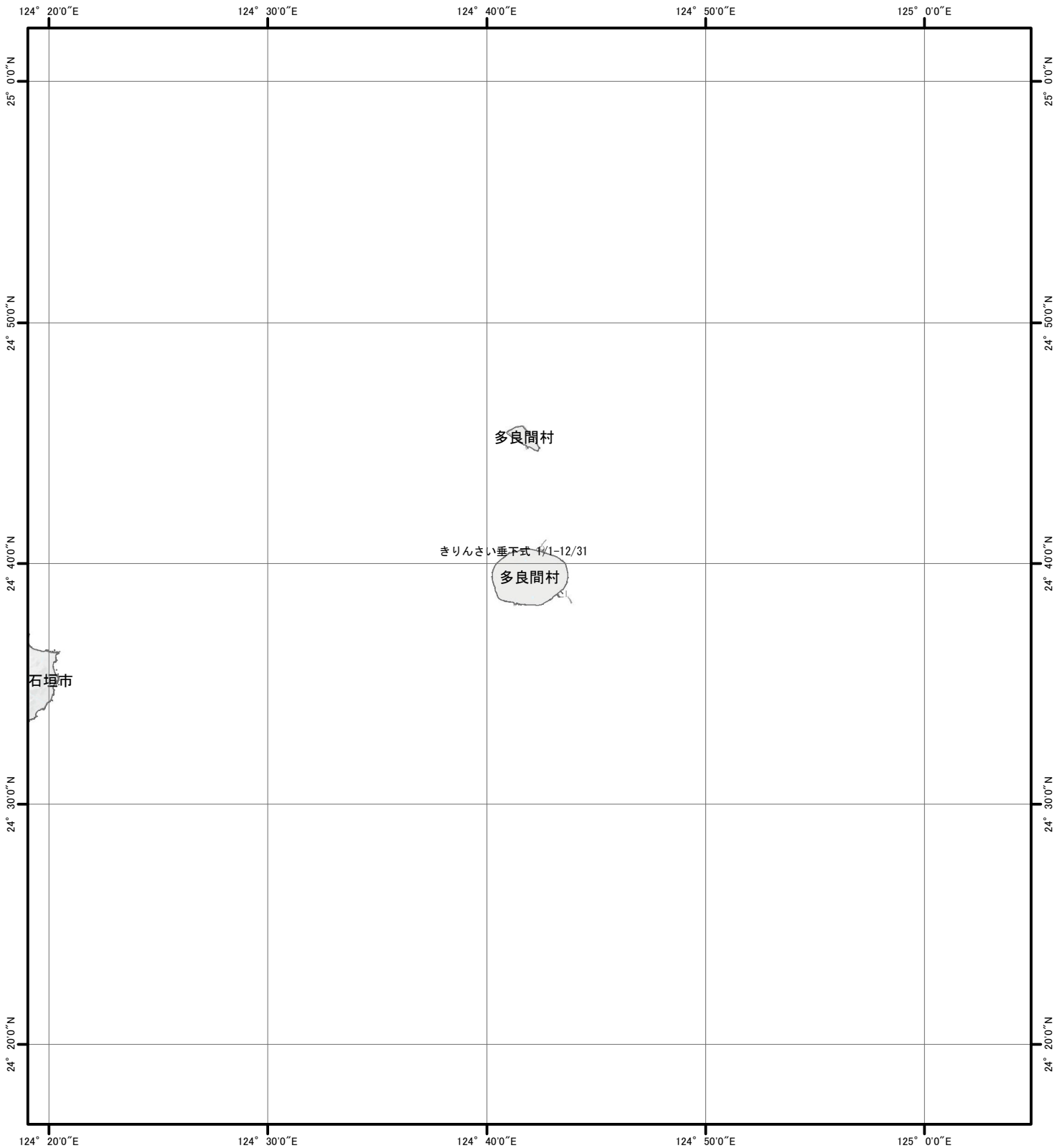


- 区画漁業
- 定置漁業

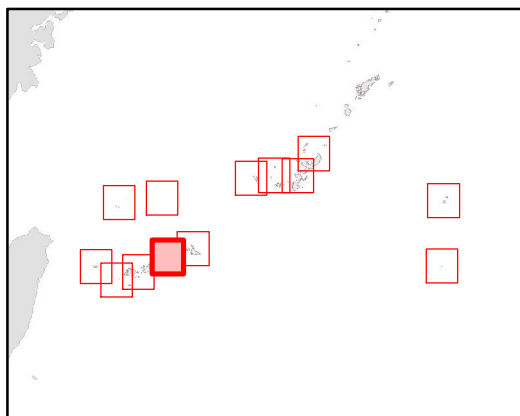
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

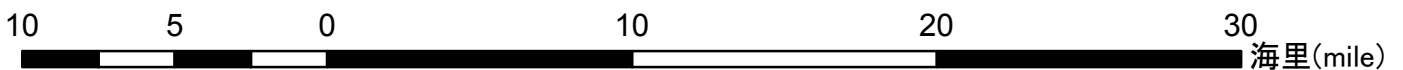


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

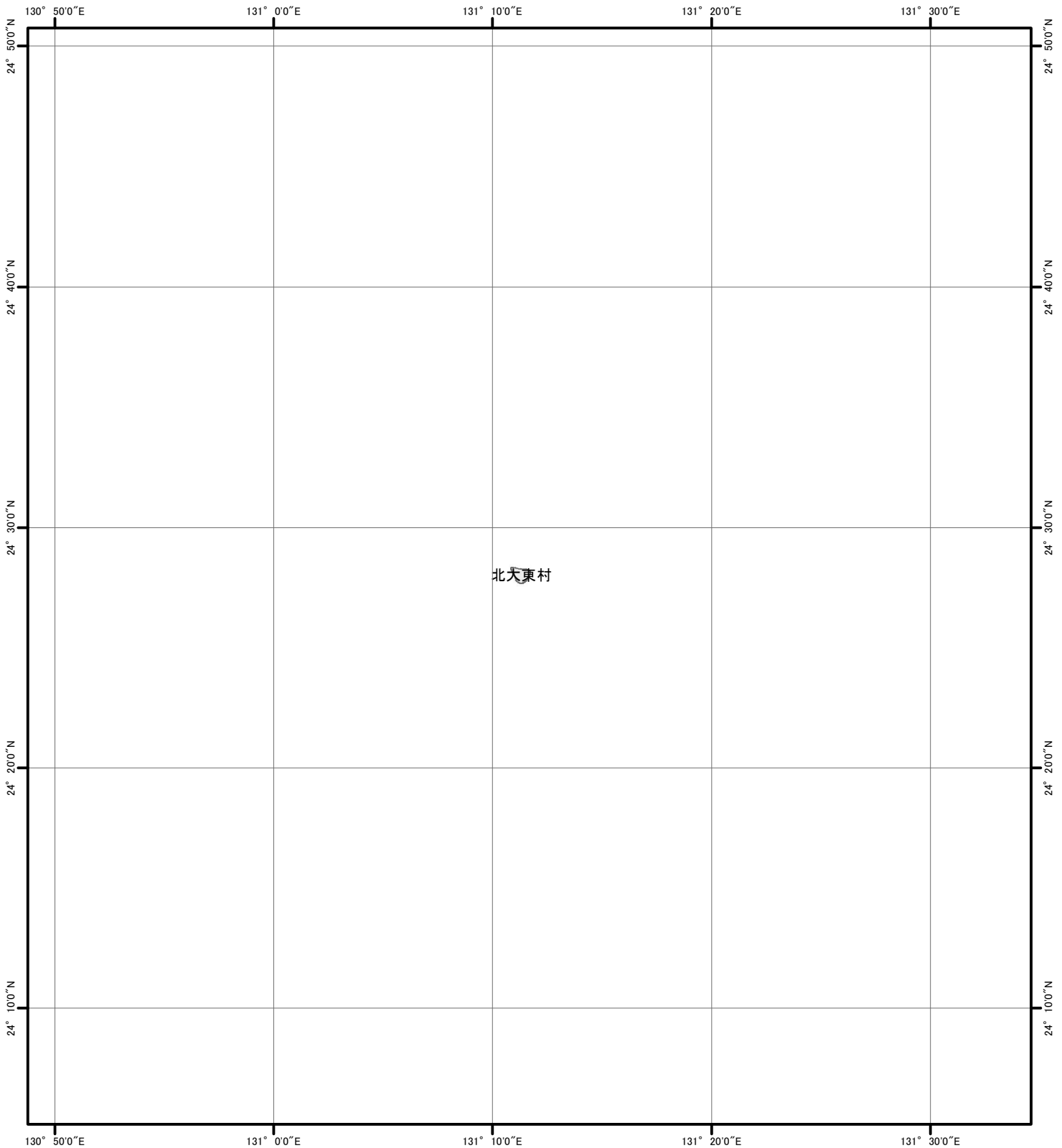


- 区画漁業
- 定置漁業

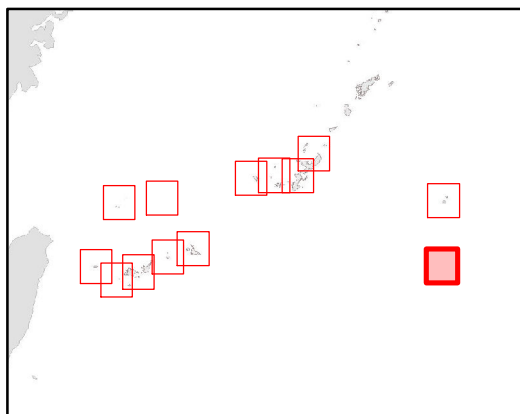
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
 「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
 「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図



背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan

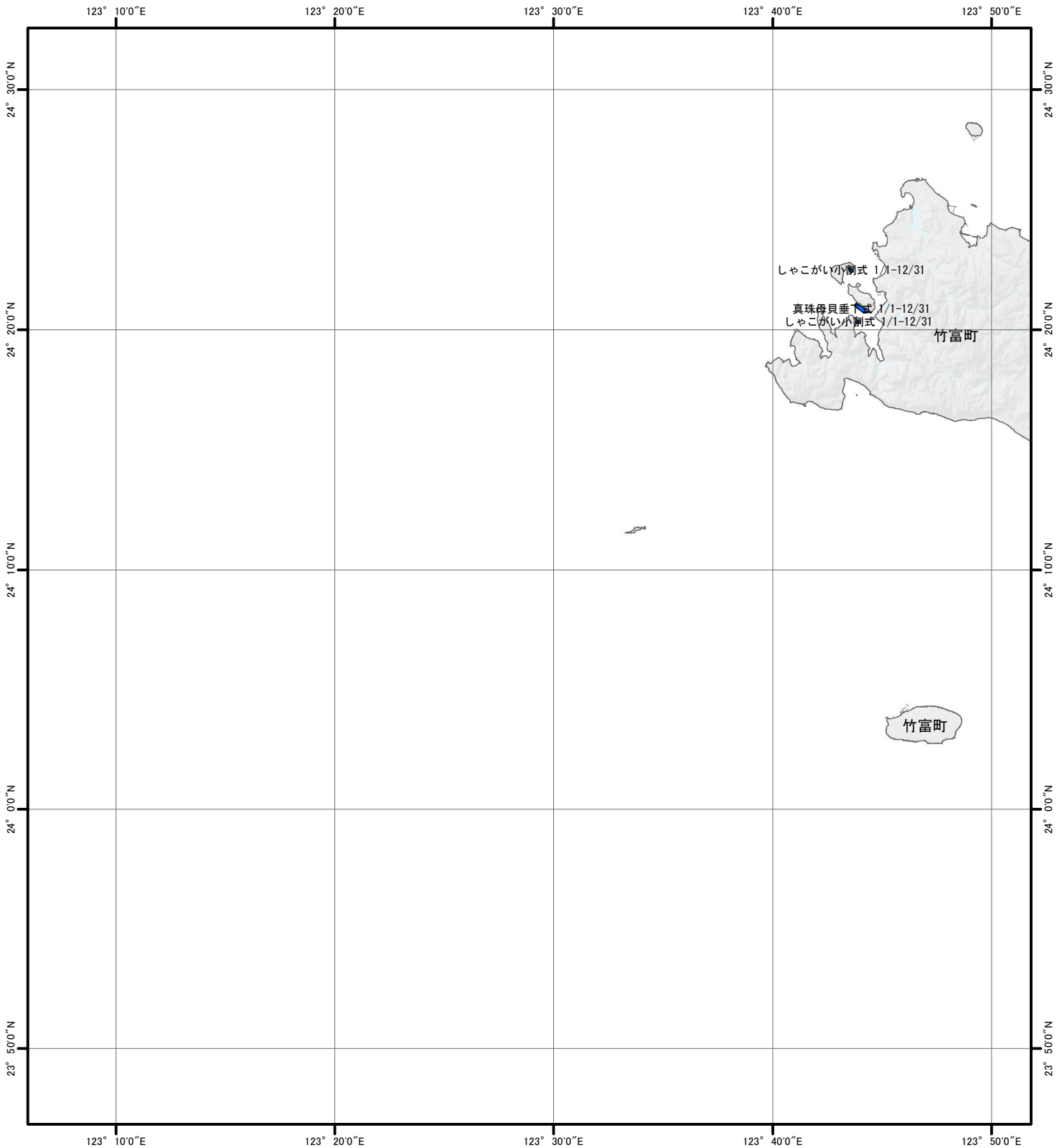


- 区画漁業
- 定置漁業

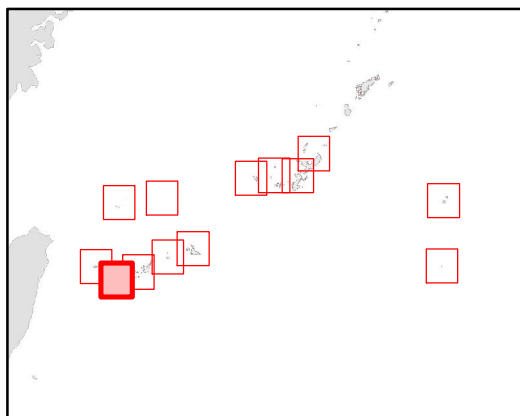
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
 「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
 「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料14 漁具定置箇所位置図

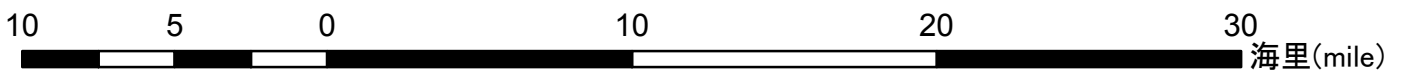


背景図: 海上保安庁、(c)Esri Japan



- 区画漁業
- 定置漁業

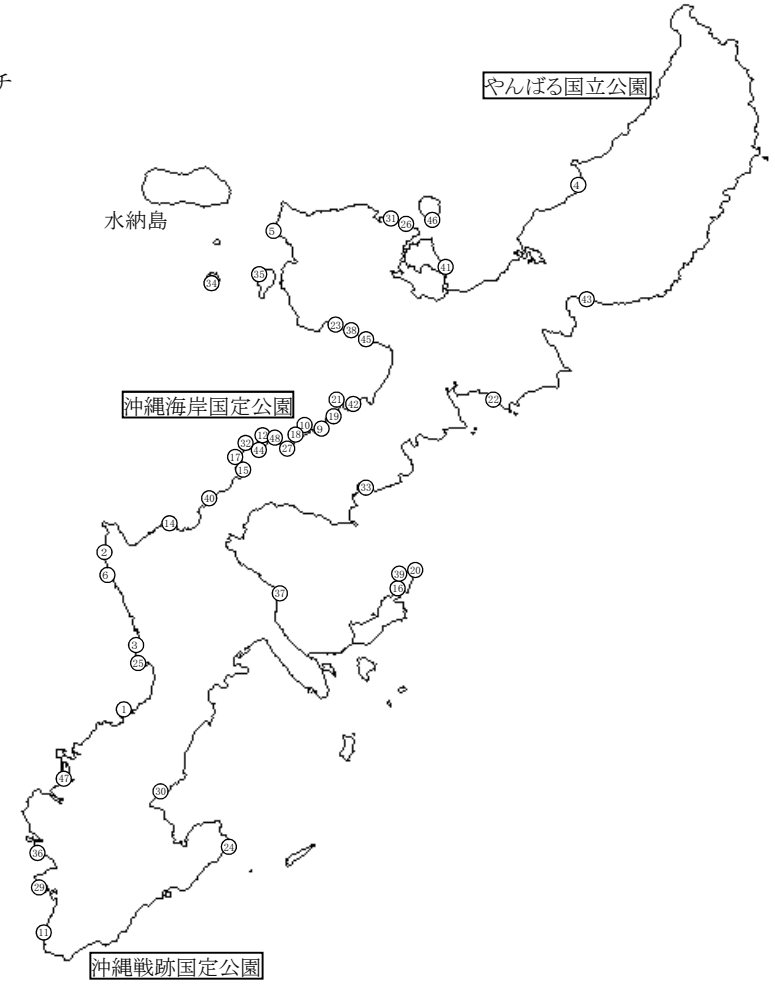
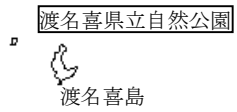
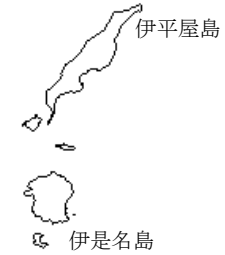
- 1 本図は、平成25年までに得た資料に基づいて区画漁業権、定置漁業権の位置を図示したものである。
- 2 図示した場所、図示した時期に必ず漁具が敷設してあるとは限らない。
- 3 共同漁業権の位置については図示していない。
- 4 本図は海上保安庁が運営する「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)を元に作成した。
 「大規模流出油関連情報」
<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>
 「沿岸海域環境保全情報」(CeisNET)
<http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>



資料15-1 海域周辺環境図（沖縄本島、久米島地区）

《○ 海水浴場》

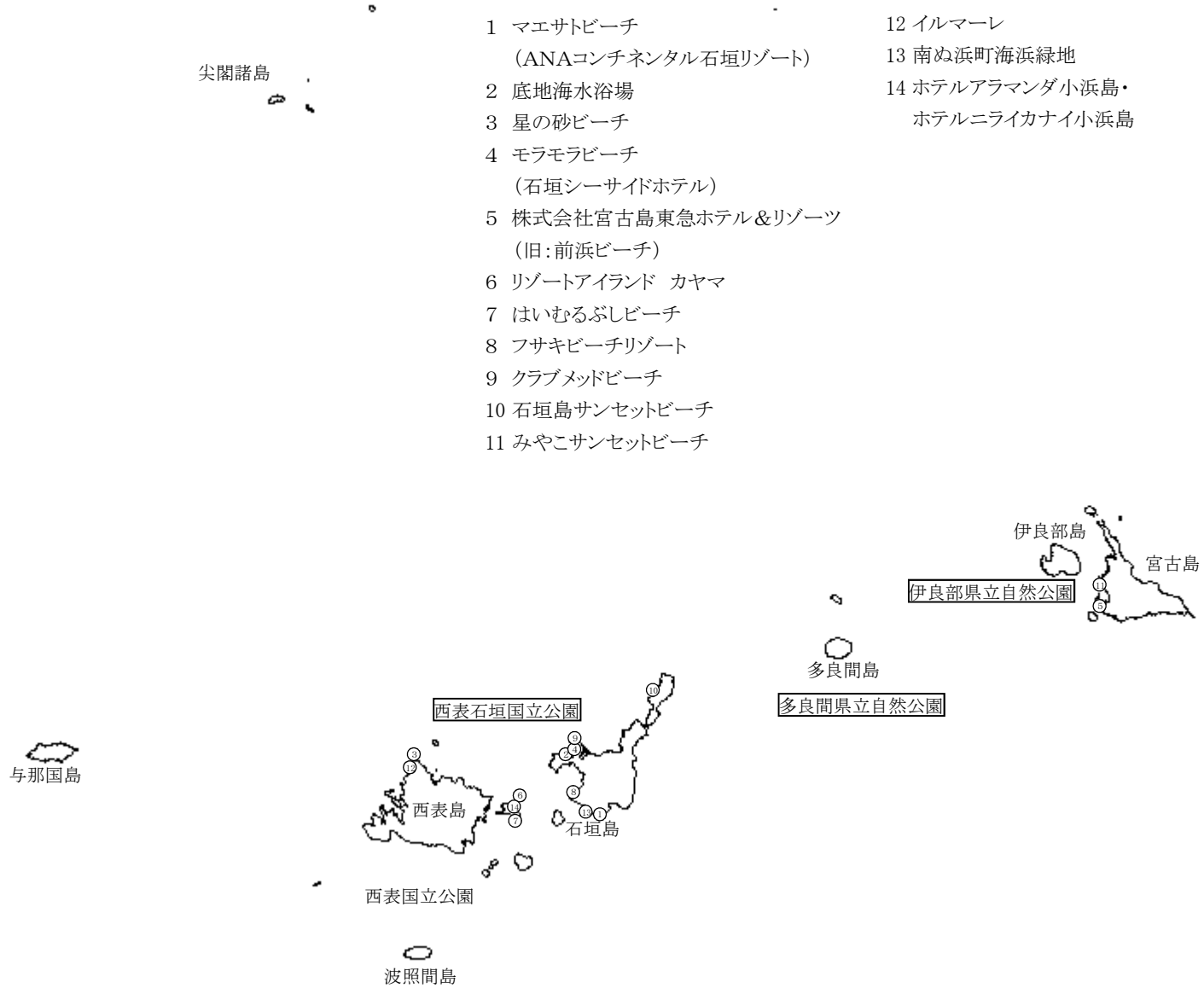
- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|------------------|------------|
| 1 宜野湾トロピカルビーチ | 15 リザンマリクラブビーチ | 30 西原・与那原マリンパーク | 46 古宇利ビーチ |
| 2 村営残波ビーチ | 16 伊計ビーチ | 31 今帰仁村民の浜海水浴場 | 47 波の上ビーチ |
| 3 北谷公園サンセットビーチ | 17 ムーンビーチ | 32 恩納海浜公園ナビービーチ | 48 瀬良垣ビーチ |
| 4 オクマビーチ | 18 みゆきビーチ | 33 漢那ビーチ海水浴場 | 49 渡嘉志久ビーチ |
| 5 エメラルドビーチ | 19 かりゆしビーチ | 34 水納ビーチ | |
| 6 村営ニライビーチ | 20 大泊ビーチ | 35 瀬底ビーチ | |
| 7 阿波連ビーチ | 21 ブセナビーチ | 36 豊崎美らSUNビーチ | |
| 8 阿真ビーチ | 22 カヌチャビーチ | 37 宇堅ビーチ | |
| 9 黙想の家ビーチ
(ミッションビーチ) | 23 リゾネックス名護ビーチ | 38 リゾネックス名護 東ビーチ | |
| 10 ナップ島(ムーンビーチホテル) | 24 あざまサンサンビーチ | 39 伊計サンシャイン大泊ビーチ | |
| 11 名城ビーチ | 25 アラハビーチ | 40 タイガービーチ海水浴場 | |
| 12 サンマリーナホテルビーチ | 26 ウップアマビーチ
(ホテルベルパライソ) | 41 屋我地ビーチ | |
| 13 国立沖縄青少年交流の家
海洋研修場 | 27 みゆきハマバルリゾート | 42 喜瀬ビーチ | |
| 14 ルネッサンスリゾート
オキナワビーチ | 28 チービシアランド リゾート | 43 福地川海浜公園 | |
| | 29 美々ビーチいとまん | 44 万座ビーチ | |
| | | 45 名護市21世紀の森ビーチ | |



資料 1 5 - 2 海域周辺環境図（宮古・石垣地区）

《○ 海水浴場》

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 マエサトビーチ
(ANAコンチネンタル石垣リゾート) | 12 イルマーレ |
| 2 底地海水浴場 | 13 南ぬ浜町海浜緑地 |
| 3 星の砂ビーチ | 14 ホテルアラマンダ小浜島・
ホテルニライカナイ小浜島 |
| 4 モラモラビーチ
(石垣シーサイドホテル) | |
| 5 株式会社宮古島東急ホテル&リゾート
(旧:前浜ビーチ) | |
| 6 リゾートアイランド カヤマ | |
| 7 はいむるぶしビーチ | |
| 8 フサキビーチリゾート | |
| 9 クラブメッドビーチ | |
| 10 石垣島サンセットビーチ | |
| 11 みやこサンセットビーチ | |



資料16-1 風・海潮流による排出油の移動距離表(想定1 中城湾)

パターン	風潮 経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離 (m)	
		6時間毎の移動距離(m)	小 計 (m)	6時間毎の移動距離(m)	小 計 (m)		
A 風5.5 m/s 北東 潮流0.35ノット	6	南西 4,752	南西 4,752	南西 2,722	南西 2,722	南西 7,474	
	12	南西 4,752	南西 9,504	北東 2,722	0	南西 9,504	
	18	南西 4,752	南西 14,252	南西 2,722	南西 2,722	南西 16,978	
	24	南西 4,752	南西 19,008	北東 2,722	0	南西 19,008	
	30	南西 4,752	南西 23,760	南西 2,722	南西 2,722	南西 26,482	
	36	南西 4,752	南西 28,512	北東 2,722	0	南西 28,512	
	42	南西 4,752	南西 33,264	南西 2,722	南西 2,722	南西 35,986	
	48	南西 4,752	南西 38,016	北東 2,722	0	南西 38,016	
B 風5.5 m/s 南西 潮流0.35ノット	6	北東 4,752	北東 4,752	北東 2,722	北東 2,722	北東 7,474	
	12	北東 4,752	北東 9,504	南西 2,722	0	北東 9,504	
	18	北東 4,752	北東 14,252	北東 2,722	北東 2,722	北東 16,974	
	24	北東 4,752	北東 19,008	南西 2,722	0	北東 19,008	
	30	北東 4,752	北東 23,760	北東 2,722	北東 2,722	北東 26,482	
	36	北東 4,752	北東 28,512	南西 2,722	0	北東 28,512	
	42	北東 4,752	北東 33,264	北東 2,722	北東 2,722	北東 35,986	
	48	北東 4,752	北東 38,016	南西 2,722	0	北東 38,016	
C 風5.5 m/s 北東 潮流0.35ノット	6	南西 4,752	南西 4,752	北東 2,722	北東 2,722	南西 2,030	
	12	南西 4,752	南西 9,504	南西 2,722	0	南西 9,504	
	18	南西 4,752	南西 14,252	北東 2,722	北東 2,722	南西 11,534	
	24	南西 4,752	南西 19,008	南西 2,722	0	南西 19,008	
	30	南西 4,752	南西 23,760	北東 2,722	北東 2,722	南西 21,038	
	36	南西 4,752	南西 28,512	南西 2,722	0	南西 28,512	
	42	南西 4,752	南西 33,264	北東 2,722	北東 2,722	南西 30,542	
	48	南西 4,752	南西 38,016	南西 2,722	0	南西 38,016	
D 風5.5 m/s 南西 潮流0.35ノット	6	北東 4,752	北東 4,752	南西 2,722	南西 2,722	北東 2,030	
	12	北東 4,752	北東 9,504	北東 2,722	0	北東 9,504	
	18	北東 4,752	北東 14,252	南西 2,722	南西 2,722	北東 11,534	
	24	北東 4,752	北東 19,008	北東 2,722	0	北東 19,008	
	30	北東 4,752	北東 23,760	南西 2,722	南西 2,722	北東 21,038	
	36	北東 4,752	北東 28,512	北東 2,722	0	北東 28,512	
	42	北東 4,752	北東 33,264	南西 2,722	南西 2,722	北東 30,542	
	48	北東 4,752	北東 38,016	北東 2,722	0	北東 38,016	

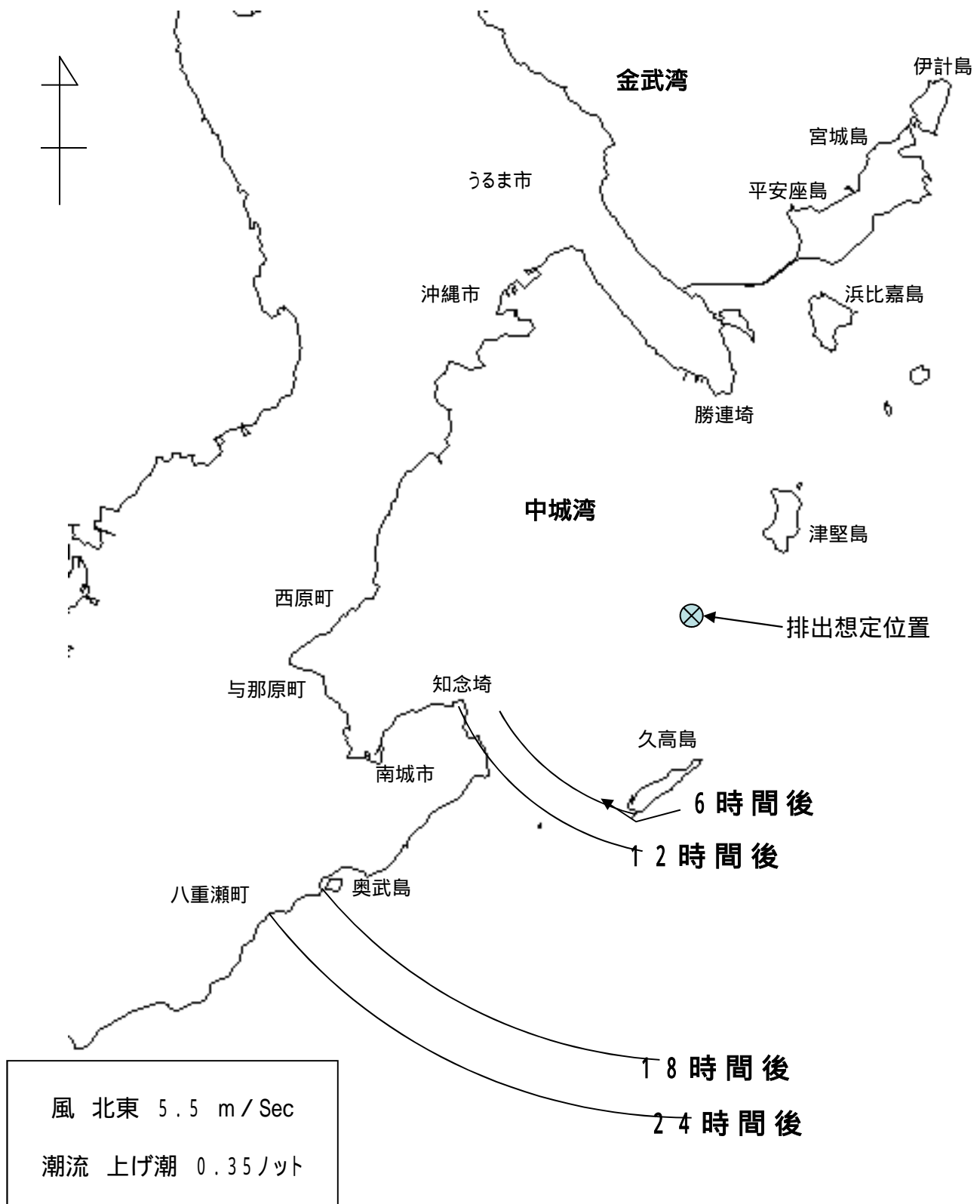
資料16-2 風・海潮流による排出油の移動距離表(想定2 金武湾)

パターン	風潮 経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離(m)
		6時間毎の移動距離(m)	小 計 (m)	6時間毎の移動距離(m)	小 計 (m)	
A 風 5 m/s 北 潮流0.5ノット	6	南 4,320	南 4,320	北 3,889	北 3,889	南 431
	12	南 4,320	南 8,640	南 3,889	0	南 8,640
	18	南 4,320	南 12,960	北 3,889	北 3,889	南 9,071
	24	南 4,320	南 17,280	南 3,889	0	南 17,280
	30	南 4,320	南 21,600	北 3,889	北 3,889	南 17,711
	36	南 4,320	南 25,920	南 3,889	0	南 25,920
	42	南 4,320	南 30,240	北 3,889	北 3,889	南 26,351
	48	南 4,320	南 34,560	南 3,889	0	南 34,560
B 風 5 m/s 南西 潮流0.5ノット	6	北東 4,320	北東 4,320	北東 3,889	北東 3,889	北東 8,209
	12	北東 4,320	北東 8,640	南西 3,889	0	北東 8,640
	18	北東 4,320	北東 12,960	北東 3,889	北東 3,889	北東 16,849
	24	北東 4,320	北東 17,280	南西 3,889	0	北東 17,280
	30	北東 4,320	北東 21,600	北東 3,889	北東 3,889	北東 25,489
	36	北東 4,320	北東 25,920	南西 3,889	0	北東 25,920
	42	北東 4,320	北東 30,240	北東 3,889	北東 3,889	北東 34,129
	48	北東 4,320	北東 34,560	南西 3,889	0	北東 34,560
C 風 5 m/s 北 潮流0.5ノット	6	南 4,320	南 4,320	北 3,889	南 3,889	南 8,209
	12	南 4,320	南 8,640	南 3,889	0	南 8,640
	18	南 4,320	南 12,960	北 3,889	南 3,889	南 16,849
	24	南 4,320	南 17,280	南 3,889	0	南 17,280
	30	南 4,320	南 21,600	北 3,889	南 3,889	南 25,489
	36	南 4,320	南 25,920	南 3,889	0	南 25,920
	42	南 4,320	南 30,240	北 3,889	南 3,889	南 34,129
	48	南 4,320	南 34,560	南 3,889	0	南 34,560
D 風 5 m/s 南西 潮流0.5ノット	6	北東 4,320	北東 4,320	南西 3,889	南西 3,889	北東 431
	12	北東 4,320	北東 8,640	北東 3,889	0	北東 8,640
	18	北東 4,320	北東 12,960	南西 3,889	南西 3,889	北東 9,071
	24	北東 4,320	北東 17,280	北東 3,889	0	北東 17,280
	30	北東 4,320	北東 21,600	南西 3,889	南西 3,889	北東 17,711
	36	北東 4,320	北東 25,920	北東 3,889	0	北東 25,920
	42	北東 4,320	北東 30,240	南西 3,889	南西 3,889	北東 26,351
	48	北東 4,320	北東 34,560	北東 3,889	0	北東 34,560

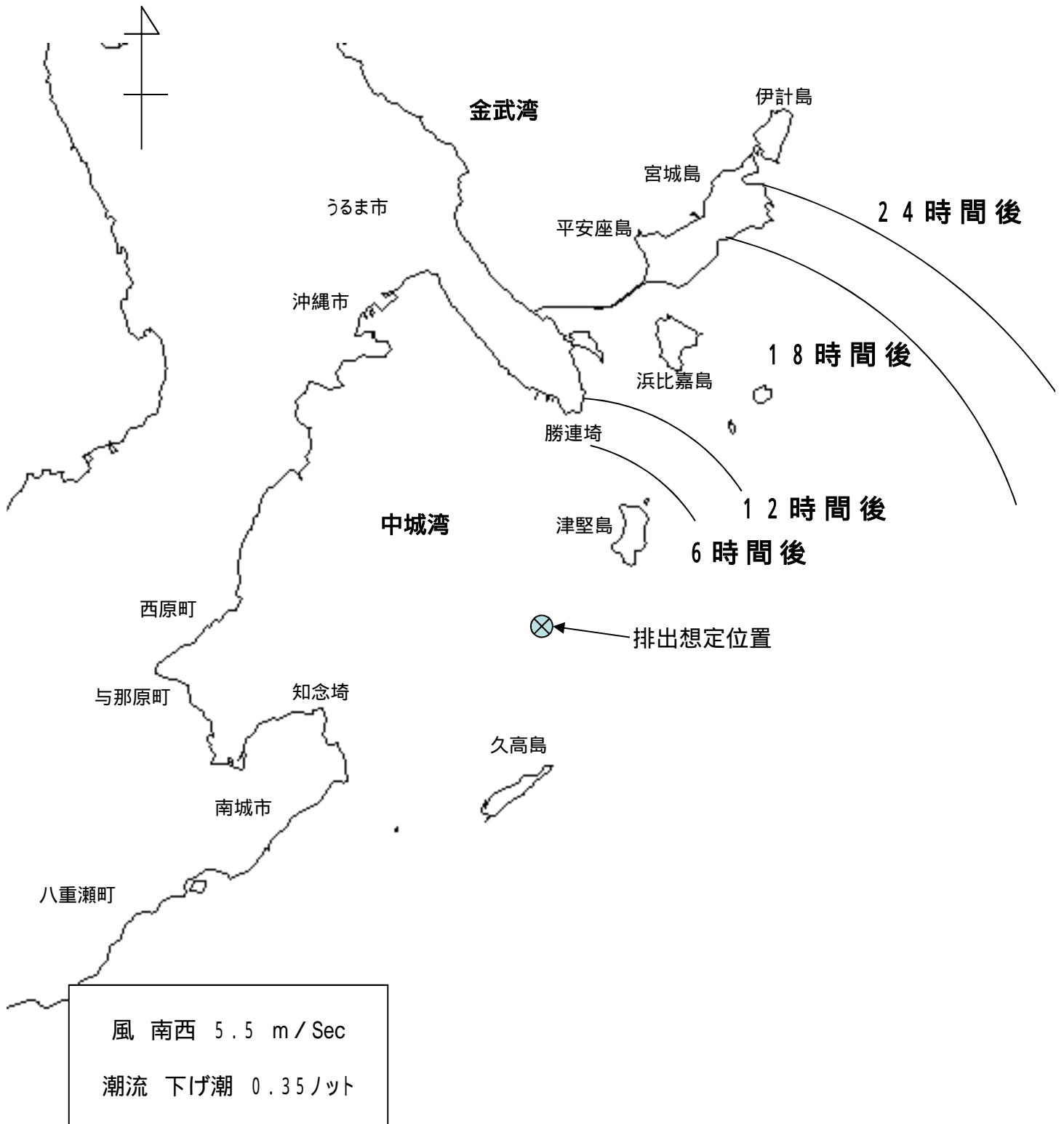
資料16-3 風・海潮流による排出油の移動距離表（想定3 那覇港外）

パターン	風潮 経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離 (m)
		6時間毎の移動距離(m)	小 計 (m)	6時間毎の移動距離(m)	小 計 (m)	
A 風 6 m/s 北 潮流0.7ノット	6	南 5,184	南 5,184	北 5,445	北 5,445	北 261
	12	南 5,184	南 10,368	南 5,445	0	南 10,368
	18	南 5,184	南 15,552	北 5,445	北 5,445	南 10,107
	24	南 5,184	南 20,736	南 5,445	0	南 20,736
	30	南 5,184	南 25,920	北 5,445	北 5,445	南 20,475
	36	南 5,184	南 31,104	南 5,445	0	南 31,104
	42	南 5,184	南 36,288	北 5,445	北 5,445	南 30,843
	48	南 5,184	南 41,472	南 5,445	0	南 41,472
B 風 6 m/s 南西 潮流0.7ノット	6	北東 5,184	北東 5,184	北東 5,445	北東 5,445	北東 10,629
	12	北東 5,184	北東 10,368	南西 5,445	0	北東 10,368
	18	北東 5,184	北東 15,552	北東 5,445	北東 5,445	北東 20,997
	24	北東 5,184	北東 20,736	南西 5,445	0	北東 20,736
	30	北東 5,184	北東 25,920	北東 5,445	北東 5,445	北東 31,365
	36	北東 5,184	北東 31,104	南西 5,445	0	北東 31,104
	42	北東 5,184	北東 36,288	北東 5,445	北東 5,445	北東 41,733
	48	北東 5,184	北東 41,472	南西 5,445	0	北東 41,472
C 風 6 m/s 北 潮流0.7ノット	6	南 5,184	南 5,184	南 5,445	南 5,445	南 10,629
	12	南 5,184	南 10,368	北 5,445	0	南 10,368
	18	南 5,184	南 15,552	南 5,445	南 5,445	南 20,997
	24	南 5,184	南 20,736	北 5,445	0	南 20,736
	30	南 5,184	南 25,920	南 5,445	南 5,445	南 31,365
	36	南 5,184	南 31,104	北 5,445	0	南 31,104
	42	南 5,184	南 36,288	南 5,445	南西 5,445	南 41,733
	48	南 5,184	南 41,472	北 5,445	0	南 41,472
D 風 6 m/s 南西 潮流0.7ノット	6	北東 5,184	北東 5,184	南西 5,445	南西 5,445	南西 261
	12	北東 5,184	北東 10,368	北東 5,445	0	北東 10,368
	18	北東 5,184	北東 15,552	南西 5,445	南西 5,445	北東 10,107
	24	北東 5,184	北東 20,736	北東 5,445	0	北東 20,736
	30	北東 5,184	北東 25,920	南西 5,445	南西 5,445	北東 20,475
	36	北東 5,184	北東 31,104	北東 5,445	0	北東 31,104
	42	北東 5,184	北東 36,288	南西 5,445	南西 5,445	北東 30,843
	48	北東 5,184	北東 41,472	北東 5,445	0	北東 41,472

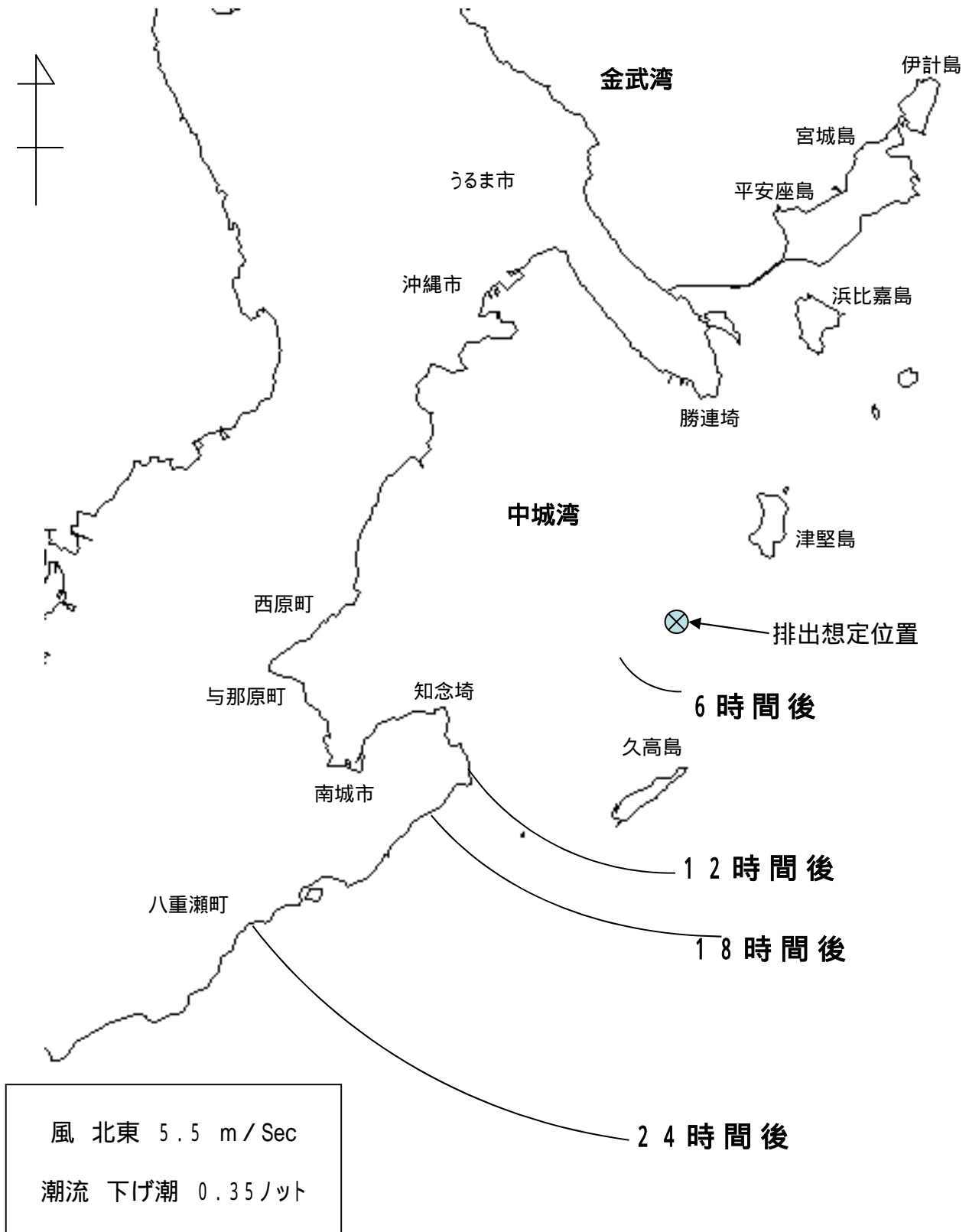
資料17-1-1 海洋汚染想定図(想定1 パターンA)



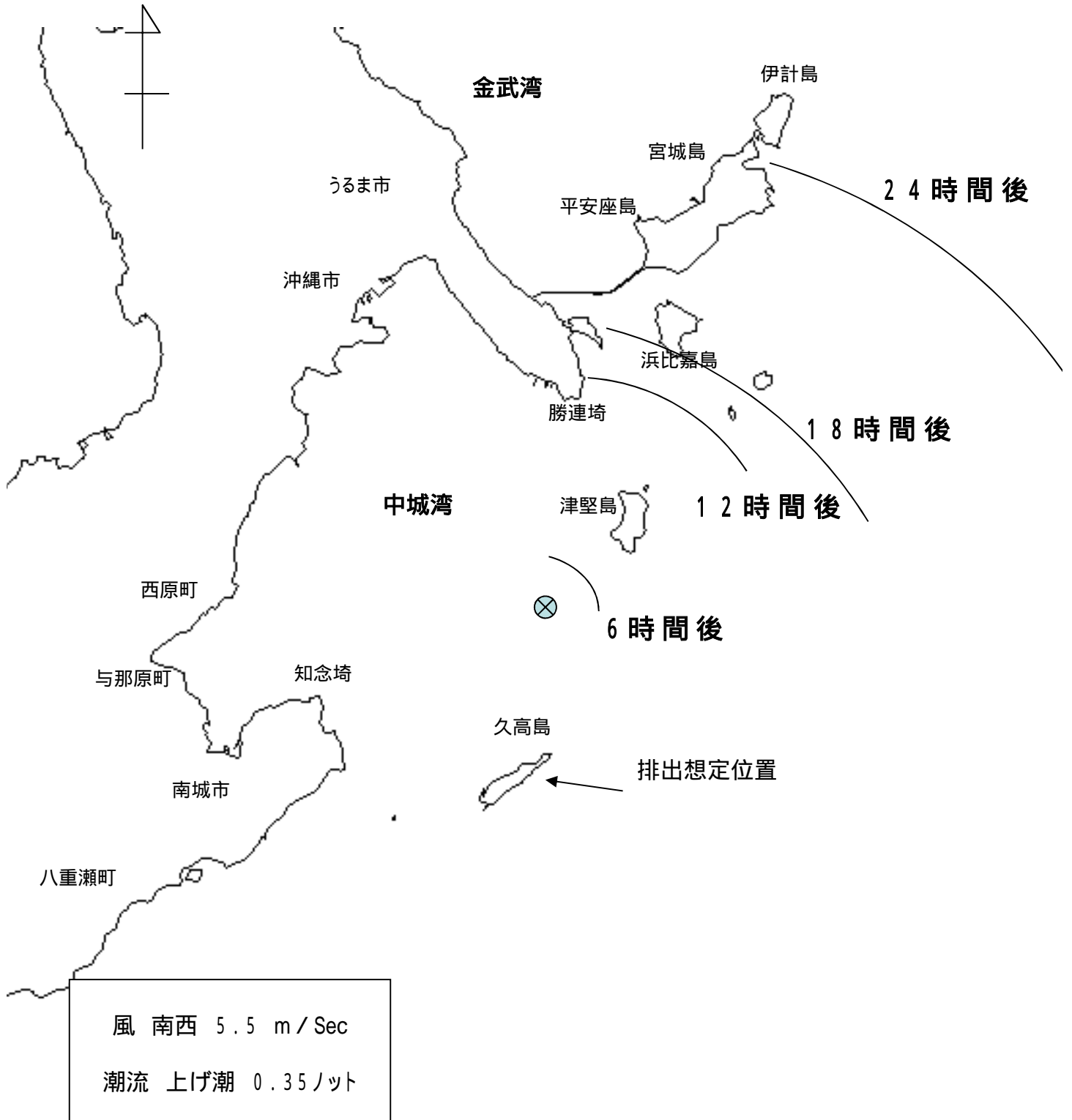
資料17-1-2 海洋汚染想定図(想定1 パターンB)



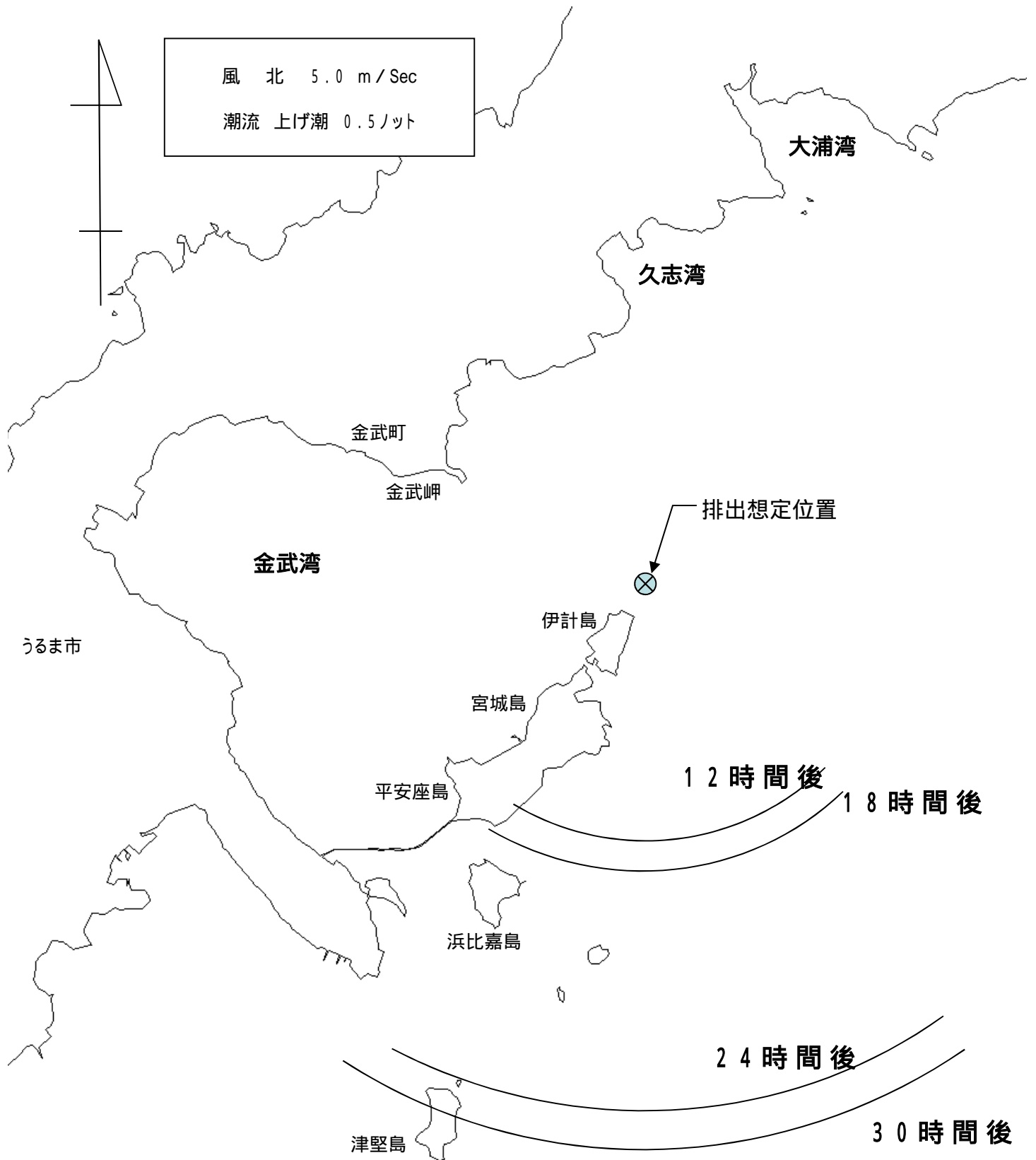
資料 17 - 1 - 3 海洋汚染想定図 (想定 1 パターンC)



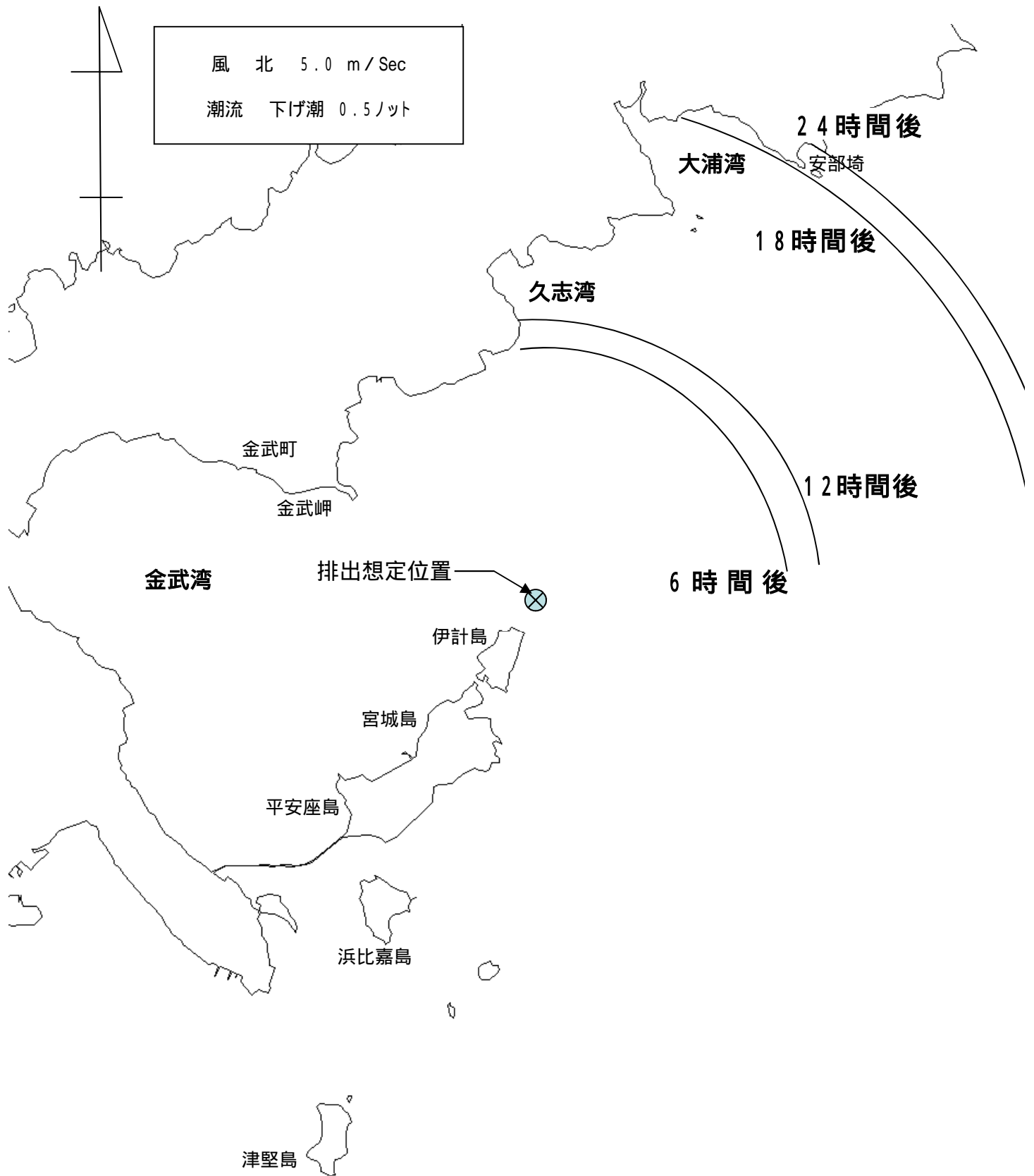
資料17-1-4 海洋汚染想定図(想定1 パターンD)



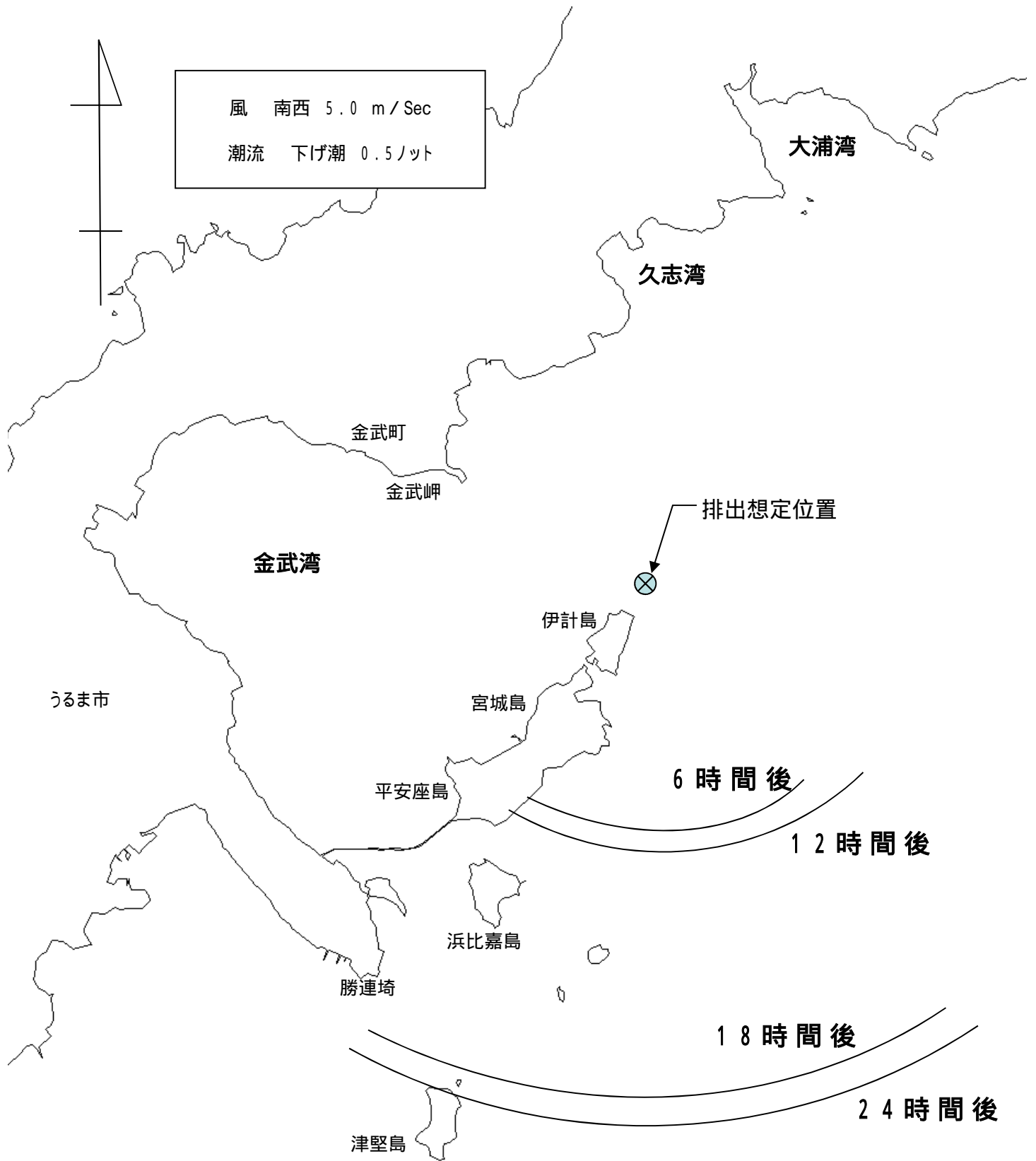
資料17-2-1 海洋汚染想定図(想定2 パターンA)



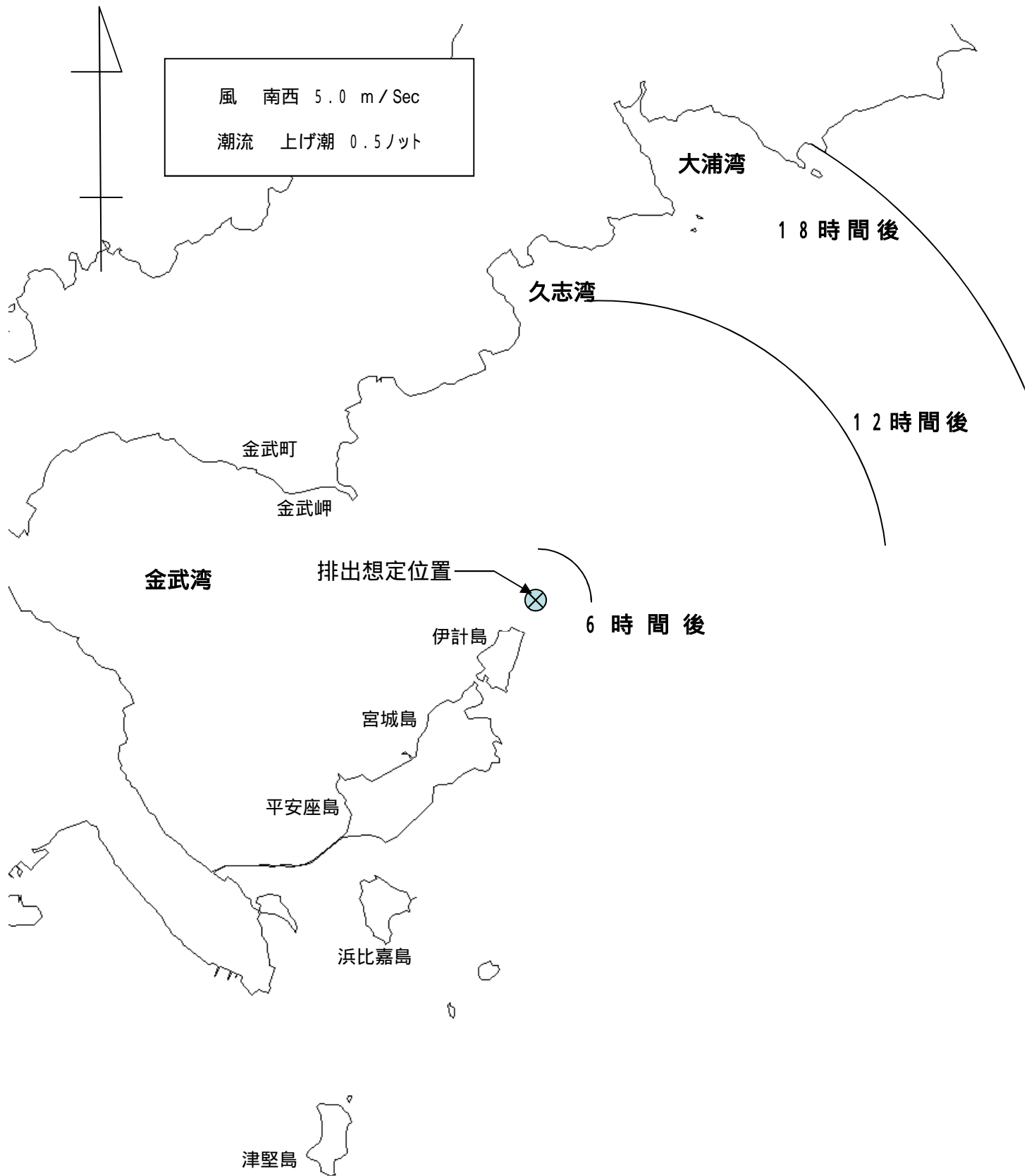
資料17-2-2 海洋汚染想定図(想定2 パターンB)



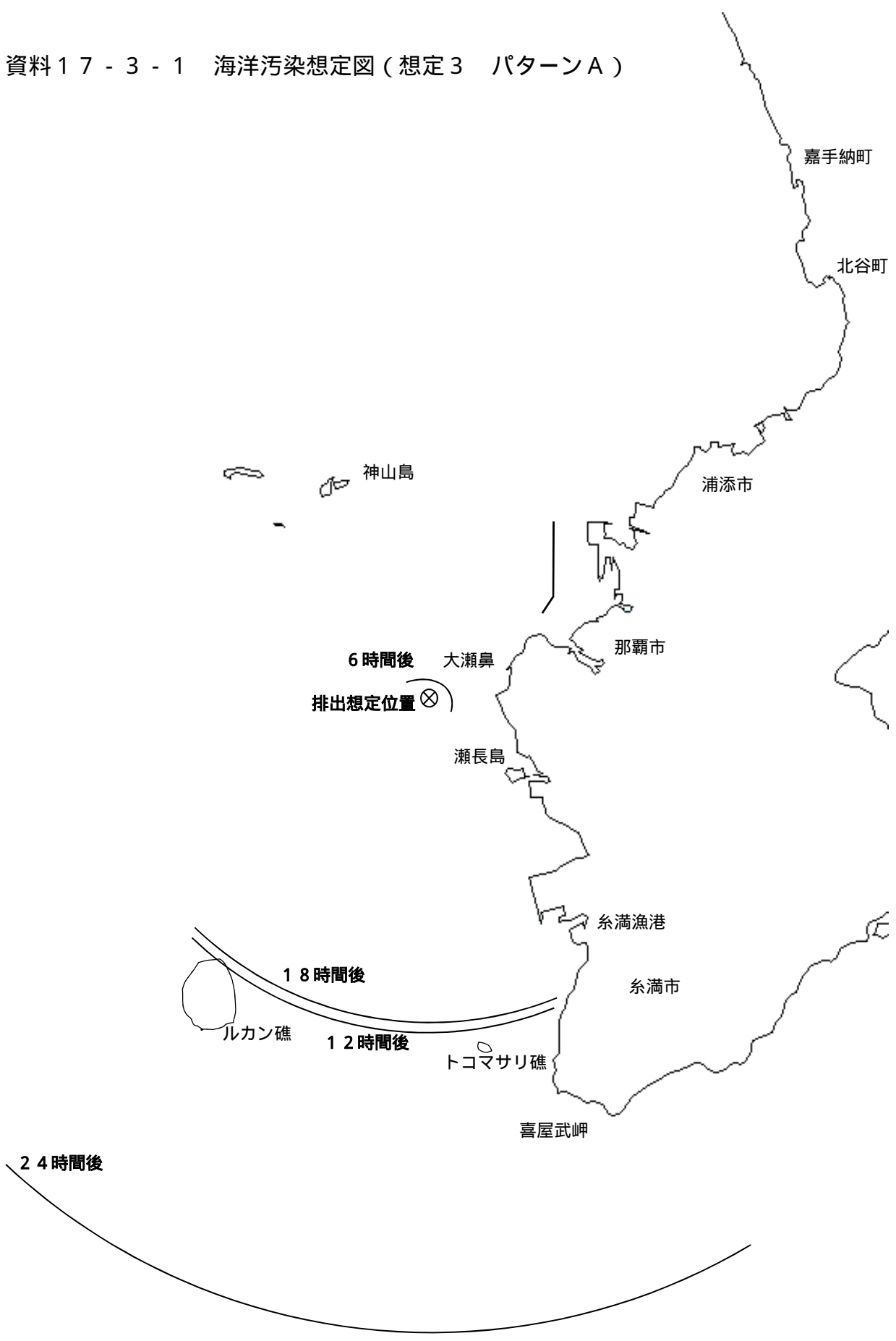
資料17-2-3 海洋汚染想定図(想定2 パターンC)



資料17-2-4 海洋汚染想定図(想定2 パターンD)



資料17-3-1 海洋汚染想定図(想定3 パターンA)



資料17-3-2 海洋汚染想定図(想定3 パターンB)



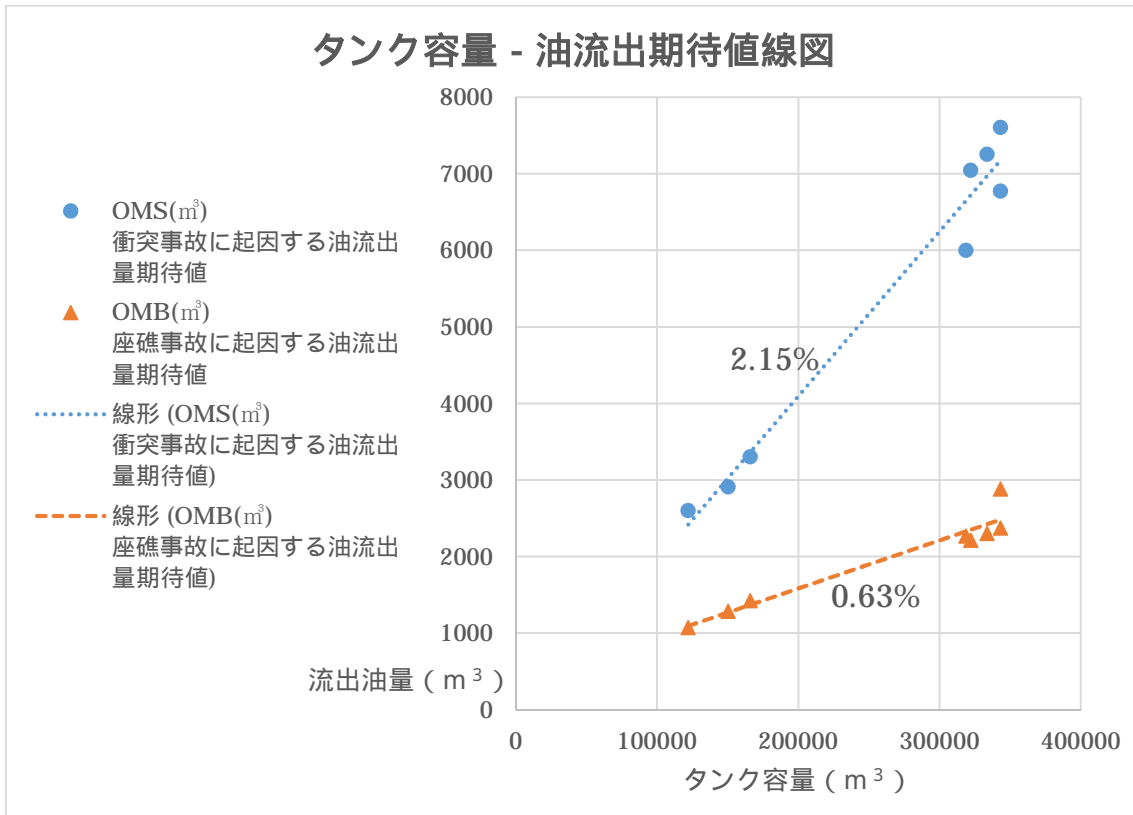
資料17-3-3 海洋汚染想定図(想定3 パターンC)



資料17-3-4 海洋汚染想定図(想定3 パターンD)



資料 1 8 ダブルハルタンカーの「油流出期待値線図」



サンプル船 (ダブルハルタンカー) のタンク容量及び油流出量の推定結果

SHIP ID	タンク容量 (m ³)	O _{MS} (m ³) 衝突事故に起因する油流出量期待値	O _{MB} (m ³) 座礁事故に起因する油流出量期待値
V 1	318,700	6,003	2,267
V 3	333,600	7,257	2,300
V 4	343,000	6,773	2,371
V 5	322,000	7,045	2,215
V 8	343,000	7,605	2,883
S 9	166,000	3,303	1,423
A 1 0	122,000	2,602	1,072
S A	150,170	2,913	1,286

資料19 有害液体物質の挙動による分類

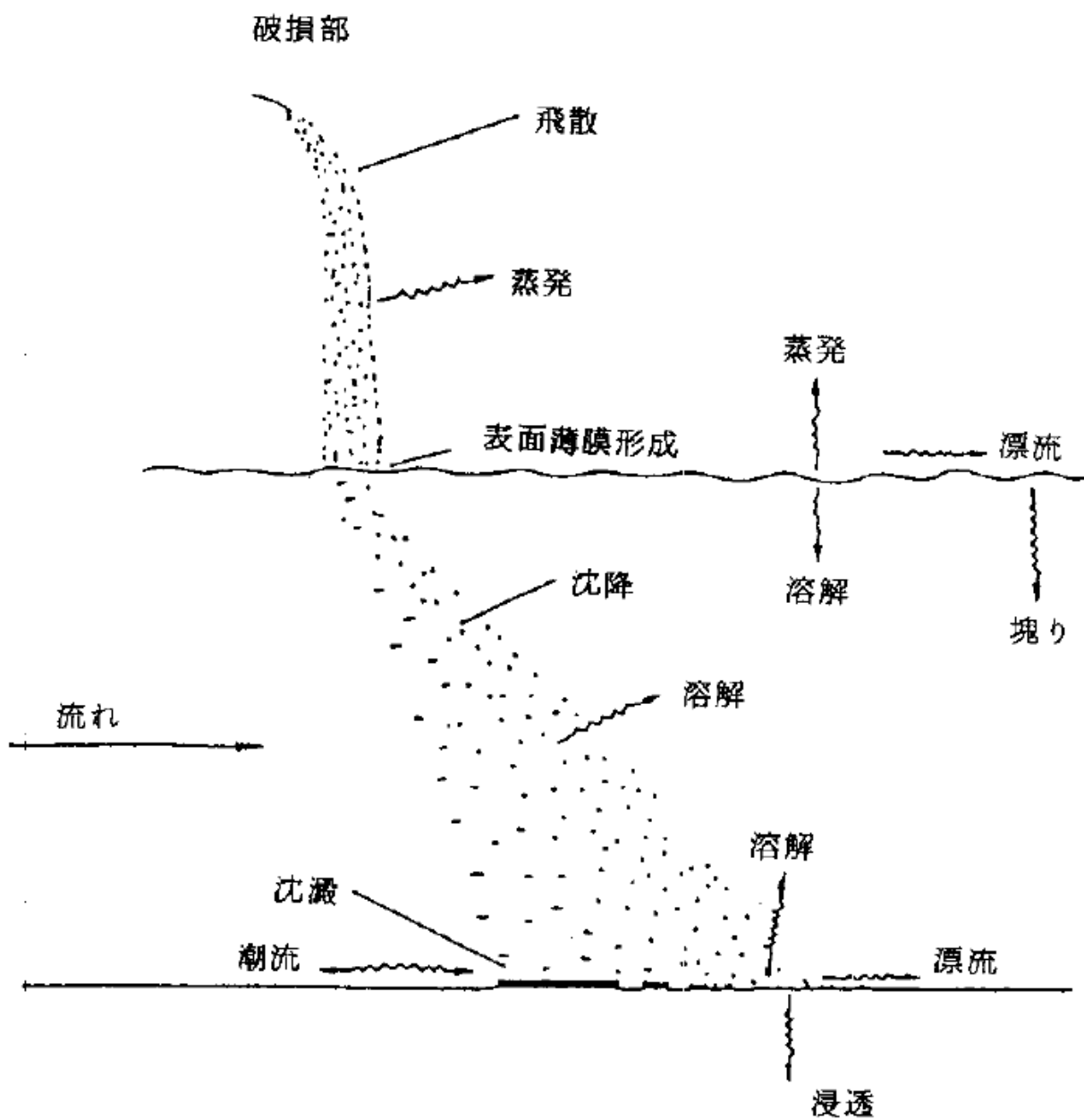
挙動による分類		物質名
蒸発性物質	短時間で大気中に蒸発する物質 (比重が海水より軽く、かつ、蒸気圧が20mmHg以上の物質)	ベンゼン、メタノール(メチルアルコール)、トルエン、シクロヘキサン、アクリロニトリル、メタクリル酸メチル、エタノール(エチルアルコール)、アセトン、酢酸ビニル、酢酸エチル、メチルエチルケトン、プロパノール(プロピルアルコール)、ヘキサン、アクリル酸メチル、ジメチルアミン
海面浮遊性物質	長時間にわたって海上に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水より軽く、かつ、蒸気圧が20mmHg未満のもの)	キシレン、スチレン、プロピルベンゼン、オクタノール(オクチルアルコール)、オクテン、ジイソプロピルベンゼン、アルキルベンゼン、フタル酸ジオクチル、アクリル酸2エチルヘキシル、ノナノール(ノニアルアルコール)、プロピレン四量体、アクリル酸エチル、アルファメチルスルホン酸、ヘプタン、ブチルアルデヒド、メタクリル酸ブチル、エチルベンゼン、ジイソブチレン、ウンデカノール(ウンデシアルコール)、パーム油脂肪酸(ヤシ油脂肪酸)、ジベンテン、塩化アリル、イソホロン
海中漂流性物質	長時間にわたって海中に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水と同じもの)	1,3-シクロペンタジエン二量体
沈降性物質	長時間にわたって海底に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水より重いもの)	ジクロロエタン(1,3-ジクロロエタン)、ジフェニルメタンジイソシアネート、エピクロロヒドリン、クロロホルム、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、オルトクロロニトロベンゼン
溶解性物質	短時間で海水中へ溶解する物質 (蒸発性物質に該当しない可溶性物質)	ブタノール(ブチルアルコール)、酢酸、フェノール、水酸化カリウム溶液、エチレングリコール、シクロヘキサノール、アクリル酸、アニリン、酢酸ブチル、ブチレングリコール、メチルブチルケトン、無水酢酸、アセトンシアノヒドリン、ジクロロメタン、ソルビトール溶液、クレゾール、トルエンジイソシアネート、アリルアルコール、ヘキサメチルジアミン溶液、ジメチルホルムアミド、メタクリル酸、ジエチレングリコール、ノネン、ホルムアルデヒド溶液、エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート、キシレノール、プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート、トリエタノールアミン、水酸化ナトリウム、ジエタノールアミン、エチレングリコールジアセテート、ジプロピレングリコール、燐酸、エタノールアミン、硫化水素ナトリウム水溶液、酢酸2エトキシエチル、ヘプタノール(ヘプチルアルコール)、ジアセトンアルコール、アルキルベンゼンスルホン酸

資料20 有害液体物質の分類・品目別取扱量(輸送量上位10品目)

平成30年1月～12月輸送実績より
(資料提供:全国内航タンカー海運組合)

順位	物質	X類物質		Y類物質		Z類物質	
		取扱品目	取扱量(t)	取扱品目	取扱量(t)	取扱品目	取扱量(t)
1		コールタール	754,617	キシレン	2,271,429	酢酸	404,848
2		クレオソート(コールタールから得られたもの)	538,518	ベンゼン(濃度10重量%以上の粗製ベンゼンを含む)	1,847,950	ブチルアルコール 《ターシャリーブチルアルコール》	263,940
3		アルキルベンゼン (アルキル基の炭素数が3又は4のもの)	34,705	スチレン	1,083,130	アセトン	252,620
4		ジイソプロピルベンゼン	24,115	メチルアルコール	697,985	エチルアルコール	250,662
5		ブテンオリゴマー	18,747	トルエン	373,940	酢酸エチル	151,401
6		アルキルベンゼン(アルキル基の炭素数が3又は4のもの及びその混合物に限る)	15,434	エチレングリコール	327,134	メチルエチルケトン	137,734
7		イソアルカン(炭素数が10以上のもの及びその混合物に限る。)	11,262	アクリロニトリル	324,841	イソプロピルアルコール	121,481
8		オレフィン(炭素数が5から7まで又は13以上のもの及びその混合物に限る。)	10,608	アクリル酸	280,551	ブチルアルコール(ブタノール)	107,978
9		ドデセン	9,302	シクロヘキサン	236,882	プロピレングリコールモノアルキルエーテル	42,719
10		アルカン(炭素数が6から9までのもの及びその混合物)	8,311	メタクリル酸メチル	206,662	メチルイソブチルケトン	37,370

資料21 流出後の物質の分散経路



資料22 排出油等防除資材等保有状況

(1) 油回収船

①油回収船

令和2年2月1日現在

担当部署	船名	機関名	総トン数	速力 (ノット)	航行区域	回収方式	回収能力 (kL/h)	貯油能力 (kL)	保有資機材				消火設備			備付義務	備考
									オイルフェ ンス (m)	油処理剤 (L)	油吸着材 (Kg)	油ゲル化 剤 (Kg、L)	放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)		
中城	沖縄石油基地 (株)	海邦丸	51	10.5	沿海		100	31			M	97				有	油回収装置補助船 (油回収装置搭載 船)
中城	南西石油(株)	海邦丸	19	10.5	沿海		120	350								有	油回収装置補助船 (油回収装置搭載 船)

◆オイルフェンス A:A型、B:B型、C:C型、D:D型、F:フェンス型
 ◆油処理剤 G:通常型、D:高粘度対応型、S:自己攪拌型
 ◆油吸着材 M:マット型、R:ロール型、F:万国旗型、O:その他
 ◆油ゲル化剤 P:粉末(Kg)、L:液体(ℓ)

(2) 油回収装置

①油回収装置

令和2年2月1日現在

担当 部署	機関名	装置名	製造者	基数	回収方式	回収 能力 (KL/h)	船舶 積載の 可否	装置を積載する船舶			備付義務	備考
								船名	装置の 固定方法	回収油貯蔵タンク 容量(kl×基)		
十一本部	海上保安庁	フォイレックス TDS-200	FOILEX (株)カネヤス	1	フロートサク ション式	70	可	1000トン型巡視船	舷側ボルト固定	25×2 (ランサーバージョン)	無	
中城	中城海上保安部	SKIM PAK 2000	DOUGLAS ENGINEERING 日立協和エンジニアリング(株) (日本ラバル(株))	1	吸引式	7	可	巡視船艇		0.75×1	無	
中城	中城海上保安部	パイコマ・デルタスキ マー	VIKOMA INTERNATIONAL LTD ガデリウス(株)	1	吸引式	30	可	巡視船艇			無	
中城	沖縄石油基地(株)	DESMI-250	RO-CLEAN DESMI	1	フロートシステ ム	100	可	海邦丸	舷側ボルト固定	31(m3)×1	有	連絡先:098-977-7124
中城	南西石油(株)	KOMARA 30	VIKOMA INTERNATIONAL LTD ガデリウス(株)	2	回転ディスク式	60	可	海邦丸	ロープ固定	350×1	有	連絡先:098-882-9555
中城	沖縄ターミナル(株)	DESMI-250	RO-CLEAN DESMI	1	堰式	100	可	平安座共和	ラッシング方式	RO-タンク 15,000×2	有	回収補助船舶は 共和マリンサービス(株)所有
中城	石油連盟国内第6号沖 縄基地	SEA SKATER	Elastec	2	堰式	118	可		ラッシング方式		無	連絡先:03-5218-2306
中城	石油連盟国内第6号沖 縄基地	Komara Star MK2	VIKOMA INTERNATIONAL LTD	2	ディスク式	22	可		ラッシング方式		無	〃
中城	石油連盟国内第6号沖 縄基地	ミニマックス	LAMOR	4	ディスクプラス 式	26	可		ラッシング方式		無	〃
中城	沖縄マリンサービス	FOILEX MINISKIMMER30 (小型回収装置)	FOILEX社製	1	堰式	30	可	タグボート			無	海上災害防止センター所有 当社保有タグボート3隻に積 載可
中城	海上自衛隊	YD-1500SG-T	(株)ワールドケミカル	1	フロートサク ション式	12	可			なし	有	
石垣	海上保安庁	SKIM PAK 2000	DOUGLAS ENGINEERING 日立協和エンジニアリング(株) (日本ラバル(株))	1	吸引式	7	可	巡視船艇		0.75×1	無	

(3) 高粘度油回収ネット

令和2年2月1日現在

担当部署	機関名	ネット名称	製造者	網目の大きさ (mm)	ネット個数 (個)	本体個数 (個)	備考
那覇	海上保安庁	SEASWEEPER M-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
中城	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	40	4	防災コンテナ在
中城	沖縄マリンサービス	SEASWEEPER M-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	海上災害防止センター所有 連絡先:098-895-5401
石垣	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	10	1	防災コンテナ在
宮古島	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	10	1	防災コンテナ在

(5) オイルフェンス、油処理剤、油吸着材、油ゲル化剤等

令和2年2月1日現在

担当部署	機関名	オイルフェンス			薬剤その他の資材							オイルストア (袋)	備考
		型	長さ (m)	備付義務	油処理剤		油吸着材		油ゲル化剤		備付義務		
					型	量 (L)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)			
十一本部	沖縄県防災危機管理課	B	400	無			M	97					
十一本部	海上保安庁			無			M	17			無		
十一本部	海上保安庁			無			F	14			無		
那覇	海上保安庁	B	100	無	G	360	M	323			無	10	
那覇	海上保安庁				S	558	R	17					
那覇	海上保安庁						F	14					
那覇	海上保安庁						O	100					
那覇	那覇港管理事務組合	B	1,180	無	G	198	M	700			無		港湾法適用 義務数量なし
那覇	一般財団法人沖縄県水産公社	A	220	無	G	360	M	167			無		
那覇	沖縄電力(株)牧港発電所	B	680	有	G	450	M	170			有		海防法適用
那覇	沖縄給油施設株式会社(沖航燃(株))	B	220	無			M	150			無		
那覇	沖縄製油株式会社	A	20	無	G	18	M	68			無		
那覇	(株)りゅうせきロジコム那覇物流センター	B	300	有	G	600	R	21			有		海防法適用
那覇	ミヤギ産業株式会社	A	40	無	G	270	M	204			無		
那覇	東亜運輸(株)	不承認	380	無	G	160	M	120			無		
那覇	(有)東亜海事	B	60	無	G	200	M	60	P	180kg	無		
那覇	(株)那覇タグサービス			無	G	54	M	34			無		
那覇	アジア海洋沖縄(株)	不承認	120	無	G	32	M	80			無		
那覇	(株)アイビック	B	50	無	G	100	M	50			無		
那覇	(株)ギマ石油	不承認	40	無	G	18	M	34			無		
那覇	新系満造船所	A	100	無	G	110	M	75	L	100L	無		
那覇	浦添宜野湾漁協	不承認	30	無			M	34			無		
那覇	那覇市沿岸漁協			無	G	54	M	51			無		
那覇	沖縄県漁業協同組合	不承認	200	無	G	180	M	400			無		
那覇	久米島製糖(株)久米島事業所			無	G	45	M	20			無		
那覇	(株)りゅうせきロジコム久米物流センター	B	260	無	G	306	M	61			無		海防法適用
中城	海上保安庁	B	300	無	G	360	M	153			無	36	
中城	海上保安庁				D	1,458	R	136					
中城	海上保安庁				S	360	F	108					
中城	海上保安庁						O	500					
中城	海上自衛隊沖縄基地隊	B	600	有			M	810			有		海防法適用

↑オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
 ↓吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型
 ◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(L)

担当部署	機関名	オイルフェンス			薬剤その他の資材							オイルスニア (袋)	備考	
		型	長さ (m)	備付義務	油処理剤		油吸着材		油ゲル化剤		備付義務			
					型	量 (L)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)				
中城	海上自衛隊沖縄基地隊	A	200	有								有		海防法適用
中城	うるま消防本部(平安座出張所)	B	300	無								有		県から委託により保管
中城	沖縄石油基地(株)	B	5,000	有			M	5,700				有		石炎法適用
中城	沖縄石油基地(株)	浮沈	1,566											浮沈式オイルフェンス
中城	沖縄ターミナル	B	1,220	有	G	2,970	M	2,640				有		石炎法適用
中城	沖縄ターミナル				S	1,260								
中城	沖縄出光(株)沖縄油槽所	B	1,170	有	S	1,798	M	829	L	130		有		石炎法適用
中城	沖縄出光(株)沖縄油槽所						F	270						
中城	沖縄出光(株)沖縄油槽所						R	101						
中城	南西石油(株)	B	3,020	有	G	6,246	M	2,290				有		石炎法適用
中城	マルキ産業(株)			無	G	90	M	17				無		
中城	沖縄電力金武火力発電所			無	G	180	M	3				無		
中城	沖縄電力金武火力発電所						F	27						
中城	沖縄電力金武火力発電所						O	5						
中城	沖縄電力石川火力発電所	B	500	有	G	1,764	M	410				有		海防法適用
中城	電源開発石川石炭火力発電所	B	640	有	G	162	M	353	L	85		有		海防法適用
中城	沖縄電力吉の浦火力発電所	A	80		G	336	M	100				無		
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	D	500	無								無		大型固定式(C型)
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	D	250											Hdスプリントブーム×1
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	D	60											Hiスプリントブーム×2
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	不承認	40											Roブーム1800×1
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	C	2,060											ハーバーバスター×1
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	D	250											ラバーマックスVスイープ×1
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地											60		イノケンシステム株式会社
中城	沖縄マリンサービス	B	360	無	G	3,600	M	1,600	P	90kg/300L		無		海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	浮沈	250		S	720								海上災害防止センター所有ローブーム
中城	(株)りゅうせき石川油槽所	B	105	有								無		
石垣	海上保安庁	B	200	無	G	630	M	680				無	48	15m×36袋 12.5m×12袋
石垣	海上保安庁				D	306	F	27						
石垣	海上保安庁				S	180	O	620						
石垣	石垣市 港湾課	A	120	無	G	414	M	20				無		港湾法適用 義務数量なし
石垣	石垣市消防			無					P	30kg		無		
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	A	360	有	G	390	M	153				有		海防法適用

↑オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
↑吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型
◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(L)

担当部署	機関名	オイルフェンス			薬剤その他の資材							オイルスニア (袋)	備考
		型	長さ (m)	備付義務	油処理剤		油吸着材		油ゲル化剤		備付義務		
					型	量 (L)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)			
石垣	八重山漁業協同組合	A	40	無			M	8			無		
名護	海上保安庁	B	200	無	G	180	M	255			無	2	
名護	海上保安庁				S	594	R	17					
名護	海上保安庁						F	27					
名護	海上保安庁						O	20					
名護	伊江村役場			無	G	144					無		
名護	運天港港湾管理組合	A	80	無							無		港湾法適用 義務数量なし
名護	(株)りゅうせきロジコム北部物流センター	A	100	有	G	144	M	144			有		海防法適用
名護	琉球セメント(株)北部事務所			無	G	360	M	75			無		
名護	株式会社内間土建	A	196	無	G	220	M	200			無		
名護	株式会社屋部土建			無	G	108	M	60			無		
名護	伊江漁業協同組合	A	20	無							無		
宮古島	海上保安庁	B	200	無	G	594	M	323			無	35	
宮古島	海上保安庁				D	720	F	27					
宮古島	海上保安庁				S	306	O	350					
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	A	360	有	G	345	M	153			有		海防法適用
宮古島	沖縄電力(株)宮古発電所			無	S	45	M	12			無		第二発電所
宮古島	(株)大米建設			無	G	200	M	30			無		
宮古島	極東建設(株)			無	G	20	M	15			無		
宮古島	下地空港施設株式会社	A	100	無	G	108					無		
石垣基地	海上保安庁			無			M	51			無		

†オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
 †吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型
 ◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

(6) 作業船

令和2年2月1日現在

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量	粉末放射量	
								(L/分×基)	(kg/秒×基)	
那覇	内閣府沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所	うりずん	19	20	沿海	2(12)				監督測量船
那覇	東亜海事(有)	未来	13	20	沿海	2(14)				
那覇	東亜海事(有)	ゆいまーる	5.9	20	沿海	2(14)				
那覇	那覇港管理組合	清港丸Ⅱ	17	7	平水	3(3)				
那覇	(株)呉屋組	呉屋丸	4	5	沿海	2(12)				
那覇	(株)内間土建	第18明祥丸	16	8	沿海	2(6)				
那覇	(株)内間土建	第3明祥丸	1.1	16	沿海	1(8)				
那覇	(株)内間土建	第10明祥丸	5トン未満	16	沿海	5				
那覇	(株)とうほう工業	第八みつ丸	19	9	限定沿海	6				
那覇	(株)とうほう工業	第二十八みつ丸	19	9	沿海	12				
那覇	(株)とうほう工業	第三十八みつ丸	19	9	限定沿海	15				
那覇	(株)とうほう工業	第二十八室生丸	19	10	沿海	6				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量	粉末放射量	
								(L/分×基)	(kg/秒×基)	
							原液保有量(L)	薬剤保有量(kg)		
那覇	(株)とうほう工業	第七みつ丸	4.7	7	限定沿海	6				
那覇	(株)とうほう工業	第二十みつ丸	5トン未満	7	限定沿海	8				
那覇	(株)とうほう工業	みつ丸	5トン未満	8	限定沿海	5				
那覇	(株)とうほう工業	第二みつ丸	5トン未満	8	限定沿海	8				
那覇	(株)とうほう工業	第五みつ丸	5トン未満	12	限定沿海	6				
那覇	(株)とうほう工業	第八秀徳丸	5トン未満	12	限定沿海	7				
那覇	(株)とうほう工業	瑞昌丸	7	25	限定沿海	6				
那覇	(株)とうほう工業	2海洋	19	10	限定沿海	9				
那覇	(株)とうほう工業	第二十七みつ丸	5トン未満	7	限定沿海	5				
那覇	(株)とうほう工業	とうほう丸	0.89	3	限定沿海	3				
那覇	(株)とうほう工業	さち丸	4.9	10	沿海	1(12)				
那覇	アジア海洋沖縄(株)	エメラルド7号	5m	12	沿海	1(6)				
那覇	アジア海洋沖縄(株)	英	13	20	沿海	2(12)				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量	粉末放射量	
								(L/分×基)	(kg/秒×基)	
							原液保有量(L)	薬剤保有量(kg)		
那覇	アジア海洋沖繩(株)	第五なぎさ	5m	10	沿海	2(13)				
那覇	アジア海洋沖繩(株)	なぎさ2	5m	25	沿海	1(5)				
那覇	(株)大寛組	おもと丸	14	7	限定沿海	2(10)				
那覇	マチナト興産 (座波建設(株))	第一座波丸	19	10	限定沿海	1(10)				
那覇	マチナト興産 (座波建設(株))	第七座波丸	19	10	限定沿海	1(10)				
那覇	座波建設(株)	第五座波丸	19	8	限定沿海	1(12)				
那覇	協栄海事土木(株)	第22協栄丸	16	8	沿海	2(5)				
那覇	(有)島袋海運 (森崎建設工業)	ふみか丸	4.9	10	限定沿海	1(6)				
那覇	(有)島袋海運 (森崎建設工業)	第7平成	12.8	8	限定沿海	1(10)				
那覇	(有)島袋海運 (森崎建設工業)	みさき丸	19	10	限定沿海	1(12)				
那覇	(有)島袋海運 (森崎建設工業)	翔平丸	5トン未満	24	限定沿海	1(13)				
那覇	(有)島袋海運 (森崎建設工業)	ゆうし	5トン未満	10	限定沿海	1(10)				
那覇	(有)島袋海運 (森崎建設工業)	雄平丸	16	10	限定沿海	5				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基)	粉末放射量 (kg/秒×基)	
								原液保有量(L)	薬剤保有量(kg)	
那覇	極東建設(株)	極東36号	5	6	限定沿海	1(11)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	極東建設(株)	極東37号	5	6	限定沿海	1(5)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	極東建設(株)	極東38号	5	6	限定沿海	1(5)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	極東建設(株)	極東10号	10	10	限定沿海	2(4)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	極東建設(株)	極東18号	5	6	限定沿海	2(4)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	極東建設(株)	極東51号	19	10	限定沿海	2(12)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	極東建設(株)	極東58号	19	10	限定沿海	2(4)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	極東建設(株)	第83極東丸	19	10	限定沿海	1(5)	1000 L×1	9 L×2	5 kg×2	
那覇	株式会社カイケンエンジニアリング	いく丸	5トン未満	15	限定沿海	11				
那覇	(有)浪速丸海事	第三浪速丸	5	10	限定沿海	12				
那覇	(有)浪速丸海事	第七浪速丸	15	10	限定沿海	6				
那覇	(有)浪速丸海事	第八浪速丸	3	10	限定沿海	6				
那覇	(有)浪速丸海事	第十浪速丸	9	10	限定沿海	12				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量	粉末放射量	
								(L/分×基)	(kg/秒×基)	
							原液保有量(L)	薬剤保有量(kg)		
那覇	(有)浪速丸海事	第十二浪速丸	10	10	限定沿海	10				
那覇	(有)浪速丸海事	第十七浪速丸	13	10	限定沿海	5				
那覇	(有)浪速丸海事	第二十一成光丸	13	10	限定沿海	6				
那覇	(有)浪速丸海事	第二十七浪速丸	10.95	9	限定沿海	6				
那覇	(有)浪速丸海事	第三十七浪速丸	19	10	限定沿海	8				
那覇	有限会社沖海工	coral way	5トン未満	15	限定沿海	13				
那覇	有限会社沖海工	オルジエ	5トン未満	20	限定沿海	15				
那覇	有限会社沖海工	ocean	1	20	限定沿海	7				
那覇	有限会社沖海工	コーラルウェイⅢ	0.3	15	限定沿海	6				
那覇	有限会社沖海工	オーシャンⅡ	0.3	15	限定沿海	6				
中城	沖縄マリンサービス(株)	かりゆし	12	11	限定沿海	2(12)				
中城	沖縄海運産業	平宮丸	19	11	限定沿海	2(12)				オイルフェンス展張船を兼ねる
中城	共和マリン・サービス(株)	伊計丸	27	10	平水	2(15)				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基)	粉末放射量 (kg/秒×基)	
								原液保有量(L)	薬剤保有量(kg)	
中城	共和マリン・サービス(株)	八重岳丸	19	14	限定沿海	2(15)				
中城	有限会社沖潜	第七開工丸	19	10	沿海	7				
中城	有限会社沖潜	丞大丸	5トン未満	15	沿海	8				
中城	有限会社沖潜	第五開工丸	14	10	沿海	14				
中城	有限会社沖潜	第二丞大丸	5トン未満	15	沿海	8				
石垣	(株)南海土木 (丸尾建設)	あさなぎ3号	4.9	9	沿海	1(6)				
石垣	(株)南海土木 (丸尾建設)	ゆうなぎ2号	4.9	9	沿海	1(5)				
石垣	丸尾建設	第三栄進丸	19	9	沿海	2(8)				
石垣	丸尾建設	第七栄進丸	18	9	沿海	3(9)				
石垣	丸尾建設	栄進丸	19	10	沿海	3(7)				
石垣	丸尾建設	あさなぎ2号	4.9	7	限定沿海	1(9)				
石垣	丸尾建設	第5栄剛丸	4.9	8	限定沿海	2(10)				
石垣	(株)創進 (丸尾建設)	第2栄剛丸	4.9	7	限定沿海	1(5)				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基)	粉末放射量 (kg/秒×基)	
								原液保有量(L)	薬剤保有量(kg)	
石垣	有限会社仲正海工	海正号	13	10	限定沿海	(14)				
石垣	有限会社仲正海工	海正2号	2	15	限定沿海	(9)				
石垣	有限会社仲正海工	海正15号	11	8	沿海	7				
宮古島	(株)大米建設	第3米丸	70	10	沿海	3(10)				
宮古島	(株)大米建設	第5米丸	19	10	沿海	2(5)				
宮古島	(株)大米建設	第11米丸	19	10	沿海	3(13)				
宮古島	(株)大米建設	第21米丸	19	8	沿海	2(5)				
宮古島	(株)大米建設	第51米丸	19	8	沿海	2(8)				
宮古島	極東建設(株) 宮古支店	極東二八号	8.5	7	限定沿海	1(10)				
宮古島	極東建設(株) 宮古支店	極東五十三号	8.5	7	限定沿海	3(7)				
宮古島	極東建設(株) 宮古支店	極東三十八号	4.9	7	限定沿海	1(6)				
宮古島	共和産業(株)	第八共和丸	19	10	沿海	2(6)				
宮古島	共和産業(株)	第十八むろと丸	19	8	沿海	2(3)				

担当部署	機関名	船名	総ト ン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗 組 員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量	粉末放射量	
								(L/分×基)	原液保有量(L)	
名護	株式会社屋部土建	第三久護丸	19	9	沿海	1				
名護	株式会社屋部土建	第8山陽丸	16	9	平水	1				
名護	株式会社屋部土建	第五久護丸	19	9	沿海	1				
名護	株式会社屋部土建	第六久護丸	19	9	沿海	1				
名護	株式会社屋部土建	第七久護丸	19	9	沿海	1				
名護	株式会社屋部土建	第八久護丸	19	9	沿海	1				
名護	株式会社屋部土建	第三開発丸	5トン未満	9	沿海	1				
名護	株式会社屋部土建	第五開発丸	5トン未満	9	沿海	1				

(7) タグボート

令和2年2月1日現在

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
那覇	(株)那覇タグサービス	第3大王丸	196	12	近海	4(4)	3,000×1 1,500×1	6,000		
那覇	(株)那覇タグサービス	第5大王丸	186	14	沿海	4(4)	3,000×1 2,000×1	2000		
那覇	(株)那覇タグサービス	第8大王丸	180	14	沿海	4(4)	3,000×1 3,000×1	3000		
那覇	湧川運輸	りゅうおう丸Ⅱ	154	12.5	近海	5				
那覇	協栄海事土木	第18協栄丸	90	11	近海	3				
那覇	協栄海事土木	第36協栄丸	19	10	沿海	2(8)				
那覇	協栄海事土木	第37協栄丸	19	10	沿海	2(8)				
那覇	協栄海事土木	第38協栄丸	19	10	沿海	2(8)				
那覇	協栄海事土木	第78協栄丸	19	12	沿海	2(8)				H28新造
那覇	(株)呉屋組	第8呉屋丸	19	11.0	沿海	1(6)			1.5kg×1 1.2kg×1	
那覇	(株)呉屋組	第18呉屋丸	19	11.0	沿海	2(6)			1.5kg×1 1.2kg×1	
那覇	(株)呉屋組	第28呉屋丸	19	6.0	沿海	2(12)			1.5kg×6 1 1.2kg×1	
那覇	(株)東江建設	さくら	19	8.0	沿海	2(8)			5kg×2	
那覇	(株)東江建設	第3東優丸	19	8.0	沿海	2(5)			5kg×2	
那覇	(株)東江建設	第7東優丸	19	8.0	沿海	2(12)				
那覇	(株)トウエイ	東栄丸	19	5.0	沿海	2(3)				
那覇	(株)トウエイ	第二東栄丸	19	5.0	沿海	2(3)				
那覇	(株)トウエイ	第三東栄丸	19	5.0	沿海	2(3)				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
那覇	アジア海洋沖縄(株)	第七さち丸	19	8.0	沿海	4(12)				引船兼押船
那覇	アジア海洋沖縄(株)	第五さち丸	13	8.0	沿海	3(7)				作業船兼引船
那覇	新糸満造船所	第8快新丸	19	9.0	沿海	2(12)				
那覇	新糸満造船所	第10快新丸	13	9.0	沿海	2(12)				
那覇	丸尾建設(株)	第11栄進丸	19	10.0	沿海	2(4)				押船
那覇	(合)沖建	太盛丸	19	8.0	沿海	2(5)			2kg×2	作業船兼引船
那覇	(合)沖建	沖建丸	19	8	沿海	2(3)			2kg×2	作業船兼引船
那覇	極東建設(株)	極東58号	19	10	沿海	2(4)	1000 L×1	9 L×2	5kg×2	作業船兼引船
中城	沖縄石油基地(株)	平安丸	239	13.8	沿海	4	6000×2	7000		
中城	沖縄石油基地(株)	あやはし	248	15	近海	4	4000×1 8000×1	7000		
中城	共和マリン・サービス	うるま	193	14	近海	6(6)	6000×1	6000	2.94MPa/秒 2000キ口	泡消火原液沖縄ターミナル(株)所有
中城	共和マリン・サービス	平安座共和	262	14.4	沿海	6(12)	6000×2	10000		泡消火原液沖縄ターミナル(株)所有
中城	沖縄マリンサービス	平成丸	194	13.7	沿海	6(7)	6000×1	9000	40×1 2000キ口	第3種・第4種 消防設備船
中城	沖縄マリンサービス	泡瀬丸	260	14.5	沿海	6(12)	6000×1	6000	40×1 2000キ口	第3種・第4種 消防設備船
中城	沖縄マリンサービス	中城丸	223	14	平水	5(12)	7000×1	12000	40×1 2000キ口	第3種・第4種 消防設備船
中城	ジェイベック	琉翔丸	194	14	平水	8(12)	6000×1	15000		
名護	(株)内間土建	明祥丸	19	10	沿海	1(12)				
名護	(株)内間土建	第58明祥丸	19	11	沿海	1(8)				
名護	(株)内間土建	第15明祥丸	19	11	沿海	1(9)				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
名護	(株)内間土建	第28明祥丸	12	10	沿海	1(10)				
石垣	丸尾建設(株)	栄進丸	19	9	沿海	3(7)				引船兼作業船
石垣	丸尾建設(株)	第七栄進丸	18	9	沿海	3(9)				引船
石垣	丸尾建設(株)	第三栄進丸	19	9	沿海	2(8)				遊漁船兼作業船
石垣	(株)創進 (丸尾建設(株))	第3栄剛丸	15	9	沿海	1(5)				作業船兼引船
石垣	(株)創進 (丸尾建設(株))	第8栄進丸	16	9	沿海	1(5)				交通船兼作業船
宮古島	(株)大米建設	第3米丸	70	10	沿海	3(10)				0980-72-3040
宮古島	(株)大米建設	第5米丸	19	10	沿海	2(5)				同上
宮古島	(株)大米建設	第11米丸	99	8	沿海	3(13)				同上
宮古島	(株)大米建設	第21米丸	19	8	沿海	2(5)				同上
宮古島	(株)大米建設	第51米丸	19	8	沿海	2(8)				同上
宮古島	先嶋建設(株)	第3青翔丸	19	8	沿海	2(10)				0980-72-2852
宮古島	共和産業(株)	第八共和丸	19	10	沿海	2(6)				0980-72-2878
宮古島	共和産業(株)	第十八むろと丸	19	8	沿海	2(3)				同上

(9) グラブ船、ガット船等

令和2年2月1日現在

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
那覇	沖縄砂利採取事業協同組合	那覇港	第七海宝丸	ガット船	915G/T	自航		
那覇	沖縄砂利採取事業協同組合	那覇港	第八海宝丸	ガット船	915G/T	自航		
那覇	株式会社琉翔	那覇港	第十八冲翔丸	ガット船	997G/T	自航		
那覇	株式会社琉翔	那覇港	第一冲翔丸	ガット船	999G/T	自航		
那覇	(株)東江建設	那覇港	第一東和丸	グラブ兼起重機船	405t	非自航		
那覇	(株)東江建設	那覇港	第三東和丸	バックホウ浚渫船	118t	非自航		
那覇	(株)東江建設	那覇港	東江建設9号	台船	384t	非自航		
那覇	(株)東江建設	那覇港	東江建設11号	台船	384t	非自航		
那覇	マチナト興産(座波建設(株))	那覇港	第1金剛丸	グラブ船	2,010t積t	非自航		
那覇	マチナト興産(座波建設(株))	那覇港	第1大福丸	台船	2,000t積	非自航		
那覇	座波建設(株)	那覇港	第3座波丸	台船	433t	非自航		
那覇	(株)とうほう工業	那覇港	350光海号	起重機船	1,196t	非自航		
那覇	(株)とうほう工業	那覇港	301光海号	クレーン付台船	140t	非自航		
那覇	(株)とうほう工業	那覇港	TK光海号	台船	457t	非自航		
那覇	(株)とうほう工業	那覇港	第3TK光海号	台船	79t(1,300t積)	非自航		
那覇	(株)とうほう工業	那覇港	第十八あさひ号	起重機船	256t	非自航		
那覇	(株)とうほう工業	那覇港	第6高千穂号	クレーン付台船	276t	非自航		
那覇	協栄海事土木(株)	那覇港	第88協栄丸	グラブ船	1,900G/T	非自航		

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
那覇	協栄海事土木(株)	那覇港	第7協栄丸	グラブ船	834G/T	非自航		
那覇	協栄海事土木(株)	那覇港	協栄1号	台船	2,000t積	非自航		
那覇	協栄海事土木(株)	那覇港	協栄2号	台船	2,000t積	非自航		
那覇	協栄海事土木(株)	那覇港	協栄30号	台船	3,000t積	非自航		
那覇	協栄海事土木(株)	那覇港	協栄31号	台船	3,000t積	非自航		
那覇	丸尾建設(株)	那覇港	海翔22号	グラブ船	1,500t積	非自航		
那覇	丸尾建設(株)	那覇港	丸尾23号	台船	2,000t積	非自航		
那覇	株式会社イコウ (森崎建設工業)	那覇港	第58美恵号	ミキサ船	1,272G/T	非自航		
那覇	(合)沖建	那覇港	沖建5号	台船	1,600t積	非自航		
那覇	(合)沖建	那覇港	沖建2号	台船	1,800t積	非自航		
那覇	極東建設(株)	那覇港	極東302号	台船	2,000t積	非自航		
那覇	極東建設(株)	那覇港	極東303号	台船	2,000t積	非自航		
那覇	極東建設(株)	那覇港	極東82号	台船	200t積	非自航		
那覇	極東建設(株)	那覇港	極東83号	起重機船	100t吊り500t積	非自航		
那覇	(有)浪速丸海事	那覇港	第135浪速丸	グラブ船	500G/T	非自航		
那覇	(有)浪速丸海事	那覇港	第170浪速丸	グラブ船	1,000G/T	非自航		
那覇	(有)浪速丸海事	那覇港	第220浪速丸	グラブ船	120t吊	非自航		
那覇	(有)浪速丸海事	那覇港	第230浪速丸	起重機船	130t吊	非自航		
那覇	(株)大寛組	那覇港	第8大寛号	FD船	6,200t積	非自航		
那覇	(株)呉屋組	糸満漁港	第28泰山	グラブ船	1,360G/T	非自航		

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
那覇	(株)呉屋組	糸満漁港	泰山2号	バックホウ浚渫船	200G/T	非自航		
那覇	(株)呉屋組	糸満漁港	呉屋1号	台船	900G/T	非自航		
那覇	(株)呉屋組	糸満漁港	呉屋2号	台船	1,200G/T	非自航		
那覇	(株)呉屋組	糸満漁港	呉屋5号	台船	600G/T	非自航		
那覇	(株)呉屋組	糸満漁港	呉屋7号	台船	600G/T	非自航		
那覇	先嶋建設(株)	那覇港	第五先嶋号	台船	900G/T	非自航		
中城	アジア海洋沖縄(株)	中城港	O.W.O101号	クレーン台船	1,000t積	非自航		連絡先:098-868-5914
中城	アジア海洋沖縄(株)	中城港	OWA150号	起重機船	866G/T	非自航		同上
中城	有限会社沖潜	石川漁港	YL5001	台船	120G/T	非自航		
中城	協栄海事土木(株)	那覇港	第88協栄丸	起重機船	1,899トン積	非自航		連絡先:098-945-1616
中城	協栄海事土木(株)	那覇港	第七協栄丸	起重機船	1,245トン積	非自航		同上
中城	南西石油(株)	金武中城港	南石丸	台船		非自航		
石垣	㈱南海土木 (丸尾建設(株))	石垣港	武双号	台船	1,200t積	非自航		
石垣	㈱南海土木 (丸尾建設(株))	石垣港	南海6号	台船	1,500t積	非自航		
石垣	丸尾建設(株)	石垣港	丸尾23号	台船	2,000t積	非自航		
石垣	丸尾建設(株)	石垣港	丸尾19号	台船	1,200t積	非自航		クレーン付台船
石垣	丸尾建設(株)	石垣港	丸尾12号	台船	1,500t積	非自航		クレーン付台船
石垣	㈱創進 (丸尾建設(株))	石垣港	創進20号	台船	1,200t積	非自航		
石垣	㈱創進 (丸尾建設(株))	石垣港	創進21号	台船	1,800t積	非自航		
石垣	丸尾建設(株)	石垣港	丸尾24号	台船	1,000t積	非自航		

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
石垣	(株)八重島工業	石垣港	八重島工業1号	台船	871G/T	非自航		
宮古島	極東建設(株)宮古支店	平良港	極東八十五号	水中バックホウ支援船	500t積	非自航		連絡先:0980-72-9715
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米1号	台船	1,500t積	非自航		連絡先:0980-72-3040
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米2号	台船	1,500t積	非自航		同上
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米3号	台船	2,000t積	非自航		同上
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米6号	台船	2,000t積	非自航		同上
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米7号	台船	2,000t積	非自航		同上
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米8号	台船	2,000t積	非自航		同上
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米二号	起重機船浚渫船	3,100t積	非自航		同上
宮古島	(株)大米建設	平良港	大米号	FD船	5,000t積	非自航		同上
宮古島	共和産業(株)	平良港	第二十八共和号	起重機船兼浚渫船	1,699G/T	非自航		連絡先:0980-72-2878
宮古島	共和産業(株)	平良港	第一共和号	起重機船兼浚渫船	786G/T	非自航		同上
宮古島	共和産業(株)	平良港	第十五共和号	台船	1,900t積	非自航		同上
宮古島	共和産業(株)	平良港	第三共和号	台船	1,600t積	非自航		同上
宮古島	(株)古波蔵組	平良港	古波蔵2号	台船	720G/T	非自航		連絡先:0980-72-4789
名護	(株)屋部土建	運天港	屋部1号	台船	500t積	非自航		連絡先:0980-53-2227
名護	(株)屋部土建	運天港	屋部2号	台船	2,000t積	非自航		同上
名護	(株)屋部土建	運天港	屋部3号	台船	2,000t積	非自航		同上
名護	(株)屋部土建	運天港	屋部5号	台船	2,000t積	非自航		同上
名護	(株)屋部土建	運天港	屋部6号	台船	2,000t積	非自航		同上

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
名護	(株)屋部土建	運天港	久護250	グラブ船	1,077G/T	非自航		同上
名護	(株)屋部土建	運天港	久護850	台船	1,584G/T	非自航		同上
名護	(株)屋部土建	運天港	久護4000	グラブ船	1,300G/T	非自航		同上
名護	(株)武国建設	運天港	天龍号	グラブ船	2,300t積	非自航		連絡先:0980-58-3107
名護	(株)内間土建	運天港	明星55	グラブ船	400G/T	非自航		連絡先:0980-49-3881
名護	(株)内間土建	運天港	第2内間	グラブ船	165G/T	非自航		同上
名護	(株)内間土建	運天港	第3内間	台船	2,000t積	非自航		同上
名護	(株)内間土建	運天港	第6内間	台船	1,500t積	非自航		同上
名護	(株)内間土建	運天港	第7内間	台船	1,500t積	非自航		同上
名護	(株)内間土建	運天港	第8内間	台船	1,500t積	非自航		同上
名護	(株)東江建設	伊江港	第一東和号	グラブ船	858G/T	非自航		連絡先:0980-45-2260

(10) タンクローリー車

令和2年2月1日現在

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
那覇	沖航燃(株)	24	14	336	連絡先:098-857-1171
那覇	沖航燃(株)	12	3	36	同上
那覇	(株)りゅうせきロジコム那覇物流センター	18	1	18	連絡先:098-868-3337
那覇	(株)りゅうせきロジコム那覇物流センター	8	3	24	同上
那覇	(株)りゅうせきロジコム那覇物流センター	6	2	12	同上
那覇	(株)りゅうせきロジコム那覇物流センター	4	3	12	同上
那覇	(株)りゅうせきロジコム那覇物流センター	3	2	6	同上
那覇	(株)りゅうせきロジコム那覇物流センター	2	1	2	同上
那覇	(株)りゅうせきロジコム久米島物流センター	15	1	15	連絡先:098-985-2303
那覇	(株)りゅうせきロジコム久米島物流センター	8	1	8	同上
那覇	(株)りゅうせきロジコム久米島物流センター	6	1	6	同上
那覇	ザ・テラスホテルズ(株)コクワエナジー	16	4	64	連絡先:098-868-6420
那覇	ザ・テラスホテルズ(株)コクワエナジー	14	1	14	同上
那覇	ザ・テラスホテルズ(株)コクワエナジー	10	1	10	同上
那覇	ザ・テラスホテルズ(株)コクワエナジー	6	11	66	同上

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
那覇	ザ・テラスホテルズ(株)コクワエナジー	4	1	4	同上
那覇	ミヤギ産業(株)	16	2	32	連絡先:098-861-3131
那覇	ミヤギ産業(株)	8	1	8	同上
那覇	ミヤギ産業(株)	6	4	24	同上
那覇	ミヤギ産業(株)	4	3	12	同上
那覇	OK運輸	16	4	64	連絡先:098-867-2101
那覇	OK運輸	14	1	14	同上
那覇	OK運輸	12	1	12	同上
中城	内外運輸株式会社	30	4	120	連絡先:098-946-6300
中城	内外運輸株式会社	28	2	56	同上
中城	内外運輸株式会社	24	6	144	同上
中城	内外運輸株式会社	20	9	180	同上
中城	内外運輸株式会社	16	23	368	同上
中城	内外運輸株式会社	14	14	196	同上
中城	内外運輸株式会社	12	4	48	同上
中城	内外運輸株式会社	8	2	16	同上

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
中城	白石運送(株)	16	3	48	連絡先:098-882-8265
中城	有限会社富士石油	3.5	2	7	連絡先:098-895-2423
中城	有限会社富士石油	12	1	12	同上
中城	(株)りゅうせきロジコム中部物流センター	18	1	18	連絡先:098-939-3301
中城	(株)りゅうせきロジコム中部物流センター	8	1	8	同上
中城	(株)りゅうせきロジコム中部物流センター	6	2	12	同上
中城	(株)りゅうせきロジコム中部物流センター	4	3	12	同上
中城	(株)りゅうせきロジコム中部物流センター	3	2	6	同上
中城	沖縄開発工業	14	1	14	連絡先:098-945-1725
中城	沖縄開発工業	8	1	8	同上
中城	沖縄開発工業	4	1	4	同上
中城	沖縄開発工業	3.8	1	3.8	同上
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	20	3	60	連絡先:0980-82-3876
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	18	2	36	同上
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	16	1	16	同上
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	15	8	120	同上

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	14	3	42	同上
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	6	3	18	同上
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	4	1	4	同上
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	3	1	3	同上
石垣	(株)りゅうせきロジコム八重山物流センター	2	1	2	同上
石垣	西表港運	4	2	8	連絡先:0980-85-6561
石垣	(有)西部石油商会	4	1	4	連絡先:0980-85-6153
石垣	(株)与那国石油商会	4	2	8	連絡先:0980-87-2655
石垣	米浜石油(株)	14	1	14	連絡先:0980-87-2119
石垣	米浜石油(株)	4	1	4	同上
石垣	米浜石油(株)	3	1	3	同上
石垣	米浜石油(株)	1	1	1	同上
宮古島	ミヤギ産業(株)宮古支店	8	1	8	連絡先:0980-73-8686
宮古島	ミヤギ産業(株)宮古支店	6	3	18	同上
宮古島	ミヤギ産業(株)宮古支店	4	2	8	同上
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	16	1	16	連絡先:0980-72-3119

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	15	1	15	同上
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	14	2	28	同上
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	12	1	12	同上
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	8	2	16	同上
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	6	2	12	同上
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	4	2	8	同上
宮古島	(株)りゅうせき宮古支店	3	1	3	同上
名護	りゅうせきロジコム北部物流センター	16	1	16	連絡先:0980-53-8513
名護	りゅうせきロジコム北部物流センター	6	2	12	同上
名護	りゅうせきロジコム北部物流センター	4	1	4	同上
名護	りゅうせきロジコム北部物流センター	2	1	2	同上

(11) 強力吸引車、バキュームカー

令和2年2月1日現在

担当部署	機関名	数量				備考
		種類	容量(KL)	台数	容量計(KL)	
那覇	(有)沖縄クリーン工業	特殊強力吸引車	8.1	2	16.2	連絡先:098-835-8122
那覇	(有)沖縄クリーン工業	特殊強力吸引車	4.5	1	4.5	同上
那覇	(有)沖縄クリーン工業	強力吸引車	3.1	1	3.1	同上
那覇	(有)沖縄クリーン工業	強力吸引車	2.8	2	5.6	同上
那覇	(有)沖縄クリーン工業	強力吸引車	2.5	1	2.5	同上
那覇	(有)沖縄クリーン工業	バキューム	3	2	6	同上
那覇	(株)世名城	超強力吸引車	2.6	1	2.6	連絡先:098-956-2702
那覇	(株)世名城	吸水車	6	1	6	揚泥車
那覇	(株)マルイ	強力吸引車	3.2	1	3.2	連絡先:098-936-0101
那覇	オパス(株)	強力吸引車	5	2	10	連絡先:098-897-7201
中城	(有)富士石油	バキューム	3.5	3	10.5	連絡先:098-895-2423
中城	(株)オキスイ開発	吸引車	10.1	2	20.2	連絡先:098-945-4010
中城	(株)オキスイ開発	吸引車	3	1	3	同上
中城	総合油脂	吸引車	3	10	30	連絡先:098-895-6415
中城	沖縄開発工業	強力吸引車	8	3	24	連絡先 098-945-1725
中城	沖縄開発工業	強力吸引車	2	1	2	同上
中城	沖縄県産業廃棄物処理組合	強力吸引車	10	4	40	連絡先:098-946-7019

担当部署	機関名	数量				備考
		種類	容量(KL)	台数	容量計(KL)	
中城	沖縄県産業廃棄物処理組合	強力吸引車	4	3	12	同上
中城	沖縄県産業廃棄物処理組合	バキューム	2	1	2	同上
中城	沖縄県産業廃棄物処理組合	バキューム	3	2	6	同上
中城	沖縄県産業廃棄物処理組合	バキューム	4	3	12	同上
中城	(合)沖縄浄管センター	特殊強力吸引車	10	2	20	連絡先:098-939-3915
中城	(合)沖縄浄管センター	特殊強力吸引車	4	3	12	同上
中城	(合)沖縄浄管センター	強力吸引車	3	1	3	同上
中城	(株)環境ソリューション	強力吸引車	10	5	50	連絡先:098-937-8660
中城	(株)環境ソリューション	強力吸引車	4	2	8	同上
石垣	(有)パラダイスアメニティ	バキューム	2.7	1	2.7	連絡先:0980-83-4134
石垣	水質管理サービス(有)	バキューム	1.9	1	1.9	連絡先:0980-83-0555
石垣	水質管理サービス(有)	バキューム	1.8	2	3.6	同上
石垣	浄環企画	バキューム	1.8	1	1.8	連絡先:0980-83-7795
石垣	(有)八拳警備保障	バキューム	1.8	1	1.8	連絡先:0980-82-5408
石垣	(有)先島メンテナンス	バキューム	1.8	1	1.8	連絡先:0980-83-0167
宮古島	(有)ミフネ理研	強力吸引車	5	1	5	連絡先:0980-73-4731
宮古島	(有)ミフネ理研	バキューム	3.4	1	3.4	同上
宮古島	(有)ミフネ理研	バキューム	3	1	3	同上

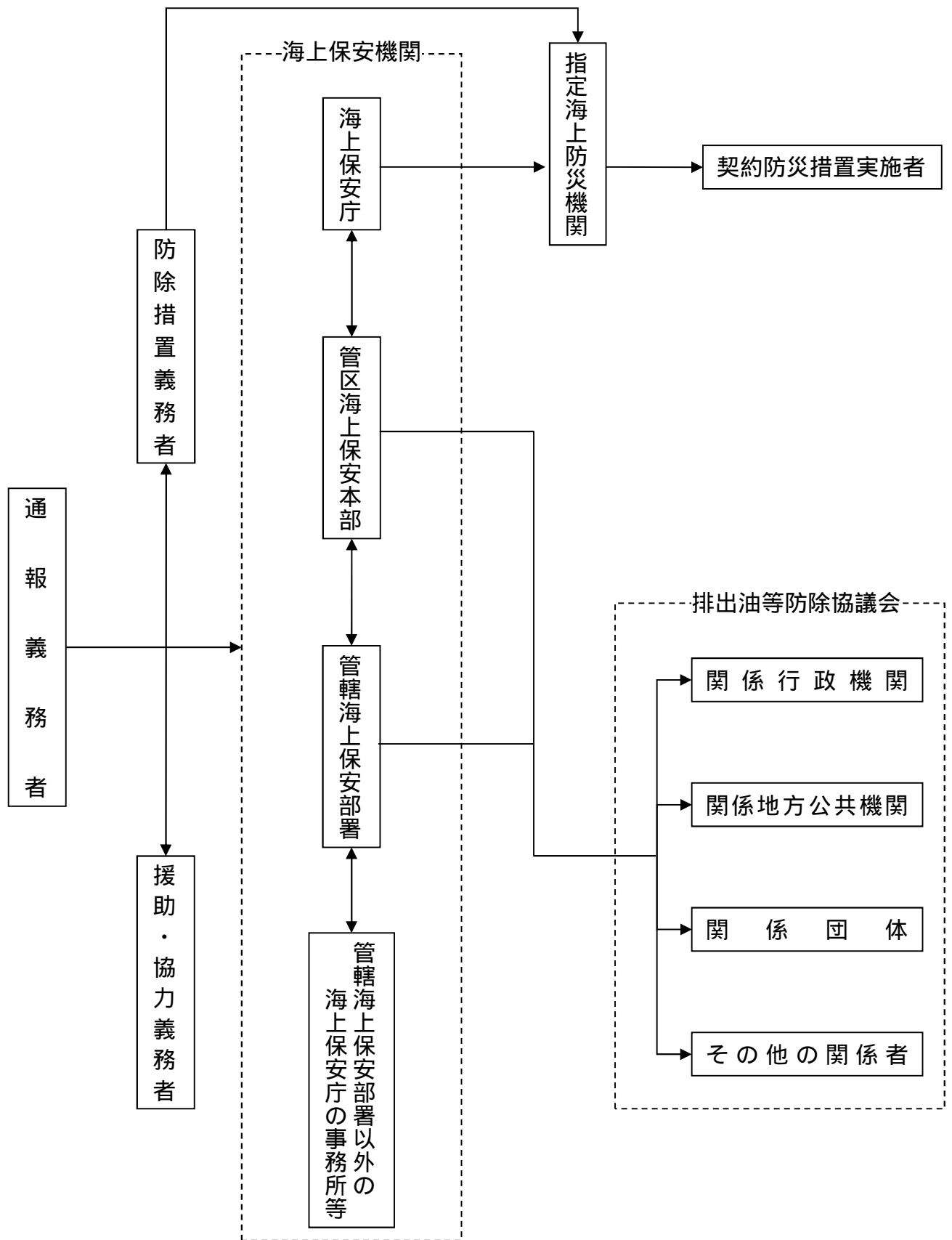
(13) その他

令和2年2月1日現在

担当部署	機関名	器材名	性能等
十一本部	第十一管区海上保安本部	ランサーバージ	油回収装置(FOILEX)とセットの貯油資機材。B10とB25あり。
十一本部	第十一管区海上保安本部	集油用アウトリガー(K-07)	貯油資機材
那覇	沖縄給油施設株式会社(沖航燃株)	スノムワイト'2500B	油処理剤 保有量:50kg
那覇	那覇海上保安部	ブームベイン	集油資機材
那覇	那覇海上保安部	オイルスキミングネット	油吸着材 初期対応において(特に地先海域においては), 流出した油の拡散防止を実施することができ且つ油等を吸着する役割をもつ。
中城	中城海上保安部	油処理剤散布装置	K=3型(カネマス)×6 作業船の舷側に散布管を張り出し、海上に流出した油に対して油処理剤の原液を3箇所から噴霧上に散布することにより油を分散処理する装置
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	ファスタンク	9 t × 24 仮設タンク
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	ファスタンク	6t × 6 仮設タンク
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	ファスタンク	1.5t × 6 仮設タンク
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	移送ポンプシステム×1	ビーチクリーナー 堰式 処理能力100kl/h 船舶搭載不可
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	ミニバックシステム×2	ビーチクリーナー バキューム式 処理能力24kl/h 船舶搭載不可
中城	石油連盟国内第6号沖縄基地	ポータブルスキマーシステム×4	ビーチクリーナー ブラシ式 処理能力30kl/h 船舶搭載不可
中城	沖縄マリンサービス	ファスタンク	可搬式一時貯蔵タンク 9.9m ³ ×15
中城	沖縄マリンサービス	可搬式バキュームクリーナー	海岸や岸壁などの狭小地での漂着物油回収用クリーナー. 油, スラッジ等, 直径50ミリまでの固形物を回収できる海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	ビーチブーム (ショアー・ガーディアン・ブーム)	砂浜, 砂利浜, 泥地, 塩地を完全に封鎖し, 効率的に油濁から海岸線を防除することができる。 海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	油処理剤散布装置	作業船の舷側に散布管を張り出し、海上に流出した油に対して油処理剤の原液を3箇所から噴霧上に散布することにより油を分散処理する装置。 海上災害防止センター所有

中城	沖縄マリンサービス	可搬式放水銃	船舶又は陸上の消火栓からの水を利用し、エジェクター効果により泡消火剤、吸水性ポリマー、粉末ゲル化剤を水に乗せて遠距離まで散布することができる。海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	散布装置(粉末ゲル化剤用)	ゲル化剤を吸い込む効果(エジェクター効果)を利用して容器からゲル化剤を吸引し、圧縮空気の力により粉末ゲル化剤を散布する装置。海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	可燃性ガス検知器	人体に有害で引火・爆発の危険性が高い蒸気ガス(ベーパー)などの濃度を測定する装置。酸素・可燃性ガス・一酸化炭素及び硫化水素を同時に検知することが可能で、音・振動・光(ランプ点滅)により測定者に警報を発するシステム。海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	有毒ガス検知管・検知管等測定セット	吸引ポンプ式でガスを検知管に通気させることにより、極めて低い濃度で人体に影響を与える有毒ガスを測定する。海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	吸着剤フェンス/オイルスキミングネット	初期対応において(特に地先海域においては)、流出した油の拡散防止を実施することができ、日頃の油等を吸着する役割をもつ。海上災害防止センター所有
中城	沖縄マリンサービス	吸水性ポリマー剤	有害有機化学液体を固定化・封印することで、流出を防止する。海上災害防止センター所有
石垣	石垣海上保安部	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤス)×3 作業船の舷側に散布管を張り出し、海上に流出した油に対して油処理剤の原液を3箇所から噴霧上に散布することにより油を分散処理する装置
石垣	石垣海上保安部	オイルスキミングネット	油吸着材 初期対応において(特に地先海域においては)、流出した油の拡散防止を実施することができ且つ油等を吸着する役割をもつ。
宮古島	宮古島海上保安部	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤス)×1 作業船の舷側に散布管を張り出し、海上に流出した油に対して油処理剤の原液を3箇所から噴霧上に散布することにより油を分散処理する装置
宮古島	宮古島海上保安部	オイルスキミングネット	油吸着材 初期対応において(特に地先海域においては)、流出した油の拡散防止を実施することができ且つ油等を吸着する役割をもつ。
名護	名護海上保安署	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤス)×1 作業船の舷側に散布管を張り出し、海上に流出した油に対して油処理剤の原液を3箇所から噴霧上に散布することにより油を分散処理する装置
名護	名護海上保安署	オイルスキミングネット	油吸着材 初期対応において(特に地先海域においては)、流出した油の拡散防止を実施することができ且つ油等を吸着する役割をもつ。
那覇基地	那覇航空基地	油処理剤空中散布装置	TC-3 MK-2 回転翼機で吊り上げ、空中から油処理剤を散布する装置。

資料 2 3 - 1 連絡系統図



資料 2 3 - 2 関係機関の連絡先

令和2年2月1日現在

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
海上保安機関			
海上保安庁	第十一管区海上保安本部	098-867-0118	098-867-0118
海上保安庁	那覇海上保安部	098-951-0120	098-951-0120
海上保安庁	中城海上保安部	098-938-7118	098-938-7118
海上保安庁	名護海上保安署	0980-53-0118	0980-53-0118
海上保安庁	石垣海上保安部	0980-83-0118	0980-83-0118
海上保安庁	宮古島海上保安部	0980-72-0118	0980-72-0118
海上保安庁	那覇航空基地	098-858-0118	098-858-0118
海上保安庁	石垣航空基地	0980-86-8511	0980-86-8511
沖縄排出油等防除協議会連合会			
関係行政機関	沖縄総合事務局開発建設部 港湾空港防災・危機管理課	098-866-1906	098-866-1906
関係行政機関	沖縄総合事務局運輸部船舶船員課	098-866-1838	098-866-1838
関係行政機関	沖縄総合事務局農林水産部林務水産課	098-866-1674	098-866-1674
関係行政機関	沖縄総合通信事務所無線通信課	098-865-2305	098-865-2305
関係行政機関	沖縄気象台地球環境・海洋課	098-833-4065	098-833-4065
関係行政機関	航空自衛隊南西航空方面隊司令部運用課	098-857-1191	098-857-1191
関係行政機関	陸上自衛隊第15旅団 第3部防衛班	098-857-1155	098-857-1155
関係行政機関	海上自衛隊第五航空群司令部作戦幕僚	098-857-1191	098-857-1191
関係行政機関	海上自衛隊沖縄基地隊警備科	098-978-2342	098-978-2342
関係地方公共団体	沖縄県知事公室防災危機管理課	098-866-2143	098-866-2143
関係地方公共団体	沖縄県土木建築部港湾課	098-866-2395	098-866-2395
関係地方公共団体	沖縄県農林水産部水産課	098-866-2300	098-866-2300
関係地方公共団体	沖縄県警察本部生活安全部生活保安課	098-862-0110	098-862-0110
関係地方公共団体	沖縄県市長会	098-963-8616	098-963-8616
関係地方公共団体	沖縄県町村会	098-963-8651	098-963-8651
関係団体	那覇地区排出油等防除協議会	098-951-0118	098-951-0118
関係団体	沖縄本島北西部地区排出油等防除協議会	0980-53-0118	0980-53-0118
関係団体	金武中城港排出油等防除協議会	098-938-7118	098-938-7118
関係団体	石垣港災害対策協議会	0980-83-0118	0980-83-0118
関係団体	宮古地区海上防災対策協議会	0980-73-4999	0980-73-4999
関係団体	沖縄旅客船協会	098-868-4449	098-868-4449
関係団体	沖縄港運協会（代理店業務）	098-868-5421	098-868-5421
関係団体	那覇港・金武中城港 外国船舶安全対策連絡協議会会長	098-895-5401	098-895-5401
関係団体	沖縄県漁業協同組合連合会	098-860-2600	098-860-2600
那覇地区排出油等防除協議会			
関係行政機関	沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所	098-867-3710	098-867-3710
関係地方公共団体	那覇港管理組合	098-862-2328	098-862-2328
関係地方公共団体	那覇市総務部市民防災室	098-861-1102	098-861-1102
関係地方公共団体	浦添市総務部防災危機管理室	098-876-1190	098-876-1190
関係地方公共団体	那覇市消防局	098-867-0119	098-867-0119
関係地方公共団体	浦添市消防本部	098-875-0119	098-875-0119
関係地方公共団体	那覇警察署生活安全課	098-836-0110	098-836-0110

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	浦添警察署生活安全課	098-875-0110	098-875-0110
関係団体	沖縄県水産公社	098-992-3511	098-992-3511
関係団体	沖縄県漁業協同組合連合会	098-860-2600	098-860-2600
関係団体	那覇市沿岸漁業共同組合	098-861-2707	098-861-2707
関係団体	那覇地区漁業協同組合	098-862-3114	098-862-3114
関係団体	浦添宜野湾漁業協同組合	098-877-6600	098-877-6600
関係団体	沖縄航路輸送協議会（海運会社7社）	098-868-8162（琉球海運）	098-868-8162（琉球海運）
関係事業者等	沖縄電力(株)牧港火力発電所	098-877-3481	098-877-3080
関係事業者等	(株)りゅうせきロジコム	098-868-3337	098-868-3337
関係事業者等	東亜運輸(株)	098-868-0231	098-868-0231
関係事業者等	(株)沖航燃	098-857-1171	098-857-1171
関係事業者等	(株)那覇タグサービス	098-868-4727	098-868-4727
関係事業者等	沖縄給油施設(株)	098-857-6982	098-857-6983
関係事業者等	アジア海洋沖縄(株)	098-868-5914	098-868-5914
関係事業者等	ミヤギ産業(株)	098-861-3131	098-861-3131
関係事業者等	東亜海事土木(株)	098-862-8485	098-862-8485
関係事業者等	(株)ギマ石油	098-863-0036	098-863-0036
関係事業者等	(有)アイビック	098-869-8388	098-869-8388
関係事業者等	沖縄製油(株)	098-868-4181	098-868-4181
関係事業者等	(株)山久商会	098-898-7885	098-898-7885
金武中城港排出油等防除協議会			
関係行政機関	沖縄総合事務局那覇港湾空港工事事務所 中城港湾出張所	098-938-9640	098-938-9640
関係行政機関	海上自衛隊沖縄基地隊	098-978-2342	098-978-2342
関係地方公共団体	沖縄県土木建設部港湾課	098-866-2395	098-866-2395
関係地方公共団体	沖縄県農林水産部水産課	098-866-2300	098-866-2300
関係地方公共団体	与那原町	098-945-2201	098-945-2201
関係地方公共団体	西原町	098-945-5011	098-945-5011
関係地方公共団体	中城村	098-895-2131	098-895-2131
関係地方公共団体	北中城村	098-935-2233	098-935-2233
関係地方公共団体	沖縄市	098-939-1212	098-939-7773
関係地方公共団体	うるま市	098-974-0606	098-974-3111
関係地方公共団体	金武町	098-968-2111	098-968-2475
関係地方公共団体	宜野座村	098-968-5111	098-968-5111
関係地方公共団体	南城市	098-948-7111	098-948-7111
関係地方公共団体	石川警察署	098-964-4110	098-964-4110
関係地方公共団体	沖縄警察署	098-932-0110	098-932-0110
関係地方公共団体	宜野湾警察署	098-898-0110	098-898-0110
関係地方公共団体	与那原警察署	098-945-0110	098-945-0110
関係地方公共団体	うるま警察署	098-973-0110	098-973-0110
関係地方公共団体	浦添警察署	098-875-0110	098-875-0110
関係地方公共団体	島尻消防清掃組合消防本部	098-948-2512	098-948-2512
関係地方公共団体	東部消防組合消防本部	098-946-9999	098-946-9999
関係地方公共団体	中城北中城消防本部	098-935-4747	098-935-4747

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	沖縄市消防本部	098-929-1190	098-929-1190
関係地方公共団体	うるま市消防本部	098-975-2005	098-975-2006
関係地方公共団体	金武地区消防衛生組合消防本部	098-968-2020	098-968-2020
関係団体	知念村漁業協同組合	098-947-6616	098-947-6616
関係団体	与那原西原町漁業協同組合	098-946-2316	098-946-2316
関係団体	佐敷中城漁業協同組合	098-947-6723	098-947-6723
関係団体	沖縄市漁業協同組合	098-939-3711	098-939-3711
関係団体	南原漁業協同組合	098-978-6471	098-978-6471
関係団体	勝連漁業協同組合	098-983-0003	098-983-0003
関係団体	与那城町漁業協同組合	098-977-8510	098-977-8510
関係団体	石川漁業協同組合	098-964-3187	098-964-3187
関係団体	金武漁業協同組合	098-968-3596	098-968-3596
関係団体	宜野座村漁業協同組合	098-968-3755	098-968-3755
関係事業者等	沖縄出光㈱	098-977-8112	098-977-8112
関係事業者等	沖縄ターミナル㈱	098-977-8341	098-977-8341
関係事業者等	沖縄石油基地㈱	098-977-7124	098-977-7124
関係事業者等	南西石油㈱	098-882-9555	098-882-9282
関係事業者等	沖縄電力㈱具志川火力発電所	098-973-1920	098-973-1920
関係事業者等	沖縄電力㈱石川火力発電所	098-964-3129	098-964-3129
関係事業者等	沖縄電力㈱金武火力発電所	098-968-8560	098-968-8560
関係事業者等	電源開発㈱石川石炭火力発電所	098-964-3711	098-964-3711
関係事業者等	マルキ産業㈱	098-947-6430	098-947-6430
関係事業者等	昭和化学工業㈱	098-972-6611	098-972-6611
関係事業者等	沖縄マリンサービス㈱	098-895-5401	098-895-5401
関係事業者等	共和マリンサービス㈱	098-977-7710	098-977-7710
関係事業者等	沖縄海運産業㈱	098-977-7733	098-977-7733
関係事業者等	㈱ジェイベック石川カンパニー	098-964-2441	098-965-1121
関係事業者等	沖縄プラント工業㈱金武事務所	098-968-7070	098-968-7070
関係事業者等	協栄海事土木㈱	098-945-1616	098-945-1616
関係事業者等	東亜運輸㈱	098-868-0231	098-868-0231
関係事業者等	沖縄電力㈱吉の浦火力発電所	098-895-1960	098-895-6247
関係事業者等	南西開発㈱	098-946-0006	098-946-0006
関係事業者等	㈱国際マリン	098-995-9590	098-995-9590
関係事業者等	㈱りゅうせき石川油槽所	098-923-1637	098-923-1637
沖縄本島北西部地区排出油等防除協議会			
関係地方公共団体	沖縄県北部土木事務所維持管理班	0980-53-1787	090-9785-1425
関係地方公共団体	沖縄県北部農林水産振興センター	0980-52-3381	090-3011-5173
関係地方公共団体	名護市産業部農林水産課	0980-53-1212	0980-53-1212
関係地方公共団体	本部町総務課行政班	0980-47-2101	0980-47-2101
関係地方公共団体	今帰仁村	0980-56-2256	0980-56-2256
関係地方公共団体	大宜味村	0980-44-3232	090-3794-6782
関係地方公共団体	国頭村	0980-41-2101	0980-41-2101
関係地方公共団体	伊江村	0980-49-2255	090-8294-9612
関係地方公共団体	伊平屋村船舶課	0980-46-2177	0980-46-2177

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	伊是名村商工観光課	0980-45-2534	0980-45-2534
関係地方公共団体	本部港湾管理事務所	0980-47-4200	090-9787-2598
関係地方公共団体	運天港港湾管理事務所	0980-56-2107	090-4471-8434
関係地方公共団体	名護警察署	0980-52-0110	0980-52-0110
関係地方公共団体	本部警察署	0980-47-4110	0980-47-4110
関係地方公共団体	名護市消防本部	0980-52-2121	0980-52-2121
関係地方公共団体	本部町今帰仁村消防組合消防本部	0980-47-2107	0980-47-2107
関係地方公共団体	国頭地区行政事務組合消防本部	0980-41-5100	0980-41-5100
関係団体	名護漁業協同組合	0980-52-2812	0980-52-2812
関係団体	羽地漁業協同組合	0980-58-1829	0980-58-1829
関係団体	今帰仁漁業協同組合	0980-56-2226	070-5818-3812
関係団体	国頭漁業協同組合	0980-41-5101	0980-41-5101
関係団体	本部漁業協同組合	0980-47-2500	090-5282-7339
関係団体	伊江漁業協同組合	0980-49-2035	090-2587-6905
関係団体	伊平屋漁業協同組合	0980-46-2368	0980-46-2368
関係団体	伊是名漁業協同組合	0980-45-2018	090-6869-7079
関係事業者等	(株)りゅうせきロジコム北部流通センター	0980-53-8513	0980-53-8513
関係事業者等	(株)琉球セメント屋部工場	0980-53-8311	0980-53-8311
関係事業者等	(株)屋部土建	0980-53-2227	090-3792-2005
関係事業者等	湧川マリーナ	0980-56-2492	090-3015-0370
石垣港災害対策協議会			
関係行政機関	沖縄総合事務局 石垣港湾事務所	0980-82-4741	0980-82-4741
関係行政機関	石垣地方气象台 防災業務課	0980-82-2170	0980-82-2170
関係行政機関	自衛隊沖縄地方協力本部石垣出張所	0980-82-4942	0980-82-4942
関係地方公共団体	石垣市総務部 防災危機管理室	0980-87-5533	0980-87-5533
関係地方公共団体	石垣市建設部 港湾課	0980-82-4046	0980-82-4046
関係地方公共団体	竹富町役場 防災危機管理課	0980-82-6191	0980-82-6191
関係地方公共団体	沖縄県八重山事務所 総務課総務振興班	0980-82-3040	0980-82-3040
関係地方公共団体	八重山警察署	0980-82-0110	0980-82-0110
関係地方公共団体	石垣市消防本部	0980-82-4050	0980-82-4047
関係団体	八重山漁業協同組合／本所	0980-82-2448	0980-82-2448
関係団体	八重山ダイビング協会(ぶいぬしま)	0980-88-6363	0980-88-6363
関係事業者等	(株)りゅうせきロジコム八重山流通センター	0980-82-3876	0980-82-3876
関係事業者等	先島ガス(株)	0980-82-4773	0980-82-4773
関係事業者等	ミヤギ産業八重山支店	0980-83-4180	0980-83-4180
関係事業者等	美崎運輸(株)	0980-82-3844	0980-82-3844
関係事業者等	八重山港運(株)	0980-82-2050	0980-82-2050
関係事業者等	石垣港運	0980-82-3703	0980-82-3703
関係事業者等	沖縄国際海運(有)	0980-83-8988	0980-83-8988
関係事業者等	三桂(有)	0980-83-3413	0980-83-3413
関係事業者等	(株)IRIWA	0980-88-2563	0980-88-2563
関係事業者等	三港商運(有)	0980-83-8408	0980-83-8408
関係事業者等	沖縄シップスエージェンシー(有)石垣支店	0980-84-1280	0980-84-1280
関係事業者等	八重山観光フェリー(株)	0980-82-5010	0980-82-5010

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係事業者等	(資) 福山海運	0980-82-4962	0980-82-4962
関係事業者等	(有) 安栄観光	0980-83-0055	0980-83-0055
関係事業者等	石垣島ドリーム観光㈱	0980-84-3178	0980-84-3178
関係事業者等	(社) 沖縄県建設業協会八重山支部	0980-82-5351	0980-82-5351
関係事業者等	丸尾建設㈱	0980-82-4324	0980-82-4324
関係事業者等	南海土木㈱	0980-82-0679	0980-82-0679
宮古地区海上災害対策協議会			
関係行政機関	平良港湾事務所	0980-72-4673	0980-72-4673
関係行政機関	大阪航空局宮古空港・航空路監視レーダー事務所	0980-72-3198	0980-72-3198
関係行政機関	宮古島地方気象台	0980-72-3054	0980-72-3054
関係行政機関	宮古運輸事務所	0980-72-4990	0980-72-4775
関係行政機関	航空自衛隊宮古島分屯基地	0980-76-6745	0980-76-6745
関係行政機関	沖縄地区税関石垣税関支署平良出張所	0980-72-2310	0980-72-2310
関係地方公共団体	沖縄県総務部宮古事務所 総務課	0980-72-2551	0980-72-2551
関係地方公共団体	沖縄県農林水産部宮古農林水産振興センター 農林水産整備課	0980-72-2365	0980-72-2365
関係地方公共団体	宮古島市港湾課	0980-72-4876	0980-72-4876
関係地方公共団体	宮古島市防災危機管理課	0980-73-1961	0980-73-1961
関係地方公共団体	宮古島市宮古空港管理事務所	0980-72-4127	0980-72-4127
関係地方公共団体	沖縄県下地島空港管理事務所	0980-78-4184	0980-78-4184
関係地方公共団体	宮古島市消防本部	0980-72-0943	0980-72-0943
関係地方公共団体	沖縄県立宮古病院	0980-72-3151	0980-72-3150
関係地方公共団体	宮古島市警察署	0980-72-0110	0980-72-0110
関係地方公共団体	宮古島市生活環境部城辺支所	0980-77-4905	0980-77-4905
関係地方公共団体	宮古島市生活環境部下地支所	0980-76-6001	0980-76-6001
関係地方公共団体	宮古島市伊良部支所	0980-78-6250	0980-78-6250
関係地方公共団体	宮古島市役所上野庁舎上野支所	0980-76-6821	0980-76-6821
関係地方公共団体	多良間村役場	0980-79-2011	0980-79-2011
関係団体	宮古島漁業協同組合	0980-72-2029	0980-72-2029
関係団体	伊良部漁業協同組合	0980-78-3119	0980-78-3119
関係団体	池間漁業協同組合	0980-75-2011	0980-75-2011
関係団体	宮古地区医師会	0980-73-1639	0980-73-1639
関係団体	沖縄県ウォータークラフト安全協会宮古支部	0980-73-5677	0980-73-5677
関係団体	宮古島マリンリゾート共同組合	0980-73-7110	0980-73-7110
関係団体	宮古島ダイビング事業組合	0980-72-3107	0980-72-3107
関係団体	宮古島美ら海連絡協議会	0980-73-5963	0980-73-5963
関係事業者等	沖縄電力㈱離島カンパニー宮古支店	0980-73-2633	0980-73-2633
関係事業者等	宮古港運㈱	0980-72-2046	0980-72-2046
関係事業者等	宮古通運㈱	0980-72-4900	0980-72-4900
関係事業者等	八汐港運(資)	0980-72-4314	0980-72-4314
関係事業者等	平良港運(株)	0980-72-2404	0980-72-2404
関係事業者等	(株) はやて	0980-72-6641	0980-72-6641
関係事業者等	(資) 多良間海運	0980-72-9209	0980-72-9209
関係事業者等	(名) 大神海運	0980-72-5477	0980-72-5477
関係事業者等	(有) 川久商事	0980-77-2582	0980-77-2582

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係事業者等	㈱りゅうせき宮古支店	0980-72-3119	0980-72-3119
関係事業者等	宮古ガス㈱	0980-72-4935	0980-72-4935
関係事業者等	昭和化学工業㈱宮古ケミカルセンター	0980-75-3000	0980-75-3000
関係事業者等	下地島空港施設株式会社	0980-78-5411	0980-78-5411
関係事業者等	宮古島東急ホテル&リゾート	0980-76-2109	0980-76-2109
関係事業者等	ホテルブリーズバイマリーナ	0980-76-3000	0980-76-3000
関係事業者等	港湾工事安全連絡協議会	0980-72-3040	0980-72-4784
関係事業者等	郷土マリンサービス J A W S II	0980-79-2452	0980-79-2452
関係事業者等	東亜海事土木㈱	098-862-8485	098-862-8485

資料2-4 防災相互通信用無線局保有状況

令和元年7月1日現在

機関名	無線局の種類	局名	識別信号	電波の型式	周波数	出力	設置場所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10003	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10004	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10005	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10038	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10119	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10122	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10125	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10127	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10129	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10131	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10132	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10134	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10138	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10139	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10140	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10142	F3E	158.35	10	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10223	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10246	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10254	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10255	F3E	158.35		第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10279	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10280	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10281	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10304	F3E	158.35	10	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10305	F3E	158.35	10	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10306	F3E	158.35	10	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10323	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10229	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10230	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10234	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10235	F3E	158.35	1	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10390	F3E	158.35	10	第十一管区海上保安本部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10074	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 MH911
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10076	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 MH915
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10073	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 MH917
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10267	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 うるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10268	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 うるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10276	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 うるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10310	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 うるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10322	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 うるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10395	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 うるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10331	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10332	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10333	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10113	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10123	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10124	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10334	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10335	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10336	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10337	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10338	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10339	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10340	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10341	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10342	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 おきなわ

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10269	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 くだか
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10307	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 くだか
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10008	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 のぼる
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10009	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 のぼる
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10010	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 のぼる
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10011	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 のぼる
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10012	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 のぼる
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10458	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 でいご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10459	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 でいご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10457	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 でいご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10030	F3E	158.35	10	那覇海上保安部 げっとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10274	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 げっとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10275	F3E	158.35	1	那覇海上保安部 げっとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10247	F3E	158.35	10	第十一管区海上保安本部（与那国駐在所）
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10326	F3E	158.35	1	名護海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10094	F3E	158.35	1	名護海上保安署 なごづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10095	F3E	158.35	1	名護海上保安署 なごづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10096	F3E	158.35	10	名護海上保安署 なごづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10270	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10271	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10407	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10408	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10409	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10410	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10411	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10412	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10413	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10414	F3E	158.35	1	中城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10415	F3E	158.35	1	中城海上保安部

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10467	F3E	158.35	1	中城海上保安部	くにがみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10468	F3E	158.35	1	中城海上保安部	くにがみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10469	F3E	158.35	1	中城海上保安部	くにがみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10479	F3E	158.35	10	中城海上保安部	おきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10480	F3E	158.35	1	中城海上保安部	おきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10481	F3E	158.35	1	中城海上保安部	おきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10482	F3E	158.35	1	中城海上保安部	おきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10483	F3E	158.35	1	中城海上保安部	おきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10484	F3E	158.35	10	中城海上保安部	あわぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10485	F3E	158.35	1	中城海上保安部	あわぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10486	F3E	158.35	1	中城海上保安部	あわぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10487	F3E	158.35	1	中城海上保安部	あわぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10488	F3E	158.35	1	中城海上保安部	あわぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10489	F3E	158.35	10	中城海上保安部	しまぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10490	F3E	158.35	1	中城海上保安部	しまぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10491	F3E	158.35	1	中城海上保安部	しまぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10492	F3E	158.35	1	中城海上保安部	しまぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10493	F3E	158.35	1	中城海上保安部	しまぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10460	F3E	158.35	10	中城海上保安部	ゆうな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10461	F3E	158.35	1	中城海上保安部	ゆうな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10462	F3E	158.35	1	中城海上保安部	ゆうな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10065	F3E	158.35	1	中城海上保安部	かつれん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10087	F3E	158.35	10	中城海上保安部	かつれん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10088	F3E	158.35	1	中城海上保安部	かつれん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10085	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10086	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10401	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	はてるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10402	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	はてるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10403	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	はてるま

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10404	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	はてるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10405	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	はてるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10406	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	はてるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10496	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	はてるま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10022	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	いしがき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10023	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	いしがき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10024	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	いしがき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10025	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	いしがき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10026	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	いしがき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10027	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	いしがき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10028	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	いしがき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10069	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	よなくに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10070	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	よなくに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10071	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	よなくに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10091	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	たけとみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10092	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	たけとみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10364	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	たけとみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10101	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	なぐら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10102	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	なぐら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10365	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	なぐら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10110	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	かびら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10111	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	かびら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10366	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	かびら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10120	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	ざんぱ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10121	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	ざんぱ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10367	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	ざんぱ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10050	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	たらま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10051	F3E	158.35	1	石垣海上保安部	たらま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10368	F3E	158.35	10	石垣海上保安部	たらま

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10052	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 いけま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10053	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 いけま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10369	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 いけま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10054	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 いらぶ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10055	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 いらぶ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10370	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 いらぶ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10058	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 あぐに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10059	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 あぐに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10372	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 あぐに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10060	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 いぜな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10061	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 いぜな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10373	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 いぜな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10056	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 とかしき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10057	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 とかしき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10371	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 とかしき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10043	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10045	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10047	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10048	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10236	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10097	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 やえづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10098	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 やえづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10099	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 やえづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10476	F3E	158.35	10	石垣海上保安部 あだん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10477	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 あだん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10478	F3E	158.35	1	石垣海上保安部 あだん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10327	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10363	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部 はりみず
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10375	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部 はりみず

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10376	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	はりみず
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10377	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	はりみず
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10378	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	はりみず
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10379	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	はりみず
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10380	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	はりみず
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10013	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	しもじ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10354	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	しもじ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10355	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	しもじ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10020	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	くりま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10356	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	くりま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10357	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	くりま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10046	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	おおがみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10358	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	おおがみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10359	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	おおがみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10072	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	しぎら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10256	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	しぎら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10078	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	ともり
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10351	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	ともり
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10352	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	ともり
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10084	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	とぐち
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10360	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	とぐち
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10361	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	とぐち
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10021	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	ひさまつ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10049	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	ひさまつ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10066	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	ひさまつ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10089	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	ながやま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10067	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	ながやま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10068	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	ながやま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10103	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	まえはま

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10112	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	まえはま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10118	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	まえはま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10470	F3E	158.35	10	宮古島海上保安部	なつづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10471	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	なつづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10472	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	なつづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10473	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	なつづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10474	F3E	158.35	1	宮古島海上保安部	なつづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10017	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10037	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10063	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10064	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10114	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10115	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10135	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10136	F3E	158.35	10	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10217	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10218	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10219	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10220	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10221	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10259	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10260	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10261	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10308	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10394	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10397	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10399	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10001	F3E	158.35	1	那覇航空基地	
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10002	F3E	158.35	1	那覇航空基地	

海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10029	F3E	158.35	1	那覇航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10080	F3E	158.35	1	那覇航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10081	F3E	158.35	1	那覇航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10441	F3E	158.35	1	那覇航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10442	F3E	158.35	1	那覇航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10039	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10075	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10077	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10116	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10117	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10137	F3E	158.35	10	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10141	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10143	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10144	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10225	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10226	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10228	F3E	158.35	10	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10248	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10249	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10262	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10263	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10362	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10391	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10392	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10393	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10494	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10495	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10006	F3E	158.35	1	石垣航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう	10082	F3E	158.35	1	石垣航空基地

金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	1号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	2号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	4号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	5号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	6号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	8号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	9号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	10号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	11号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	13号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	14号	F3E	158.35	5	協議会事務局
金武中城港流出油防除協議会	携帯局	ぼうさいへんぎ	15号	F3E	158.35	5	協議会事務局

資料 2 5 指定海上防災機関 海上災害防止センターの契約防災措置実施者一覧

令和 2 年 2 月 1 日現在

地区	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
那覇	アジア海洋沖縄株式会社	098-868-5914	
那覇	東亜海事土木株式会社	098-862-8485	
中城	沖縄マリンサービス株式会社	098-895-5401	
中城	共和マリンサービス株式会社	098-977-7710	

指定海上防災機関 海上災害防止センター	TEL 045-224-4311 FAX 045-224-4312
---------------------	--------------------------------------

資料 2 6 排出油等の防除に関する協議会一覧

令和2年2月1日現在

担当部署	協議会等名称	対象地域	設立年月日	会長	会員の概要	備考
第十一管区本部	沖縄排出油等防除協議会連合会	沖縄沿岸海域	平成11年7月11日	十一本部長	国の機関10、地方公共団体6、 関係団体7、一般社団法人2、 計25	
那覇保安部	那覇地区排出油等防除協議会	那覇港及びその周辺海域	平成5年2月15日	那覇部長	国の機関2、地方公共団体7、関 係団体5、民間13、計27	
中城保安部	金武中城港排出油等防除協議会	金武中城港及びその周 辺	平成8年6月21日	中城部長	国の機関3、地方公共団体23、 関係団体10、民間21、計57	
名護保安署	沖縄本島北西部地区排出油等防除 協議会	本島北西部地区周辺海 域	平成10年5月1日	名護署長	国の機関1、地方公共団体17、 関係団体8、民間4、計30	
石垣保安部	石垣港災害対策協議会	石垣港及びその周辺海 域	平成9年8月22日	石垣部長	国の機関5、地方公共団体6、関 係団体2、民間18、計31	
宮古島保安部	宮古地区海上防災対策協議会	宮古地区周辺海域	平成9年11月27日	宮古島部長	国の機関7、地方公共団体14、 関係団体8、民間21、計50	

参考 1 海上保安庁の主な排出油等防除資材保有状況

令和2年2月1日現在

資 機 材 名	数 量	単 位	荷 姿	個 数	総重量	保 管 地	備 考
堰式油回収装置 (FOiLEX TDS 200)	18	式	コンテナ	1	2.7t	稚内、紋別、網走、広尾、釜石、宮城、福島、横浜、横浜 機動防除基地、尾鷲、和歌山、高知、松山、七本部(門 司)、舞鶴、新潟、鹿児島、十一本部(沖縄)	
大型オイルフェンス (ユニブーム)	900 (300×3)	m	コンテナ	1	14.0t	函館、福岡、新潟	
大型周油装置 (ブイスイープ)	3	式	コンテナ	1	3.8t	網走、福岡、新潟	
充気式オイルフェンス (ハイスプリント)	4,500 (250×18)	m	コンテナ	1	5.2t	横浜(2)、四日市(4)、堺(4)、水島(4)、宇部(4)	
充気式オイルフェンス (ローブーム1500)	250 (250×1)	m	コンテナ	1	6.0t	横浜	
充気式オイルフェンス (AF-1500)	750 (250×3)	m	コンテナ	1	6.0t	横浜(3)	
油処理剤空中散布装置 (TC-3)	6	式	コンテナ	1	1.0t	稚内、函館、横浜、福岡、舞鶴、那覇	

名称	名称(委託先)	回収船等		オイルポンプ			油吸着材(kg)			処理能力		貯蔵	
		名称	回収量(kg/h)	型式	長さ(m)	マッド	ローリ	万粒数	その他	通常	高圧度	自己搾搾	粉末
稚内	稚内港運(株)	FOILEX TDS250	140	B	20		85		OSN 100m				
苫小牧	北洋海運(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	820	2694	85		OSN 220m	4950		720	300
室蘭	北洋海運(株)室蘭支店			B	520	940						540	
函館	(株)富士サルベージ			B	460	1000				2502			
むつ小川原	八戸港海運(株)			B	700	5161				1854		162	
八戸	東日本タグボート(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	40	85	85		OSN 100m				
久慈	八戸港海運(株)			B	600	1010						1998	
秋田船川	(株)男鹿テクノ	パイコマ社 KOMARA 12K FOILEX MINI SKIMMER30	12 30	B	20		85		OSN 100m				300
秋田	(株)男鹿テクノ			B	700	2851							
仙台	宮城マリンサービス(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	720	2480	714			8010			300
小名浜	三洋海運(株)			B	620	1610	680			900		900	
鹿島	鹿島埠頭(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	20	831	85		OSN 200m				300
鹿島	山九(株)鹿島支店			B	720	2149						2970	
千葉南	(株)ダイトーコーポレーション	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	20		85		OSN 200m				300
千葉北	(株)ダイトーコーポレーション	FOILEX TDS250	140	充気式	200		85		OSN 200m				
千葉	(株)ダイトーコーポレーション			B	2000	3230				5004		180	
横浜	海上災害防止センター						34		OSN 200m				
川崎	災害対応拠点 海上災害防止センター	パイコマ社製 コマラスター	22	充気式	900		170		OSN 200m	486			300
		ワールドカナル社製 スチールボーイ	9	B	360				オイル37 1771				
		エラスチック社製 TDS118	20										
		GT-185 2台	65										
		テスミ・ロークリン社製 TDS320	70										
		エラスチック社製 Magnum200	90										
		ピーチクリーナー 3台											
横須賀	海上災害防止センター	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	2400	425	238		OSN 160m	8190			
		GT-185	65										
		TDS-200 2台	70										
		ピーチクリーナー											
横須賀	東京汽船(株)			B	920	2683							
横須賀(きよたき)	防災特殊曳船(株)	FOILEX TDS200	70	充気式	400		85		OSN 120m				300
				B	20								
横須賀(あおたき)	防災特殊曳船(株)	FOILEX TDS200	70	充気式	400		85		OSN 40m				
				B	40								
清水	清水埠頭(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	120		85		OSN 100m				300
名古屋	伊勢湾防災(株)						51		OSN 100m				
四日市	伊勢湾防災(株)	TDS-200 2台	70	B	2080	2768	119		OSN 500m			1800	600
		FOILEX MINI SKIMMER30 2台	30	充気式	400								
		ピーチクリーナー											
伊良湖	伊勢湾防災(株)			B	3680	3960	1391			2016	1980		
和歌山	田中海運(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	880		85		OSN 200m				300
		TDS-200	70	充気式	200								
和歌山	紀伊水道防災設備(株)	TDS-200	70		3120	2637	17					1908	
堺泉北	災害対応拠点 海上災害防止センター	パイコマ社製 コマラスター 2台	22	B	4890	2654	476		OSN 180m				300
		FOILEX MINI SKIMMER30 2台	30	充気式	2900				オイル37 1771				
		GT-185 2台	65										
		FOILEX TDS200	70										
		エラスチック社製 Magnum200	90										
		ピーチクリーナー 3台											
大阪	関西港湾サービス(株)	TDS-200	70										
神戸	ソーエエンジニアリング(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	20								
姫路	早駒運輸(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	3020	3076	102		OSN 200m	4014		756	300
		TDS-200 2台	70										
水島	内海曳船(株)水島事業所	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	120		85		OSN 200m				300
		ピーチクリーナー		充気式	200								
水島	山九(株)岡山支店	TDS-200 2台	70	B	3000	2740	680						
		FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	1520	1417	85		OSN 200m	2160		1512	300
岩国	山九(株)岩国支店	ピーチクリーナー											
徳山	(株)シゲートコーポレーション	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	80		85		OSN 400m				300
		TDS-200 2台	70	充気式	300								
徳山	山九(株)周南支店			B	3020	1773	1360			7488			
松山	内海曳船(株)松山事業所	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	20		85		OSN 200m				300
		充気式	200										
松山	伊予商運(株)	TDS-200 2台	70	B	3040	1140	1921			3060		936	
今治	内海曳船(株)松山事業所	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	1580		85		OSN 200m				
宇部	西部マリンサービス(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	2040	1100	1785		OSN 200m	7866			300
		TDS-200	70	充気式	200								
		ピーチクリーナー											
北九州	西日本海運(株)	TDS-200	70	充気式	100								
北九州	災害対応拠点 海上災害防止センター	FOILEX MINI SKIMMER30 4台	30	充気式	1650	3543	85		OSN 200m	5886		918	
		LAMOR社製 LWS50	60	B	3020				オイル37 1771				
		TDS-200	70										
		エラスチック社製 Magnum200	90										
		ピーチクリーナー 2台											
博多	博多港管理(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	40								
大分	大分臨海興行(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	20		85		OSN 200m				300
		ピーチクリーナー		充気式	400								
		TDS-200 2台	70										
大分	鶴崎海陸運輸(株)			B	3000	1752	1054			2610		1080	
佐世保	佐世保マリンサービス(株)			充気式	250		85		OSN 100m				300
長崎	長崎倉庫(株)			B	460	1020				2556			
上五島	西海エンジニアリング(株)			B	700	5080				18		720	
福井	福井埠頭(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	1120	2671	85		OSN 100m				300
新潟	(株)リコーコーポレーション	パイコマ社製 KOMARA 12K 2台	12	B	600	2470	85		OSN 100m	5400			
		FOILEX MINI SKIMMER30	30										
		ピーチクリーナー											
伏木富山	伏木海陸運送(株)			B	560	974	357		OSN 100m	828		270	300
串本野	仁徳海運(株)串本野事業所			B	600	1600				1854		1080	
鹿兒島	(株)共進組	ピーチクリーナー			20		85		OSN 100m				300
喜入	JXマリンサービス(株)			B	3180	3220						1440	
沖縄	沖縄マリンサービス(株)	FOILEX MINI SKIMMER30	30	B	380				OSN 160m				300
		充気式	250										
沖縄	共和マリンサービス(株)			B	360	1600				720			

参考3 石油連盟の主な排出油等防除資材保有状況

令和2年3月1日現在

保管施設所在地	保管資機材	収納・運搬 (数量/1コンテナ)	高 × 幅 × 長(m)	コンテナ 数量	1コンテナ 重量 (t)
石油連盟 第1号東京湾基地 J X T G エネルギー㈱ 千葉製油所内 市原市千種海岸 1	大型オイルフェンス ロープーム1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.4 × 3.7	1	5.70
	Hiｽﾌﾟﾘﾝﾄﾌﾞｰﾑ	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	4.60
	Hdｽﾌﾟﾘﾝﾄﾌﾞｰﾑ	専用コンテナ(250m/1)	2.8 × 2.4 × 4.3	1	7.00
	ユニブームZ1500	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 2.4 × 4.0	1	6.00
	ユニブームX1800	専用コンテナ(250m/1)	3.7 × 2.8 × 7.4	1	15.00
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	44	3.50
	砂浜用オイルフェンス ビーチブーム	専用コンテナ(320m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	3.25
	集油型オイルフェンス カレントバスター	専用コンテナ(72m/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.80
	カレントバスター4	専用コンテナ(74m/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.80
	油回収装置 トランスレック125	専用コンテナ(1式/2)	3.7 × 2.5 × 6.1	1	13.30
	シースケーター	専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.4 × 3.6	5	2.50
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.10
	RBS TRITON 60	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.7	1	2.50
	TDS 118	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	2.00
	移送ポンプシステム クレーン・スキマーポンプシ	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.50
クレーン・スキマーポンプシ	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.7	1	2.66	
海岸清掃用油回収機 ミニバックシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.00	
ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	2	1.30	
ミニバックII	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.7	1	2.24	
回収油バーージ ランサーバーージ25t	専用コンテナ(1式/1)	1.3 × 1.2 × 1.2	1	0.47	
LSB 50	専用コンテナ(1式/2)	2.0 × 4.6 × 11.0	1	0.60	
ランサーバーージ100t	専用コンテナ(1式/1)	2.1 × 5.5 × 15.0	2	1.03	
回収油貯蔵タンク・バッグ ロータンク25t	専用コンテナ(1式/1)	1.2 × 1.2 × 2.4	1	0.50	
石油連盟 第2号瀬戸内基地 J X T G エネルギー㈱ 水島製油所B工場第2原油基地内 倉敷市児島宇野津字長島新田 2310-2	大型オイルフェンス ロープーム1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.4 × 3.7	3	5.70
	Hiｽﾌﾟﾘﾝﾄﾌﾞｰﾑ	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	4.60
	Hdｽﾌﾟﾘﾝﾄﾌﾞｰﾑ	専用コンテナ(250m/1)	2.8 × 2.4 × 4.3	1	7.00
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	25	3.50
	砂浜用オイルフェンス ロープームビーチ	専用コンテナ(320m/1)	2.6 × 2.5 × 3.0	1	4.03
	集油型オイルフェンス カレントバスター4	専用コンテナ(74m/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.80
	油回収装置 LAMOR LFF 350/140	専用コンテナ(1式/2)	3.1 × 2.4 × 6.1	1	12.80
	ジャイアント・オクトパス	専用コンテナ(1式/2)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.42
	シースケーター	専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.4 × 5.9	1	9.50
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	1	2.50
	TDS 200	専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.4 × 3.6	1	2.50
	コマラ15Duplex	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.10
	TDS 118	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.3 × 3.0	1	3.00
	移送ポンプシステム クレーン・スキマーポンプシ	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	3.30
	クレーン・スキマーポンプシ	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	2.00
海岸清掃用油回収機 ミニバックシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.50	
ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.7	1	2.66	
ミニバックII	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.00	
ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	2	1.30	
回収油バーージ ランサーバーージ25t	専用コンテナ(1式/1)	1.3 × 1.2 × 1.2	1	0.47	
LSB 50	専用コンテナ(1式/1)	2.0 × 4.6 × 11.0	1	0.60	
NOFIオイルバーージ75t	専用コンテナ(1式/1)	1.7 × 1.7 × 2.3	2	1.21	
ランサーバーージ100t	専用コンテナ(1式/1)	2.1 × 5.5 × 15.0	1	1.03	
回収油貯蔵タンク・バッグ ロータンク25t	専用コンテナ(1式/1)	1.2 × 1.2 × 2.4	1	0.50	
石油連盟 第3号伊勢湾基地 コスモ石油㈱ 震地区管理地内 四日市市霞1-22-1	大型オイルフェンス ロープーム1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.4 × 3.7	2	5.70
	Hiｽﾌﾟﾘﾝﾄﾌﾞｰﾑ	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	4.60
	Hdｽﾌﾟﾘﾝﾄﾌﾞｰﾑ	専用コンテナ(250m/1)	2.8 × 2.4 × 4.3	1	7.00
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	13	3.50
	砂浜用オイルフェンス ビーチブーム	専用コンテナ(320m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	3.25
	集油型オイルフェンス ラマックス・ブイスイブ	専用コンテナ(72m/1)	2.4 × 2.4 × 3.7	1	2.80
	油回収装置 シースケーター	専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.4 × 3.6	3	2.50
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.10
	コマラ15Duplex	専用コンテナ(4式/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	3.30
	移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.50
	海岸清掃用油回収機 ミニバックシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.00
	ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	2	1.30
	ミニバックII	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.00
	ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	2	1.30
	回収油バーージ ランサーバーージ25t	専用コンテナ(1式/1)	1.3 × 1.2 × 1.2	1	0.47
LSB 50	専用コンテナ(1式/1)	2.0 × 4.6 × 11.0	1	0.60	
回収油貯蔵タンク・バッグ ロータンク25t	専用コンテナ(1式/1)	1.2 × 1.2 × 2.4	1	0.50	

保管施設所在地	保管資機材	収納・運搬 (数量/1コンテナ)	高 × 幅 × 長(m)	コンテナ 数量	1コンテナ 重量 (t)
石油連盟 第4号日本海基地 出光興産㈱ 新潟石油製品輸入基地内 新潟市東区平和町3-5	大型オイルフェンス ロープーム1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.4 × 3.7	2	5.70
	His7 リフトブーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	4.60
	ユニブームX1800	専用コンテナ(250m/1)	3.7 × 2.8 × 7.4	1	15.00
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	12	3.50
	砂浜用オイルフェンス ロープームビーチ	専用コンテナ(320m/1)	2.6 × 2.5 × 3.0	1	4.03
	集油型オイルフェンス ラバ・マックス・ブ・イスイブ	専用コンテナ(40m/1)	2.4 × 2.4 × 3.7	1	2.80
	油回収装置 トランズレック100	専用コンテナ(1式/2)	3.4 × 2.4 × 6.0	1	12.80
	UR0300	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 6.0	1	6.70
	シースケーター	専用コンテナ(1式/1)	3.8 × 2.4 × 6.1	1	20.80
	コマラスター	専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.4 × 3.6	1	2.50
	ターミネーター(2式/1)	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.20
	RBS TRITON 60	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.7	1	2.50
ターミネータースキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.6	1	3.20	
ミマックス25システム	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	2.50	
TDS 118	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	2.00	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.50	
海岸清掃用油回収機 ミニバックシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	3.00	
ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	2	1.30	
回収油バージ LSB 25	専用コンテナ(1式/1)	1.0 × 1.0 × 1.6	1	0.50	
LSB 50	専用コンテナ(1式/1)	2.0 × 4.6 × 11.0	1	0.60	
ランサーバージ100t	専用コンテナ(1式/1)	2.1 × 5.5 × 15.0	2	1.03	
回収油貯蔵タンク・バッグ ロータンク25t	専用コンテナ(1式/1)	1.2 × 1.2 × 2.4	1	0.50	
石油連盟 第5号北海道基地 JXTGエネルギー㈱ 室蘭事業所内 室蘭市陸屋町1-172	大型オイルフェンス ロープーム1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.4 × 3.7	2	5.70
	Hd7 リフトブーム	専用コンテナ(250m/1)	2.8 × 2.4 × 4.3	2	7.00
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	12	3.50
	砂浜用オイルフェンス ビーチブーム	専用コンテナ(320m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	3.25
	集油型オイルフェンス ラバ・マックス・ブ・イスイブ	専用コンテナ(40m/1)	2.4 × 2.4 × 3.7	1	2.80
	油回収装置 トランズレック100	専用コンテナ(1式/2)	3.4 × 2.4 × 6.0	1	12.80
	ターミネータースキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 6.0	1	6.70
	コマラ15Duplex	専用コンテナ(4式/1)	2.6 × 2.4 × 3.6	4	3.20
	ターミネーター(4式/1)	専用コンテナ(4式/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	3.30
	移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.50
	海岸清掃用油回収機 ミニバックシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.00
	ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	2	1.30
回収油バージ LSB 25	専用コンテナ(1式/1)	1.0 × 1.0 × 1.6	1	0.50	
LSB 50	専用コンテナ(1式/1)	2.0 × 4.6 × 11.0	1	0.60	
LSB 100	専用コンテナ(1式/1)	2.8 × 5.4 × 15.2	4	0.80	
回収油貯蔵タンク・バッグ ロータンク25t	専用コンテナ(1式/1)	1.2 × 1.2 × 2.4	1	0.50	
石油連盟 第5号北海道基地(稚内分所) 稚内市役所所有末広埠頭 上屋2号内 北海道稚内市新末広町2	大型オイルフェンス ロープーム1800SPI	専用コンテナ(250m/1)	2.3 × 2.2 × 2.8	1	6.50
	専用コンテナ(バワーバッグ/1)	専用コンテナ(バワーバッグ/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	1	2.50
	His7 リフトブーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	4.60
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	6	3.50
	集油型オイルフェンス カレントバスター	専用コンテナ(72m/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.80
	集油装置絞	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.5 × 3.7	1	0.80
	油回収装置 DESMIコヒネーション・スキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.4 × 3.1	1	3.20
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.10
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.20
	海岸清掃用油回収機 ミニバックシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.00
	回収油バージ ランサーバージ25t	専用コンテナ(1式/1)	1.3 × 1.2 × 1.2	1	0.47
	石油連盟 第6号沖繩基地 沖繩出光㈱ 沖繩油槽所内 うるま市与那城平安座6559	大型オイルフェンス ロープーム1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.4 × 3.7	1
His7 リフトブーム		専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	2	4.60
Hd7 リフトブーム		専用コンテナ(250m/1)	2.8 × 2.4 × 4.3	1	7.00
固形式 Solid1150		専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	13	3.50
砂浜用オイルフェンス ビーチブーム		専用コンテナ(320m/1)	2.6 × 2.4 × 3.1	1	3.25
集油型オイルフェンス ラバ・マックス・ブ・イスイブ		専用コンテナ(40m/1)	2.4 × 2.4 × 3.7	1	2.80
ハーバースター		専用コンテナ(60m/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.20
油回収装置 シースケーター		専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.4 × 3.6	2	2.50
コマラスター		専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	3.20
ターミネーター(4式/1)		専用コンテナ(4式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	2.50
移送ポンプシステム		専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.50
海岸清掃用油回収機 ミニバックシステム		専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.00
ポータブルスキマーシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.3 × 2.2 × 2.4	2	1.30	
回収油バージ LSB 25	専用コンテナ(1式/1)	1.0 × 1.0 × 1.6	1	0.50	
LSB 50	専用コンテナ(1式/1)	2.0 × 4.6 × 11.0	1	0.60	
回収油貯蔵タンク・バッグ ロータンク25t	専用コンテナ(1式/1)	1.2 × 1.2 × 2.4	1	0.50	

参考 4 大型油回収船一覧

令和2年2月1日現在

船名	配備港	総トン数	速力(ノット)	能力(kl/h)
清龍丸	名古屋港	4,792	13.5	1,000 (渦流式+スキッパー式)
海翔丸	北九州港	4,651	13.3	1,000(渦流式)
				400(投込み式)
白山	新潟港	4,184	13.1	1,000(渦流式)
				250(投込み式)